

蒲郡市ヤングケアラーに関する実態調査
結果報告書

令和8年3月

第1章 調査の概要

1 調査の目的

ヤングケアラーは、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の育ちや教育に影響があることから実態の把握及び支援の強化が求められている。本調査は、蒲郡市におけるヤングケアラーと思われる子どもを正確に把握するため、児童・生徒に対して実態調査を実施し、教育現場や要保護児童対策地域協議会等においてヤングケアラーと思われる子どもを早期発見し、支援につなげる仕組みづくりの検討を行うための資料とすることを目的とする。

2 調査対象者数及び回収数

		配布総数	回収数	回収率
児童・ 生徒調査	小学生 市立 13 校に在籍する 4～6 年生の児童	1902	382	20.0%
	中学生 市立 7 校に在籍する全生徒	2015	383	19.0%
	高校生 蒲郡市の住民基本台帳に令和 7 年 8 月 1 日時点で登録されている平成 19 年 4 月 2 日から平成 22 年 4 月 1 日生まれ までの生徒等	2154	323	14.9%
	合計	6071	1088	18.0%

3 調査方法

アンケートフォームによる Web 調査。アンケート案内文にアンケートフォームの URL と二次元コードを掲載し、任意で回答を依頼した。

【児童・生徒】蒲郡市内の小学生・中学生、および高校生世代に郵送でアンケート案内文及びヤングケアラー啓発チラシを配布。児童・生徒本人が個人の端末からアンケートフォームにアクセスし回答（任意記名式）。

4 調査期間

令和 7 年 12 月 16 日～令和 8 年 1 月 31 日

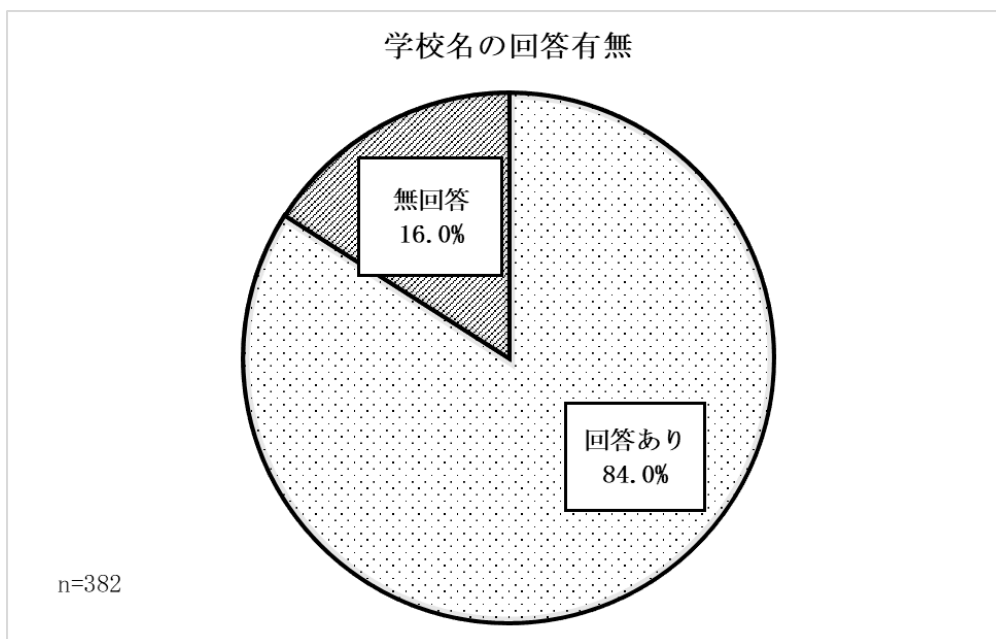
第 2 章

小学生の生活実態に関するアンケート調査結果

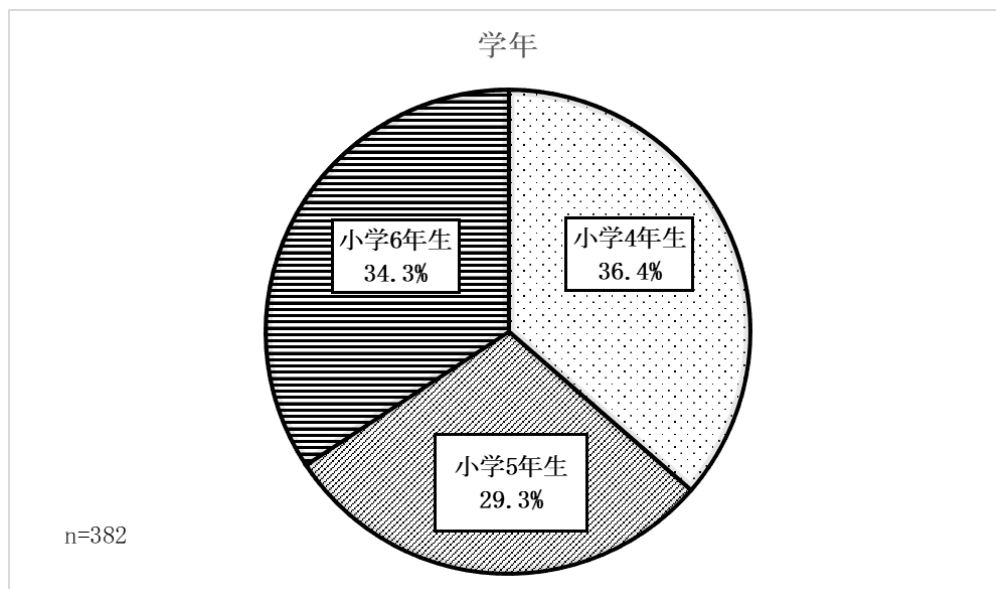
1 小学生の生活実態に関するアンケート調査結果（単純集計）

(1)対象者の属性

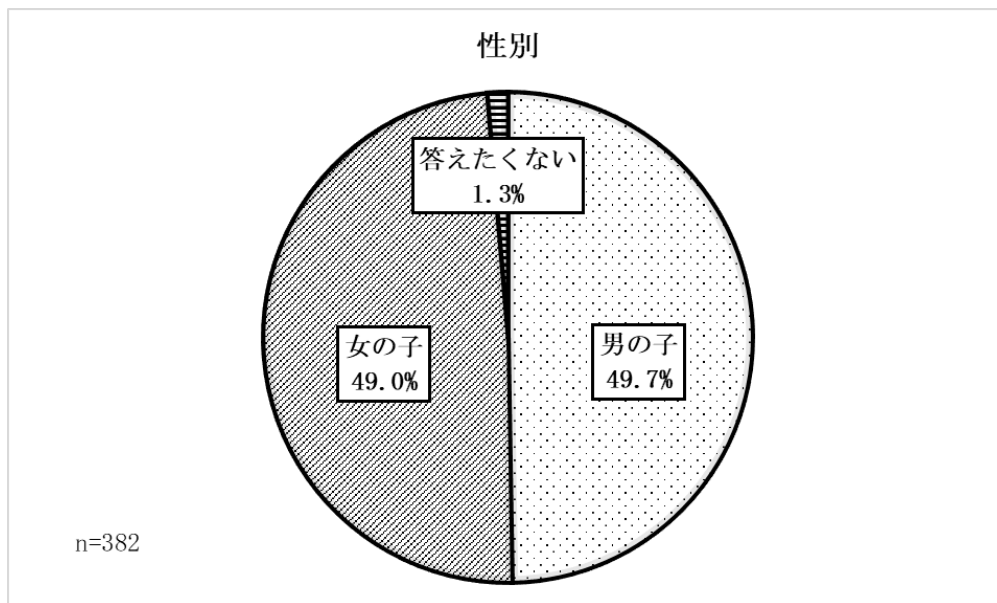
①あなたが通っている学校名を教えてください。



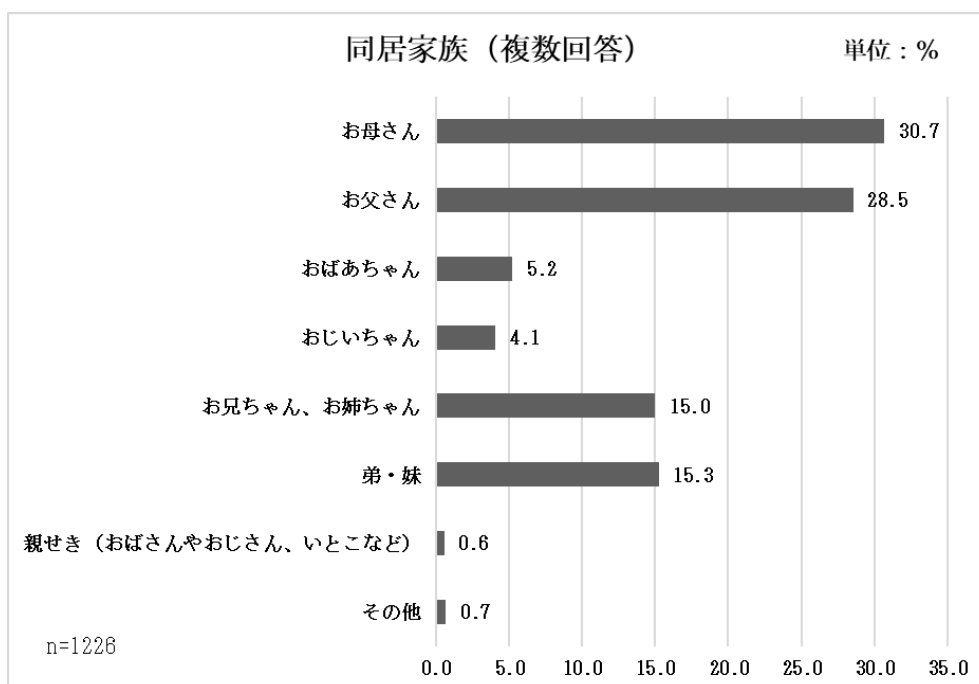
②あなたの学年を教えてください。



③あなたの性別を教えてください。



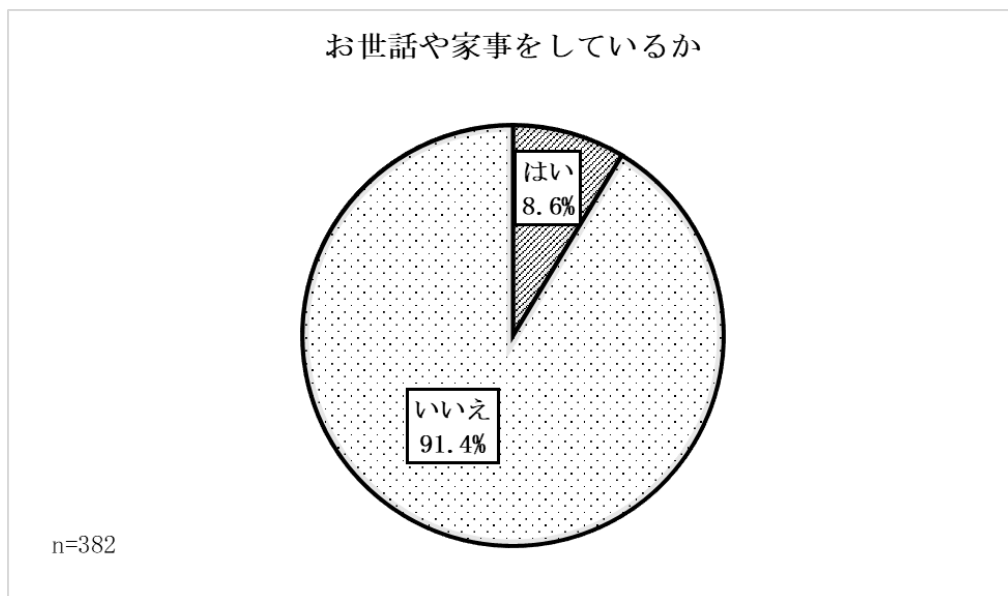
④いま、一緒に住んでいる家族について教えてください。（複数選択可）



(2) 家族や家庭状況について

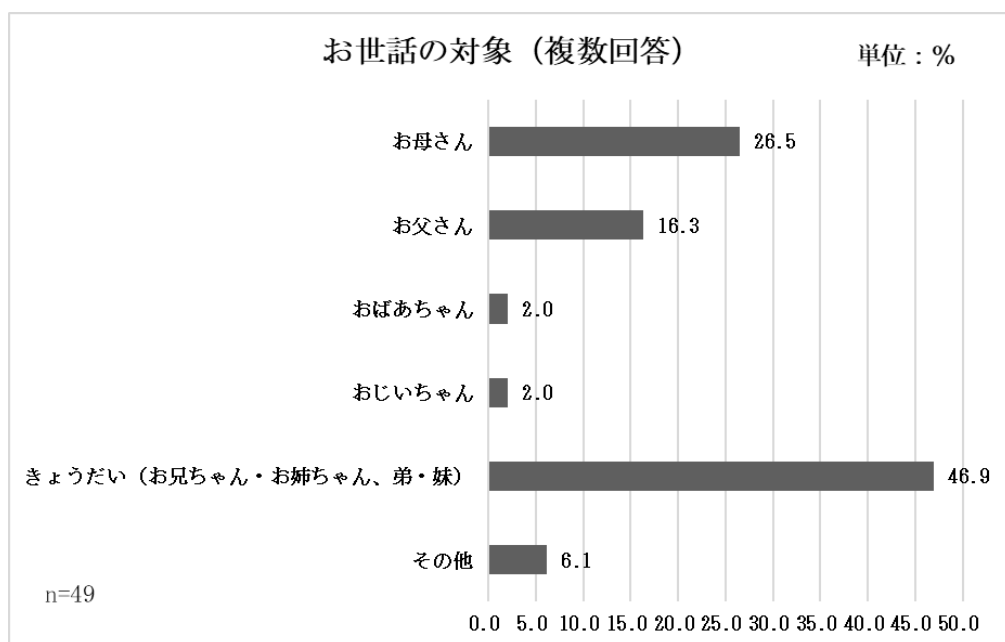
⑤あなたは家で家族の誰かのためにお世話や家事をしていますか。

お世話や家事をしているかどうかについては、「はい」が(8.6%)、「いいえ」が(91.4%)となっている。

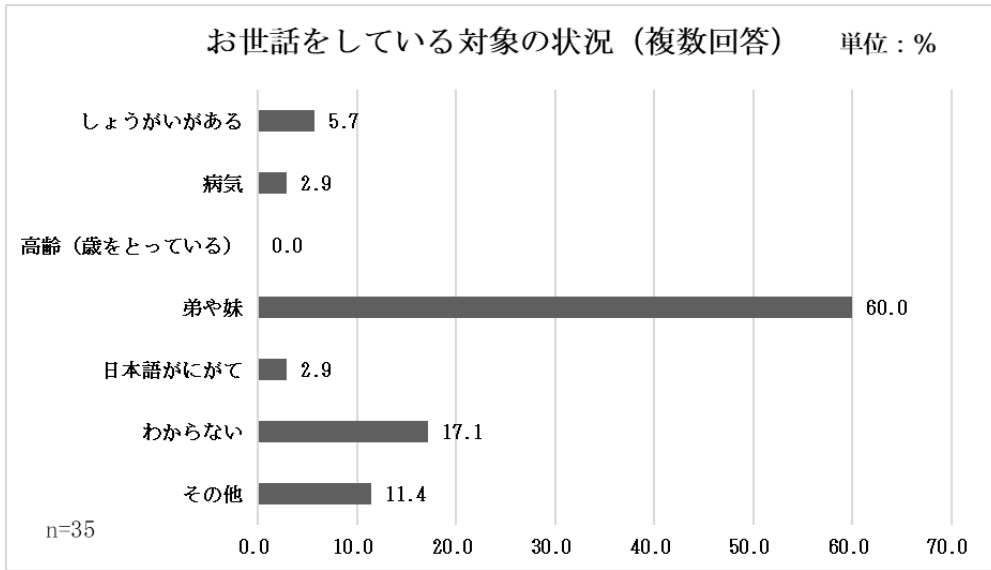


⑥お世話をしている家族は誰ですか。(複数選択可)

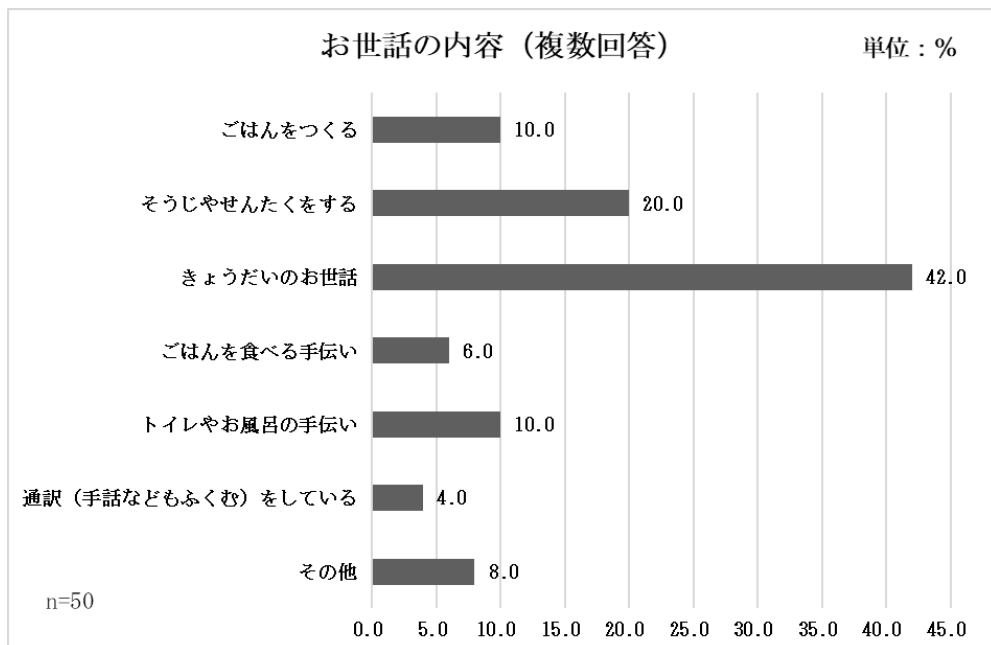
お世話をしている家族については、「きょうだい(お兄ちゃん・お姉ちゃん・弟・妹)」(46.9%)最も高く、次いで「お母さん」(26.5%)、「お父さん」(16.3%)となっている。



- ⑦ お世話をしている人の状況を教えてください。（複数選択可）
 お世話をしている家族の状況については、「弟や妹」（60.0%）が最も高くなっている。

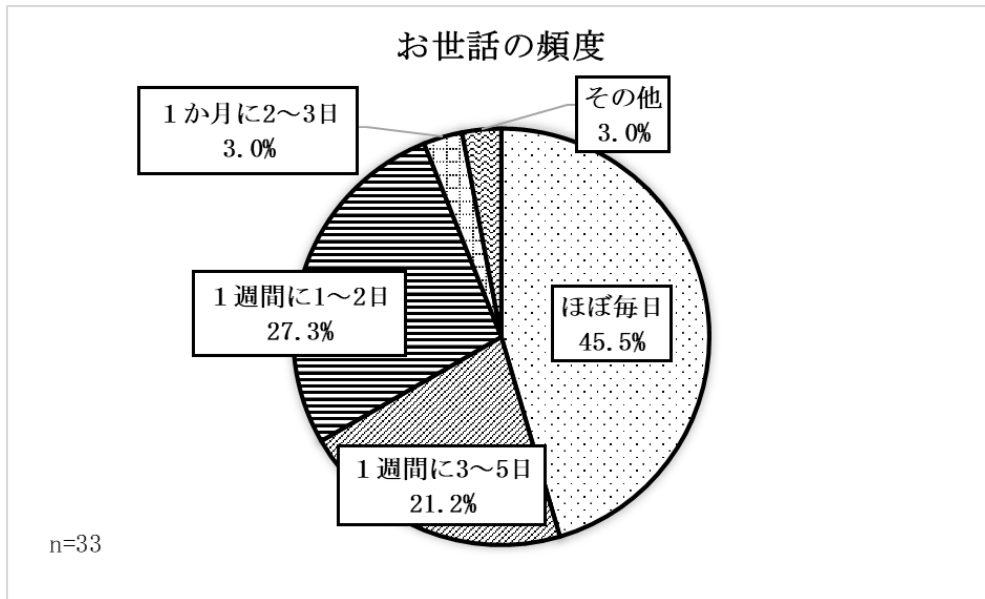


- ⑧ あなたが行っているお世話の内容を教えてください。
 お世話の内容については、「きょうだいのお世話」（42.0%）が最も高くなっており、次いで「そうじやせんたくをする」（20.0%）となっている。「ごはんをつくる」（10.0%）、「トイレやお風呂の手伝い」（10.0%）は同率となっている。



⑨お世話はどのくらい行っていますか。

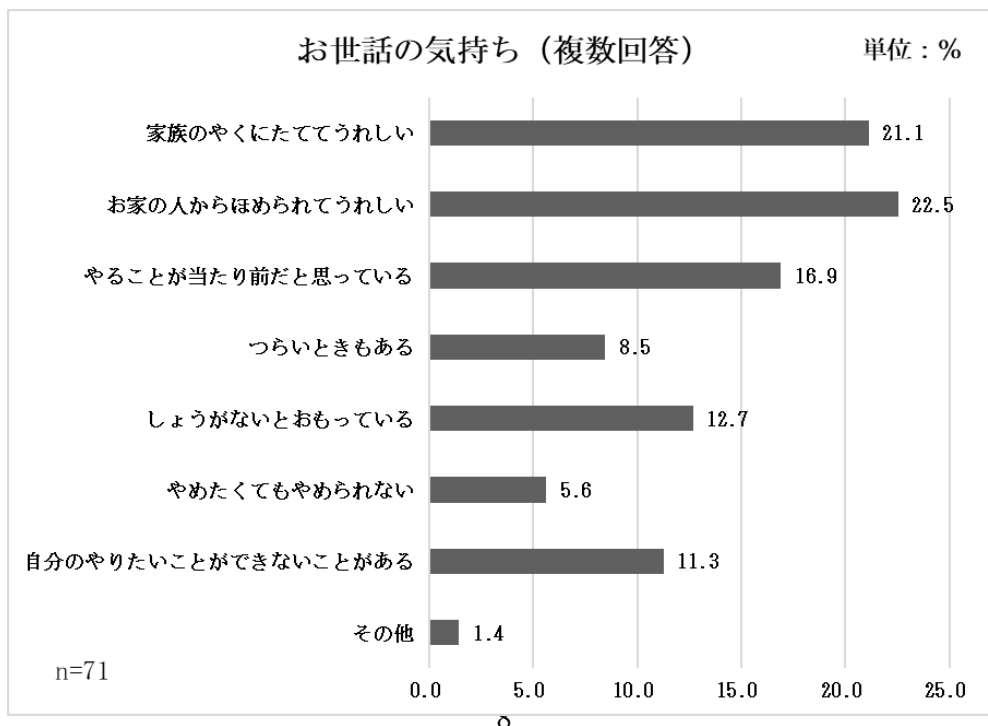
お世話の頻度については、「ほぼ毎日」(45.5%)が最も高くなっている。次いで「1週間に1~2日」(27.3%)「1週間に3~5日」(21.2%)となっており、週に3日以上お世話をしている割合は66.7%である。



⑩家族のお世話や家事をすることについて、あてはまるものを全てえらんでください。

(複数選択可)

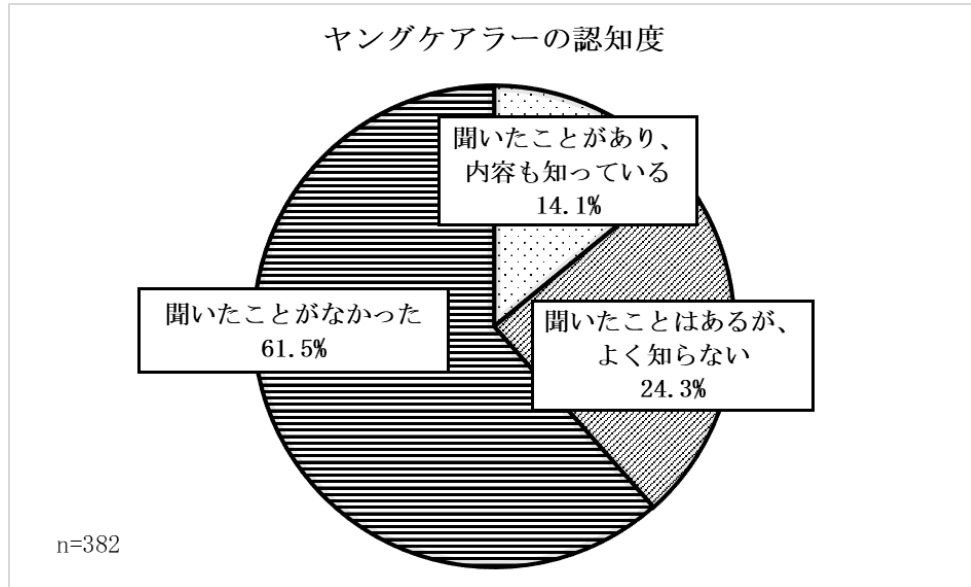
お世話や家事をすることに対する気持ちについては、「お家の人からほめられてうれしい」(22.5%)が最も高くなっている。次いで、「家族のやくにたててうれしい」(21.1%)が多くなっている。一方で10%以上の児童が「自分のやりたいことができないことがある」(11.3%)と回答している。



(3) ヤングケアラーについて

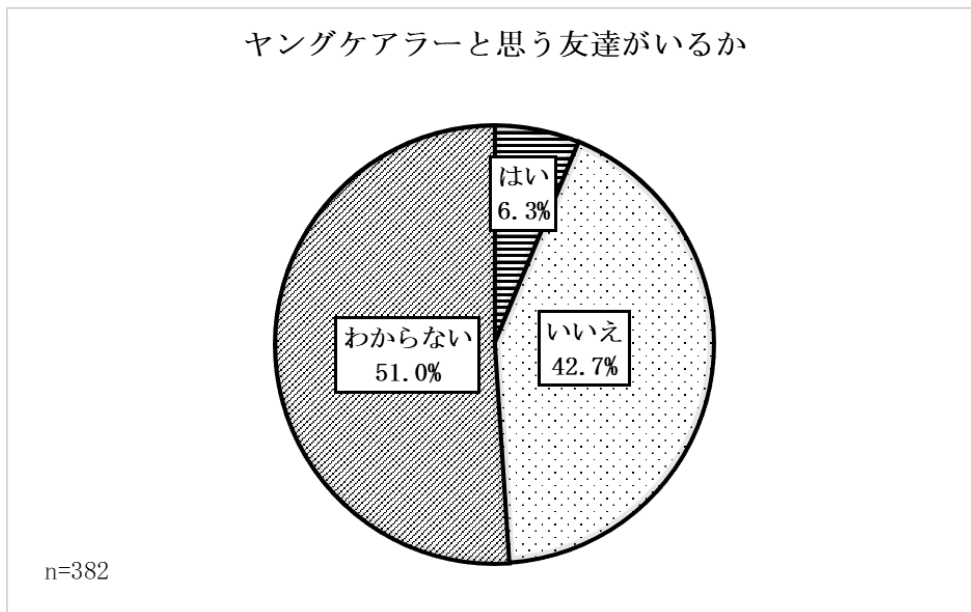
⑪ ヤングケアラーという言葉を知ったことがありますか。

ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるかどうかについては、「聞いたことがなかった」(61.5%)が最も高くなっている。ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるのは全体の38.4%となっている。



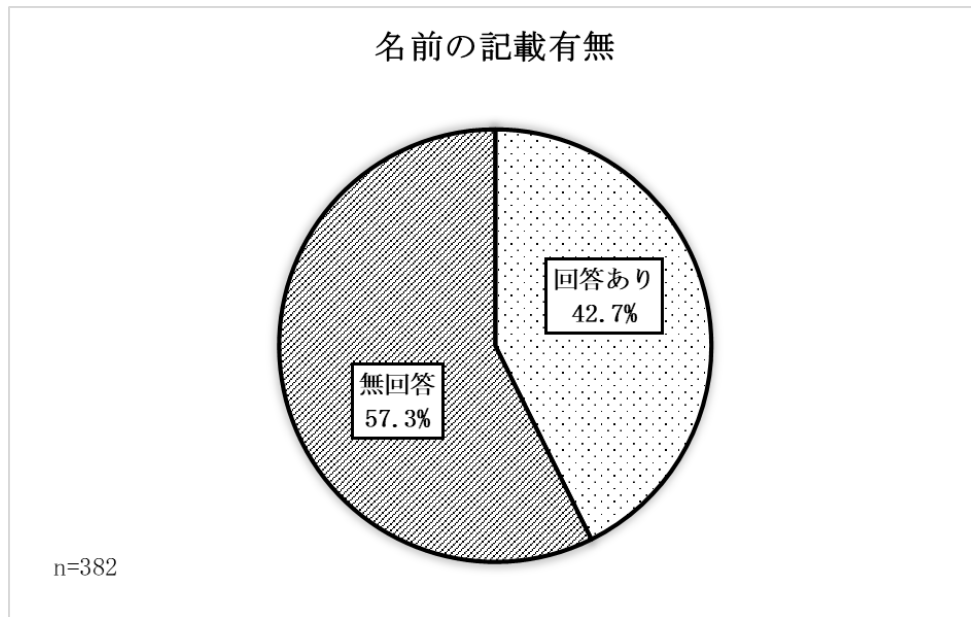
⑫ あなたのお友達で「もしかしたらヤングケアラーかな?」とおもうお友だちはいますか。

ヤングケアラーと思う友達がいるかどうかについては、「わからない」(51.0%)が最も高く、次いで「いいえ」(42.7%)となっているが、6.3%の児童は「はい」と回答している。



⑬あなたのお名前を教えてください

名前の回答については「回答あり」(42.7%)、「無回答」(57.3%)となっている。



2 小学生の生活実態に関するアンケート調査結果（クロス集計）

(1) 被介護者の属性

① 被介護者の続柄×お世話をしている人の状況（複数回答）

世話をしている家族の状況については、きょうだい（お兄ちゃん・お姉ちゃん、弟・妹）をお世話している場合は、病気や障害ではなく「弟や妹」であるという理由でお世話をしている割合が多い（82.6%）。お母さん、お父さんのお世話をしている場合においては、「病気」や「日本語が苦手」でお世話をしている割合は約10%前後みられるが、「わからない」や「その他」が多く、本人が明確な理由を認識できていない可能性がある。

	しょうがいがある	病気	弟や妹	日本語がにがて	わからない	その他	サンプル数（n）
お母さん	0.0%	7.7%	15.4%	7.7%	46.2%	23.1%	13
お父さん	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	37.5%	25.0%	8
おばあちゃん	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	1
おじいちゃん	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
きょうだい（お兄ちゃん・お姉ちゃん、弟・妹）	4.3%	4.3%	82.6%	0.0%	8.7%	0.0%	23
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	3

(2) 性別によるケア状況の違い

① 性別×お世話や家事の有無

お世話や家事しているかどうかについては、「男の子」の割合がやや高くなっている。

	はい	いいえ	サンプル数（n）
男の子	10.0%	90.0%	190
女の子	7.5%	92.5%	187
答えたくない	0.0%	100.0%	5

②性別×お世話の頻度

世話をしている頻度について、「ほぼ毎日」と回答した割合は「男の子」の方が高くなっている。

	ほぼ毎日	1週間に3～5日	1週間に1～2日	1か月に2～3日	その他（たまに）	サンプル数（n）
男の子	47.37%	21.05%	26.32%	5.26%	0.00%	19
女の子	42.86%	21.43%	28.57%	0.00%	7.14%	14

(3) ケアへの影響

①お世話の頻度×ケアへの思い（複数回答）

ケアへの思いについては、お世話の頻度が1週間に3日以上を超えると「つらいときもある」「しようがないとおもっている」「やめたくてもやめられない」「自分のやりたいことができないことがある」の割合が高くなっている。一方、お世話の頻度が1週間に2日以下の場合、「家族のやくにたててうれしい」「お家の人からほめられてうれしい」の割合が高くなった。

	家族のやくにたててうれしい	お家の人からほめられてうれしい	やることが当たり前だと思っている	つらいときもある	しようがないとおもっている	やめたくてもやめられない	自分のやりたいことができないことがある	その他	サンプル数（n）
ほぼ毎日	20.5%	20.5%	15.4%	10.3%	12.8%	7.7%	12.8%	0.0%	39
1週間に3～5日	7.7%	15.4%	15.4%	15.4%	23.1%	7.7%	15.4%	0.0%	13
1週間に1～2日	26.7%	26.7%	26.7%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%	6.7%	15
1か月に2～3日	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
その他（たまに）	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2

(4) ヤングケアラーの認知度

①お世話や家事の有無×ヤングケアラーを聞いたことがあるか

ヤングケアラーを聞いたことがあるかどうかについては、お世話や家事をしていない人の方が「聞いたことがあり、内容も知っている」割合が高くなっている。一方で、「聞いたことがなかった」割合はお世話や家事をしていない児童・生徒の方が多く、「ヤングケアラー」の言葉の認知率自体はお世話をしている児童・生徒の方が高い。

	聞いたことがあり、 内容も知っている	聞いたことはあるが、 よく知らない	聞いたことがなかった	サンプル数 (n)
はい	9.1%	39.4%	51.5%	33
いいえ	14.6%	22.9%	62.5%	349

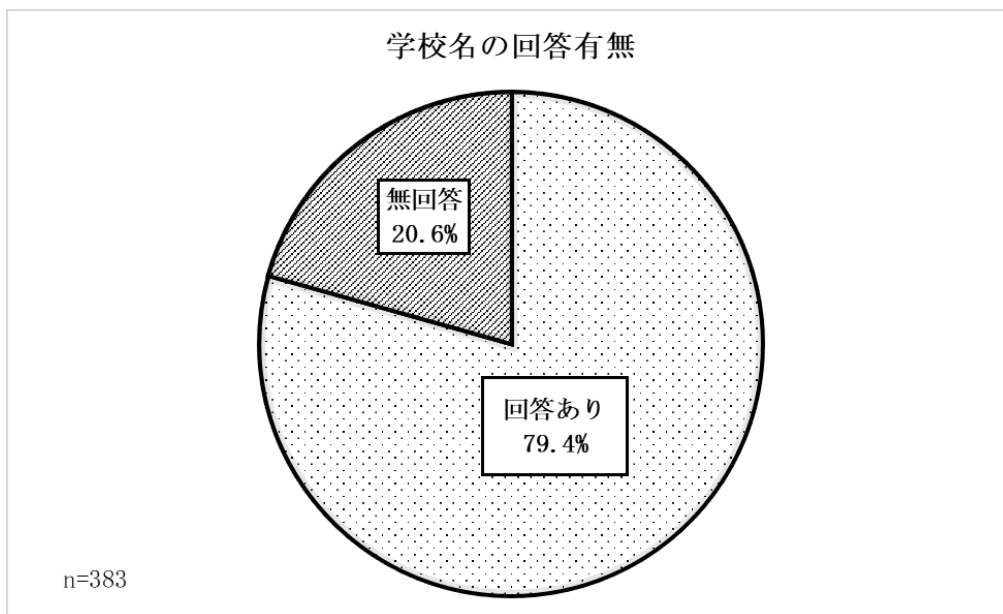
第 3 章

中学生の生活実態に関するアンケート調査結果

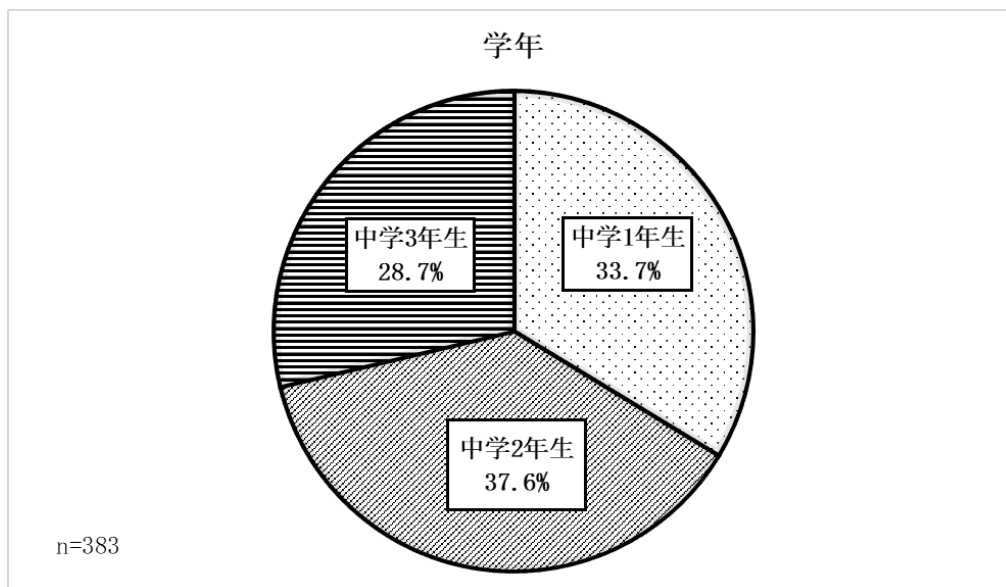
1 中学生の生活実態に関するアンケート調査結果（単純集計）

(1)対象者の属性

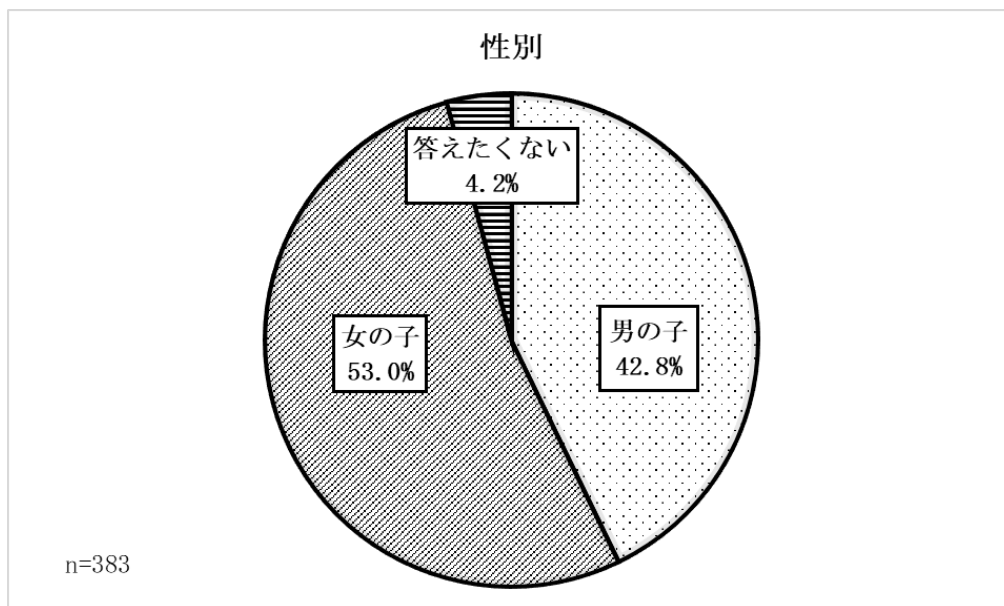
①あなたが通っている学校名を教えてください。



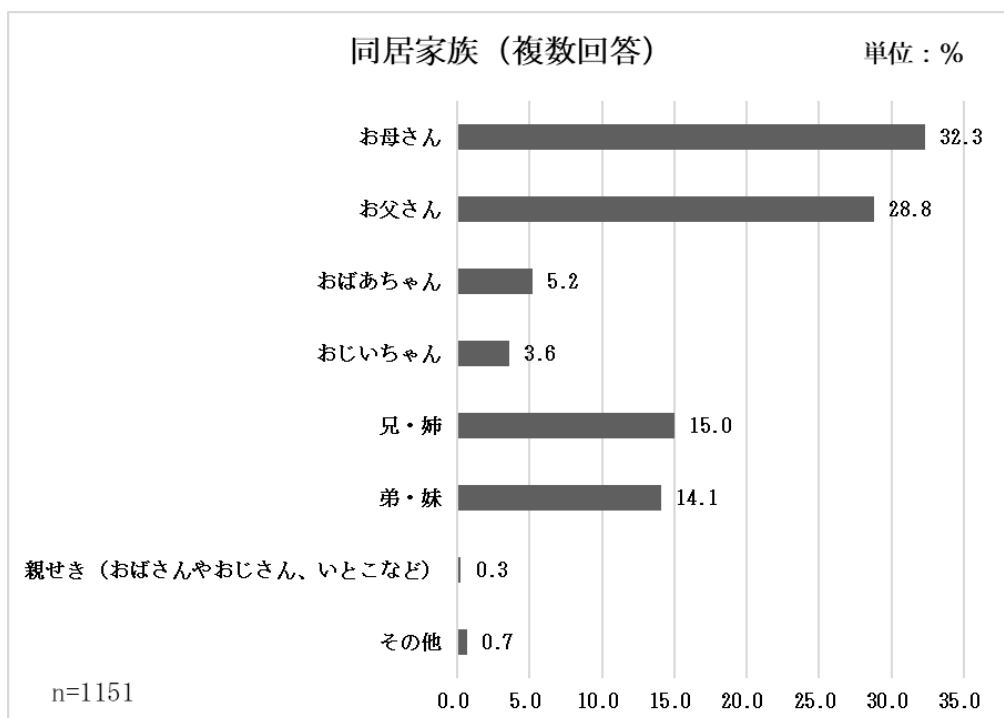
②あなたの学年を教えてください。



③あなたの性別を教えてください。



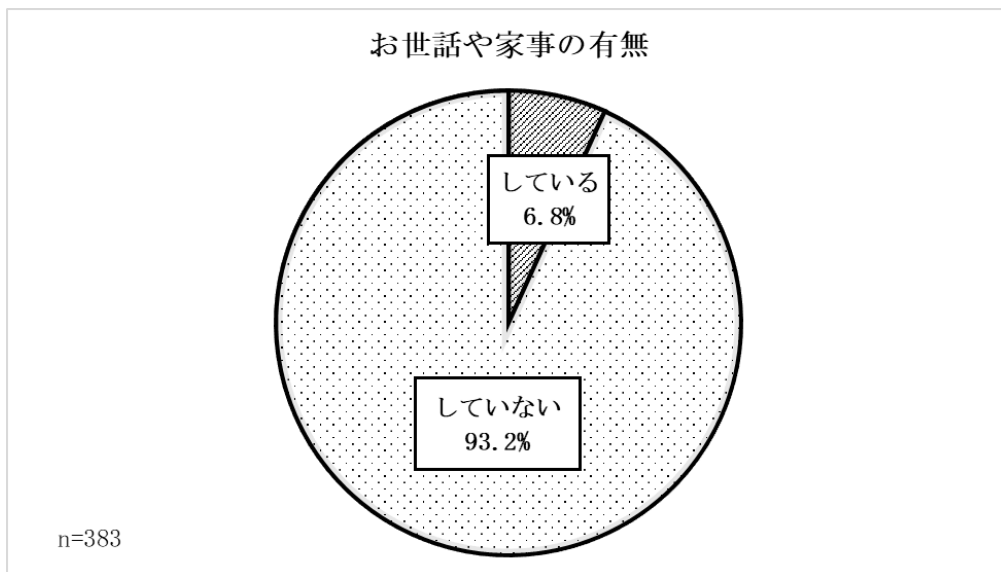
④いま、一緒に住んでいる家族について教えてください。（複数選択可）



(2) 家族や家庭状況について

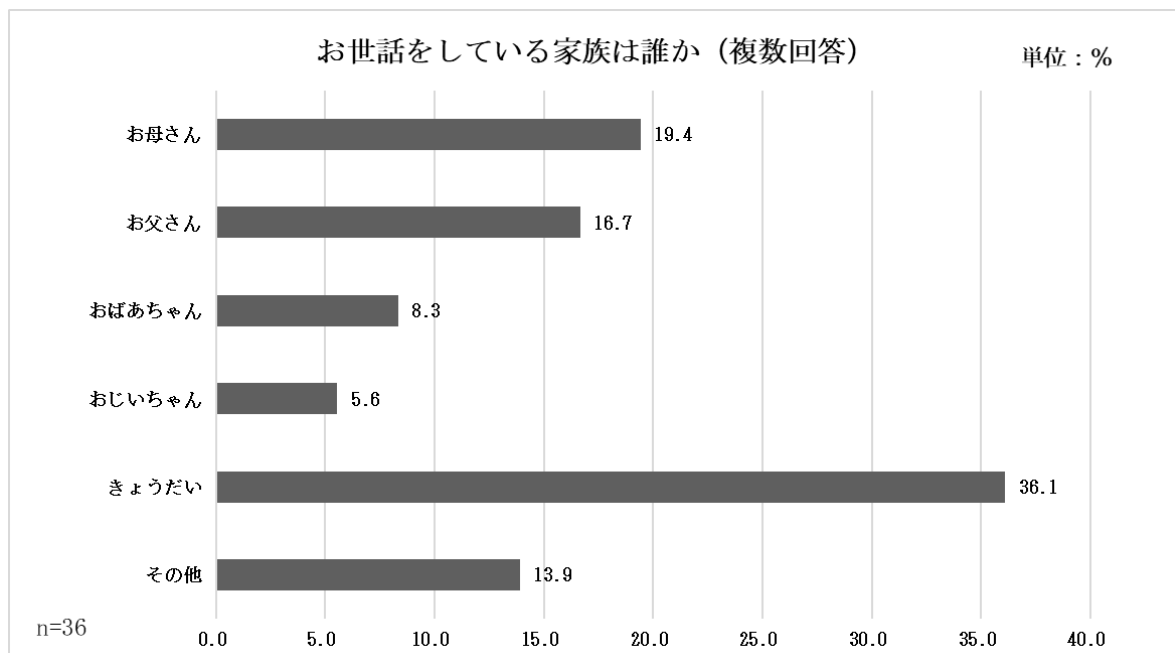
⑤あなたは家で家族の誰かのためにお世話や家事をしていますか。

お世話や家事をしているかどうかについては「している」(6.8%)、「いいえ」(93.2%)となっている。



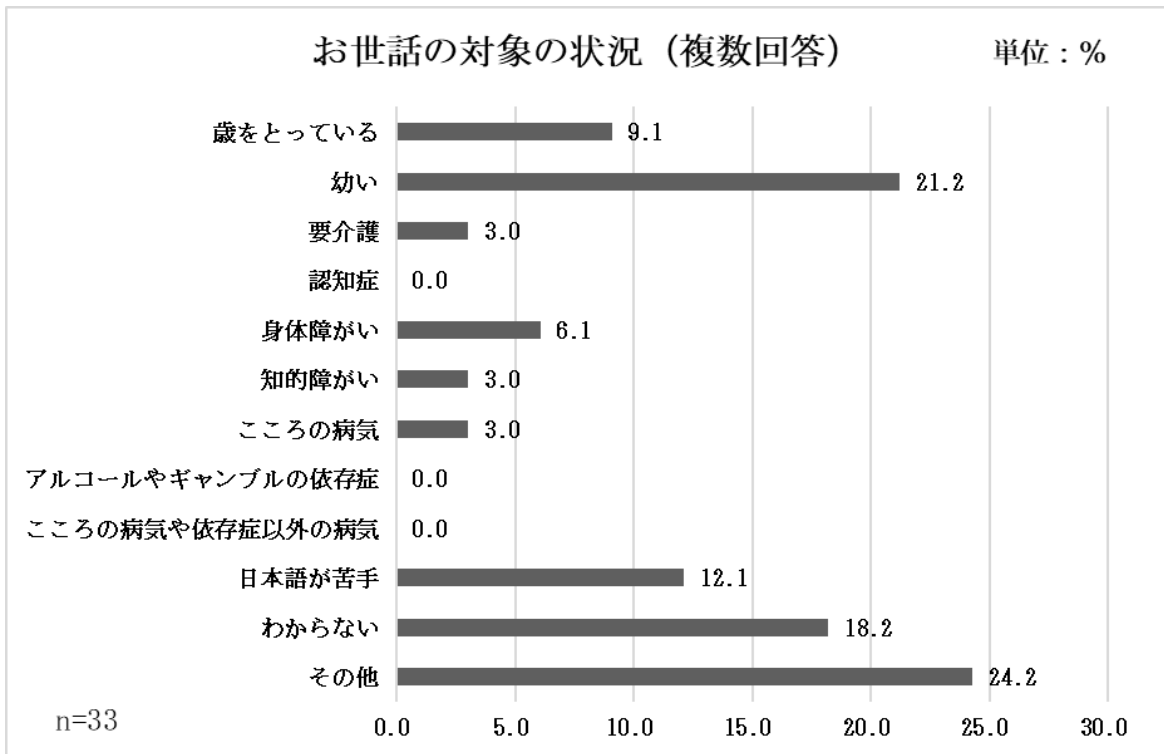
⑥お世話をしている家族は誰ですか。(複数選択可)

お世話をしている家族については、「きょうだい」(36.1%)が最も高くなっている。次いで「お母さん」(19.4%)、「お父さん」(16.7%)となっている。



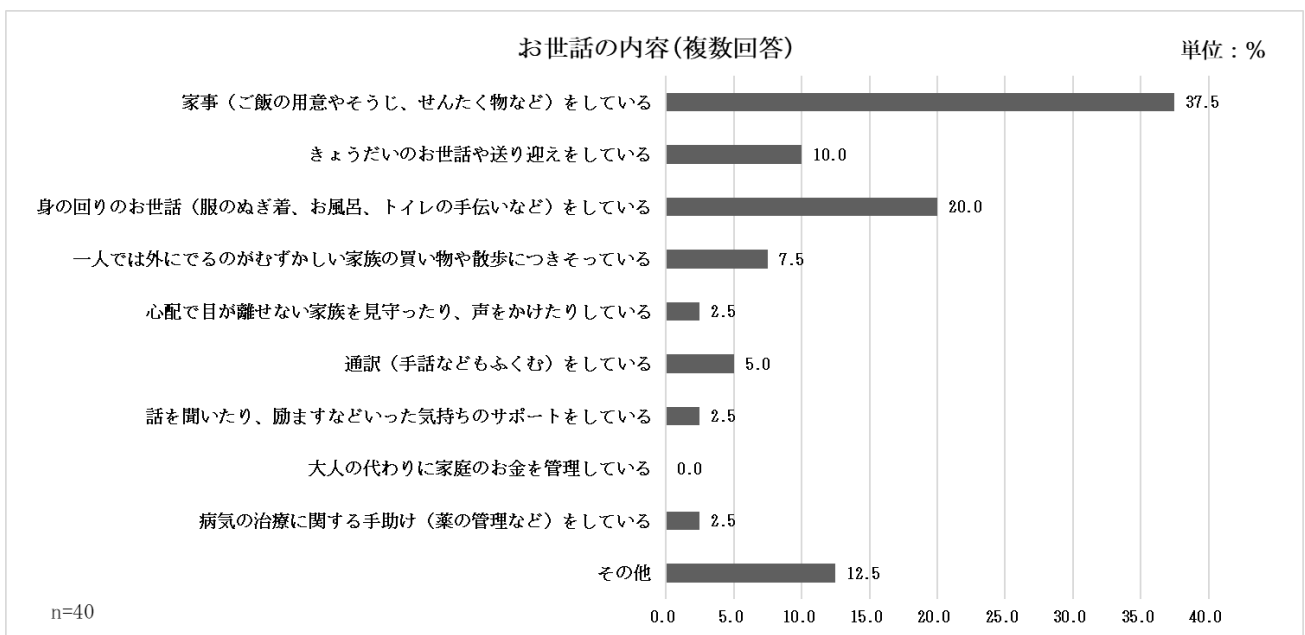
⑦お世話をしている人の状況を教えてください。（複数選択可）

お世話をしている人の状況については、「その他」（24.2%）が最も高くなっている。次いで「若い」（21.2%）となっており、「わからない」（18.2%）「日本語が苦手」（12.1%）「歳を取っている」（9.1%）という回答が次いで高くなっている。

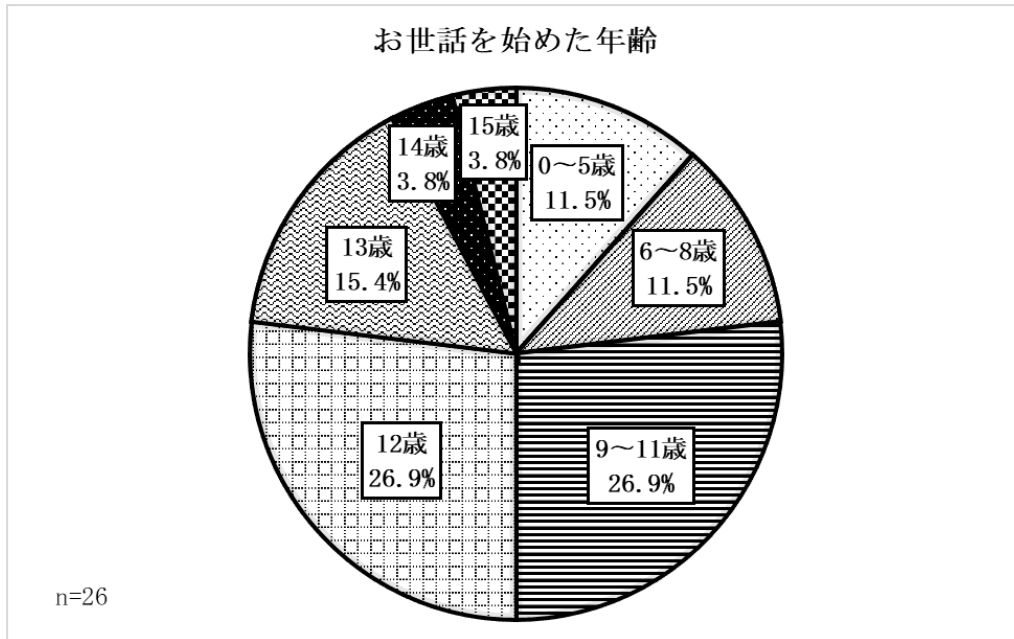


⑧あなたがやっているお世話の内容を教えてください。

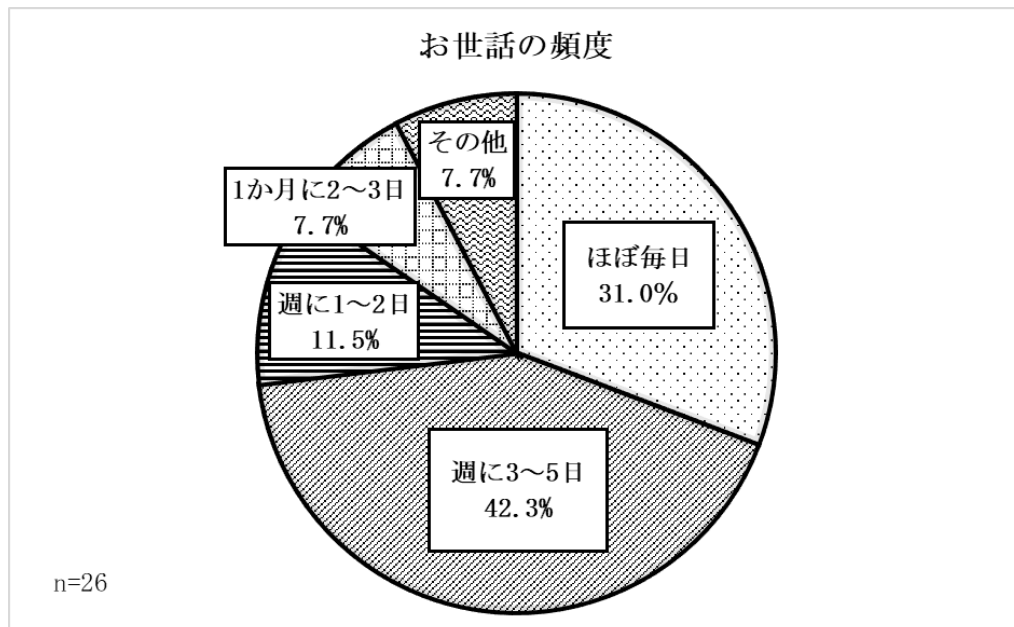
お世話の内容については、「家事」（37.5%）が最も高くなっている。次いで「身の回りのお世話」（20.0%）、「その他」（12.5%）となっている。



- ⑨お世話はいつから行っていますか。だいたいどの年齢で構いません
お世話を始めた年齢については、「9～11歳」(26.9%)、「12歳」(26.9%)が同率で最も高くなっている。

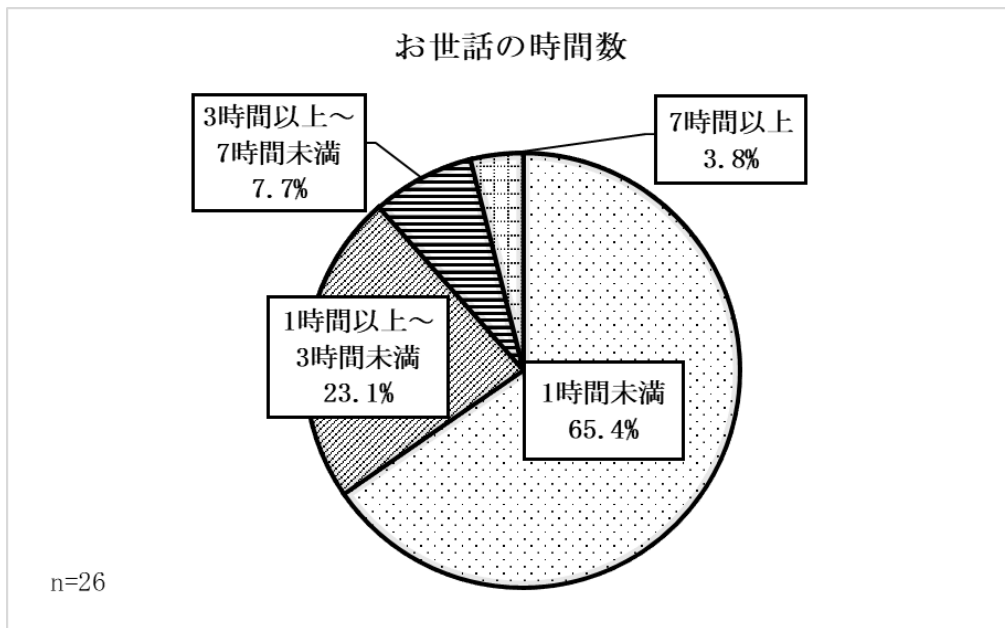


- ⑩お世話をしている頻度を教えてください。
お世話をしている頻度については、「週に3～5日」(42.3%)が最も高く、次いで「ほぼ毎日」(31.0%)となっている。週に3日以上お世話しているのは全体の73.3%である。



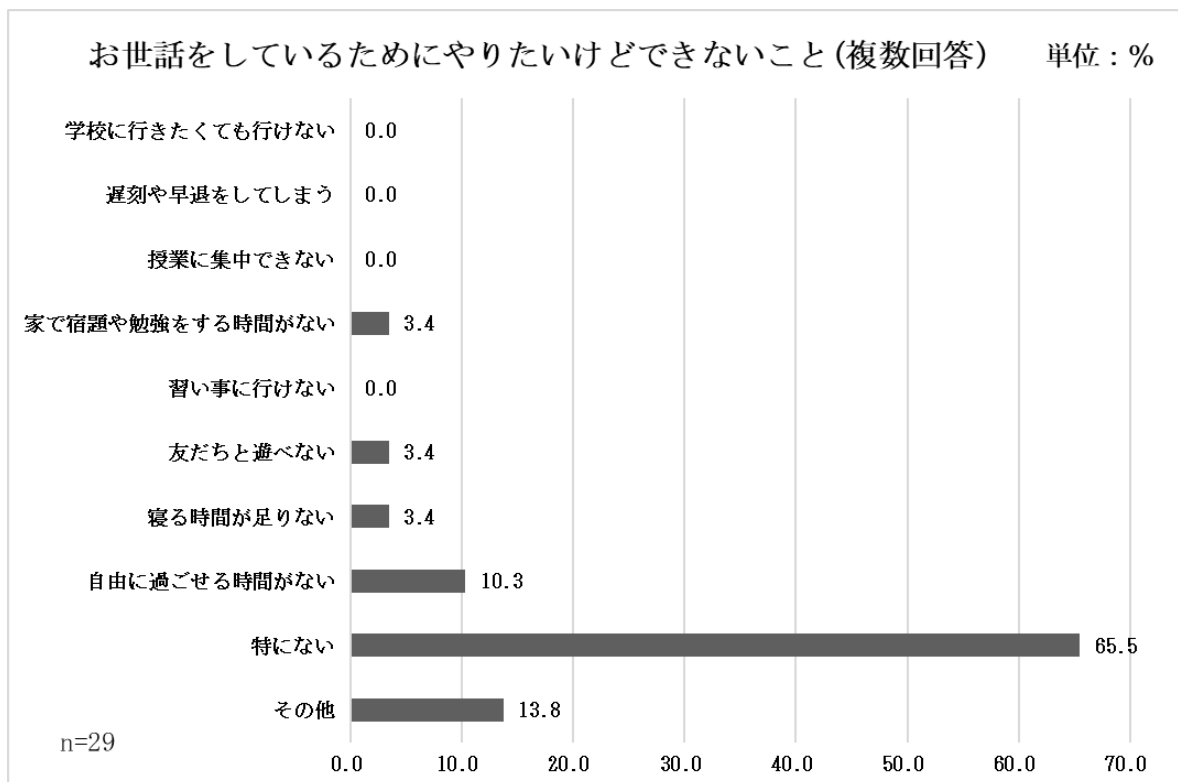
⑪お世話はどのくらい行っていますか。時間数を教えてください。

お世話の時間数については、「1時間未満」(65.4%)が最も高くなっている。次いで「1時間以上～3時間未満」(23.1%)、「3時間以上～7時間未満」(7.7%)となっている。



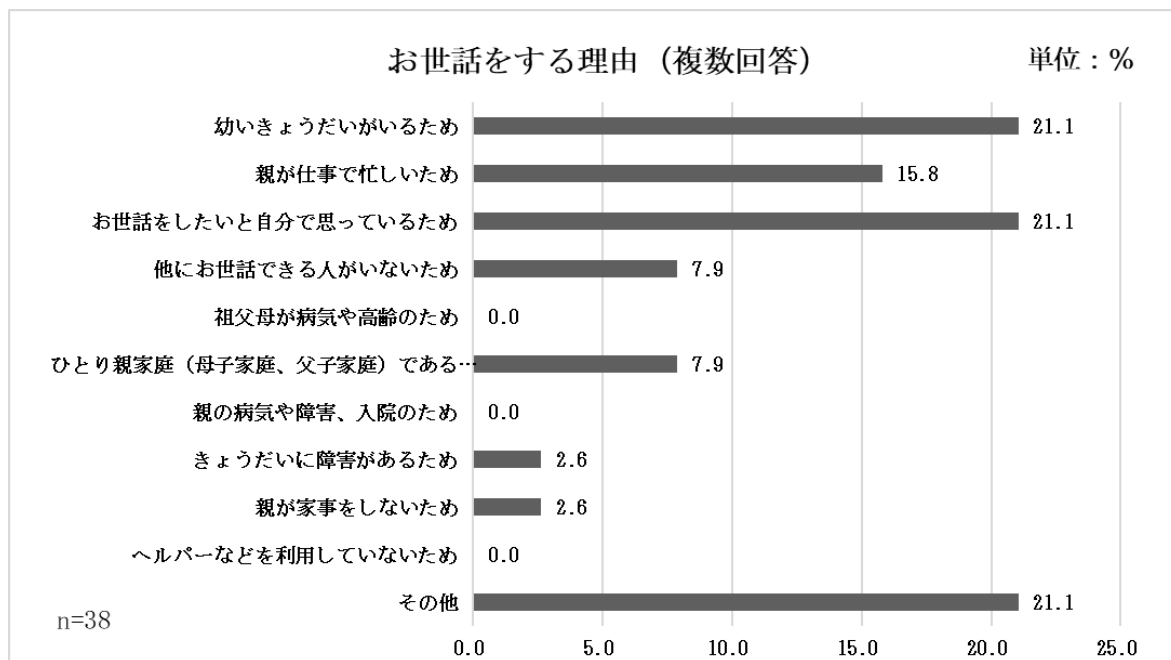
⑫家族のお世話や家事をすることで、やりたいけどできないことはありますか。(複数回答可)

お世話をしているためにやりたいけどできないことについては「特にない」(65.5%)が最も高くなっている。



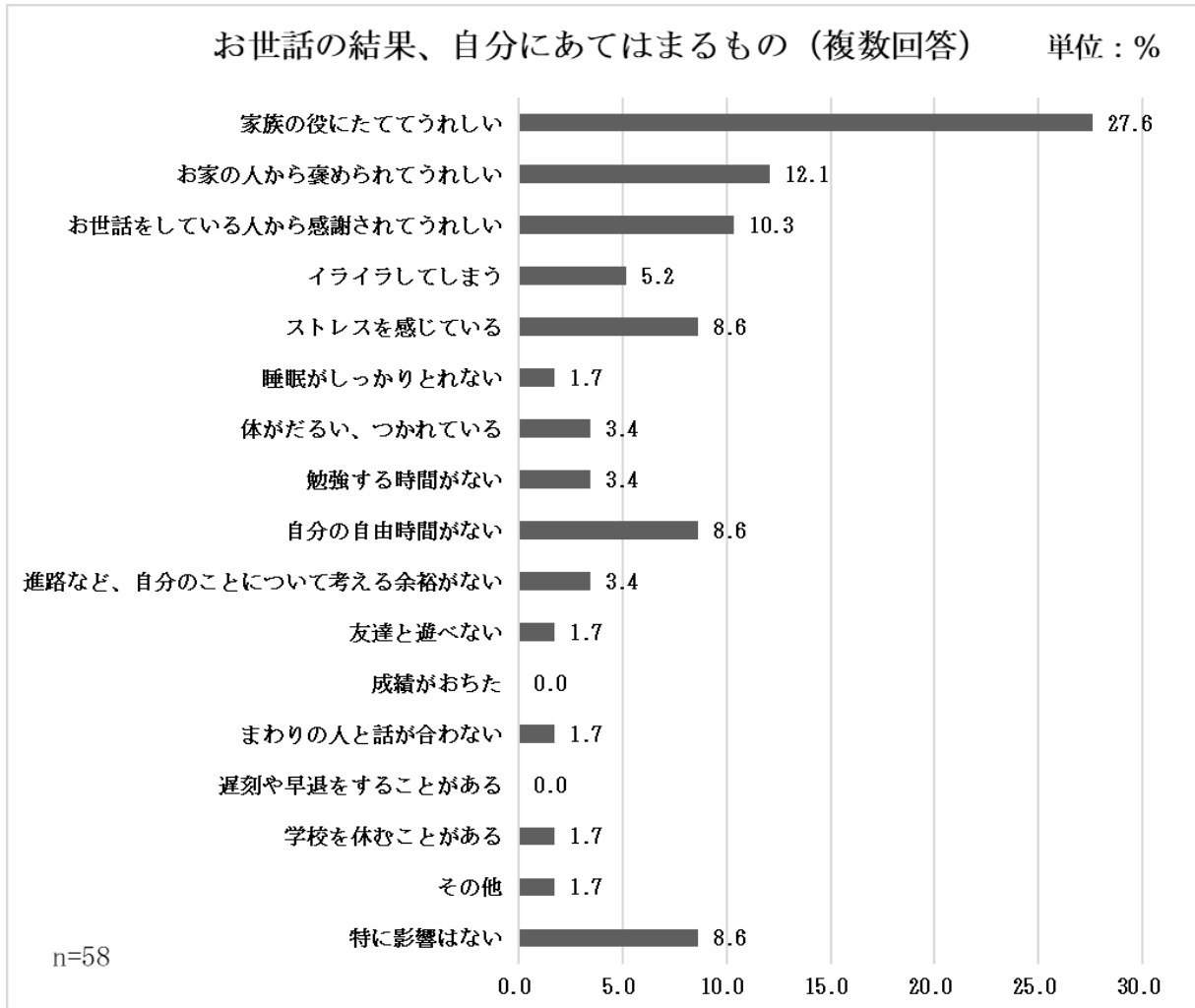
⑬あなたがお世話をする理由はなんですか。（複数回答可）

お世話をする理由については、「幼いきょうだいがいるため」、「お世話をしたいと自分で思っているため」、「その他」が同率(21.1%)で最も高くなっている。



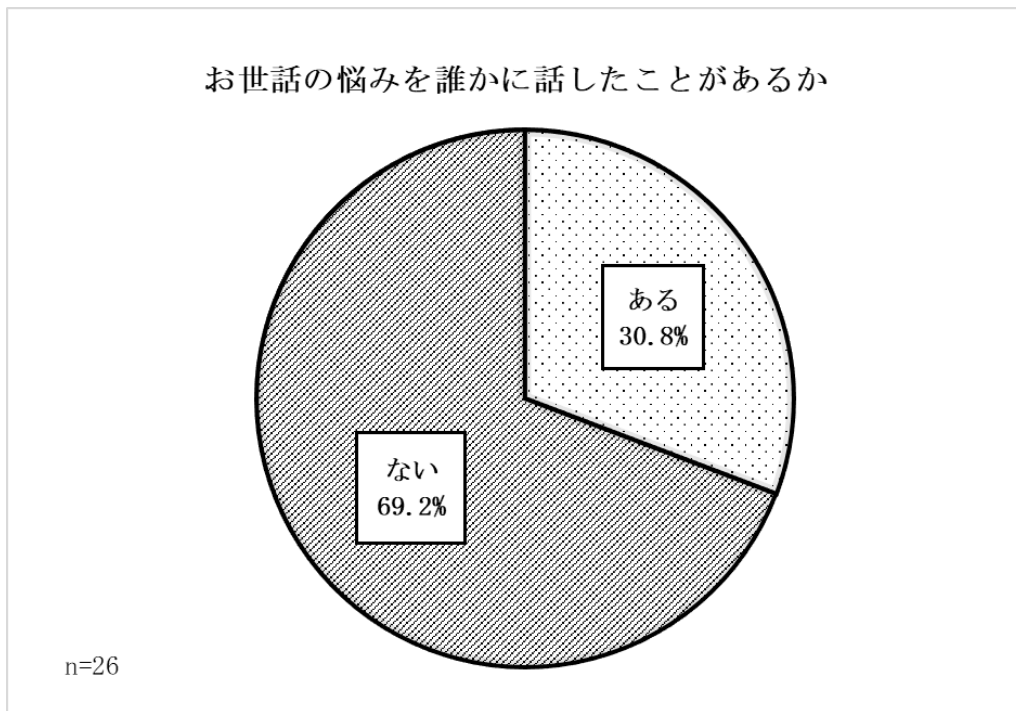
⑭お世話をしている結果、自分の思いや生活にあてはまるものはありますか。(複数回答可)

お世話の結果、自分の思いや生活におあてはまるものについては、「家族の役にたててうれしい」(27.6%)が最も高くなっている。次いで、「お家の人から褒められてうれしい」(12.1%)、「お世話をしている人から感謝されてうれしい」(10.3%)となっている。一方、「ストレスを感じている」「自分の自由時間がない」が同率(8.6%)となっている。



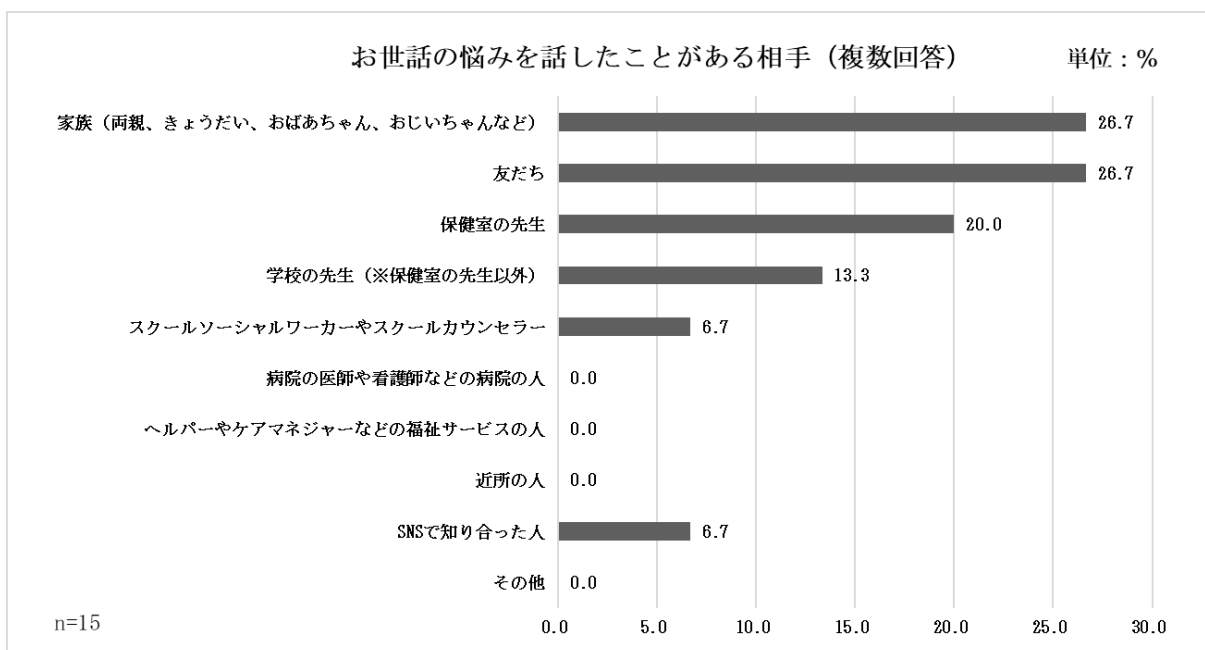
⑮お世話の悩みや不満を誰かに話したことはありますか。

お世話の悩みや不満を誰かに話したことがあるかどうかについては、「ある」(30.8%)、「ない」(69.2%)であった。



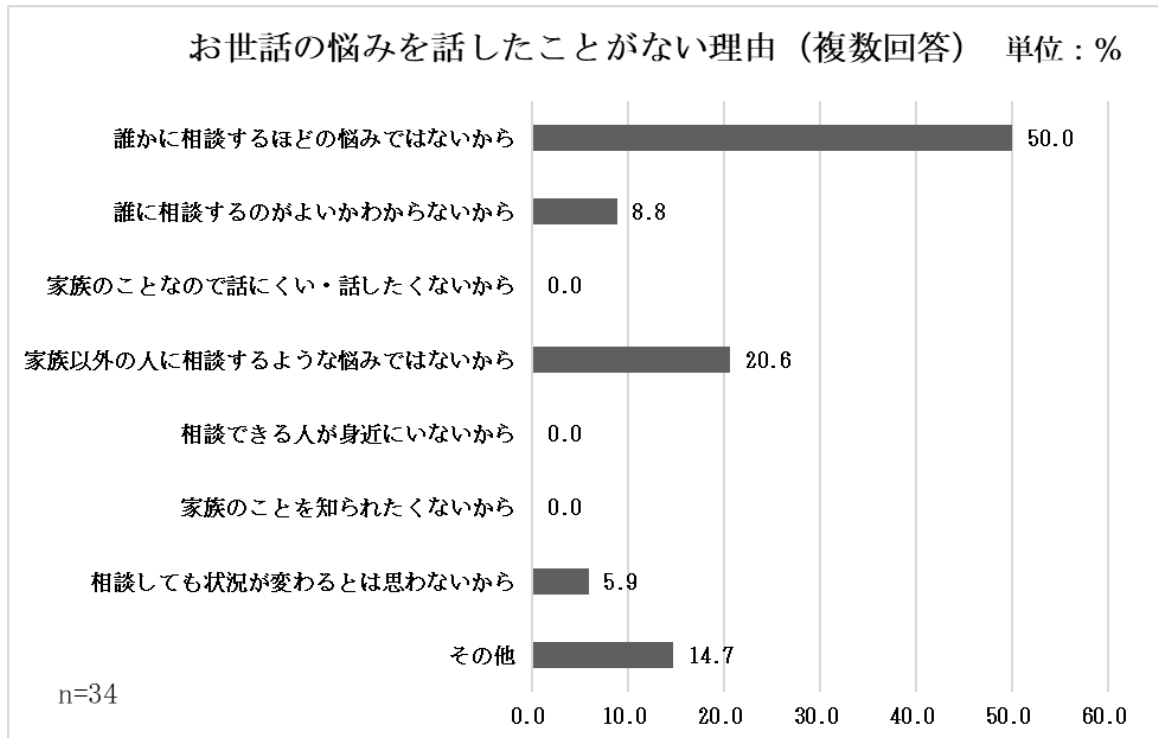
⑯話したことがある人は誰ですか。(複数回答可)。

お世話の悩みや不満を話したことがある相手については、「家族(両親、きょうだい、おばあちゃん、おじいちゃんなど)」、「友だち」が同率(26.7%)で最も高くなっている。また、「学校の先生(※保健室の先生以外)」(13.3%)よりも「保健室の先生」(20.0%)の方が多くなっている。



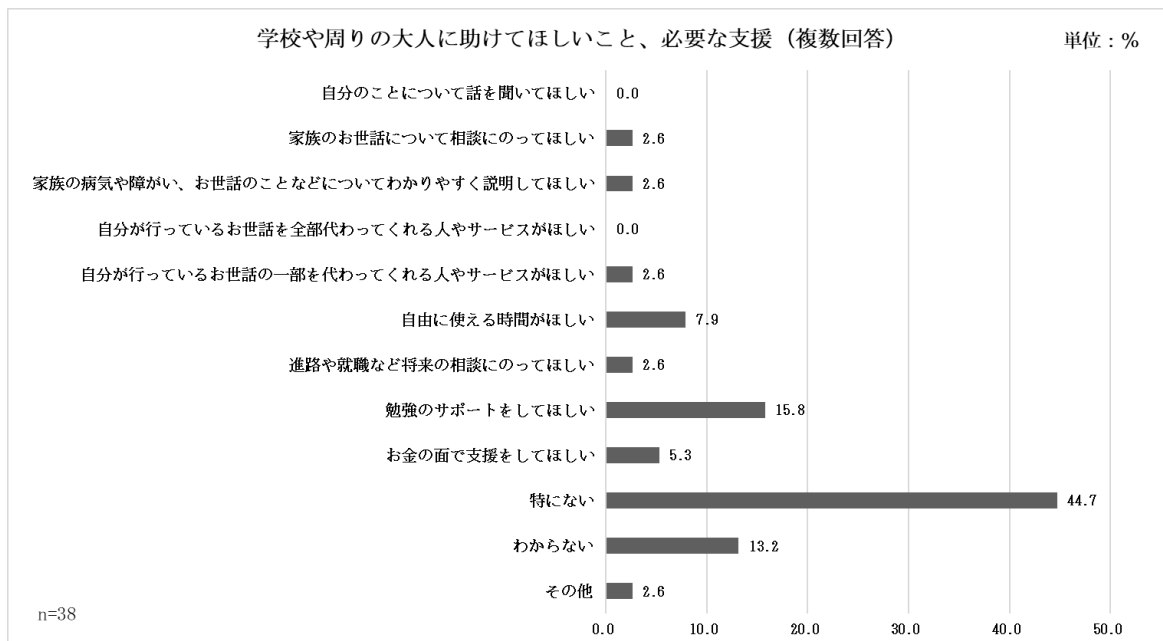
⑰話したことがない理由を教えてください。（複数回答可）

お世話の悩みや不満を話したことがない理由については、「誰かに相談するほどの悩みではないから」（50.0%）が最も高くなっている。次いで「家族以外の人に相談するような悩みではないから」（20.6%）となっている。



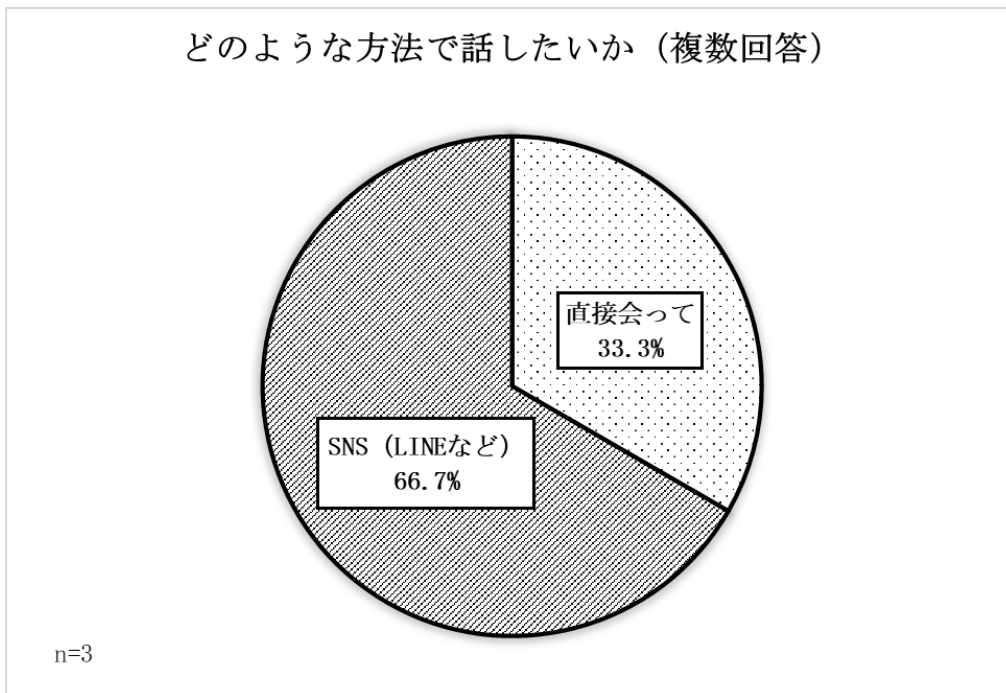
⑱学校や周りの大人に助けてほしいこと、必要としている支援はありますか。（複数回答可）

学校や周りの大人に助けてほしいこと、必要としている支援については、「特にない」（44.7%）が最も高くなっており、次いで「勉強のサポートをしてほしい」（15.8%）、「わからない」（13.2%）である。



⑱ 「自分のことについて話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した方にお聞きします。どのような方法で話したいですか。（複数回答可）

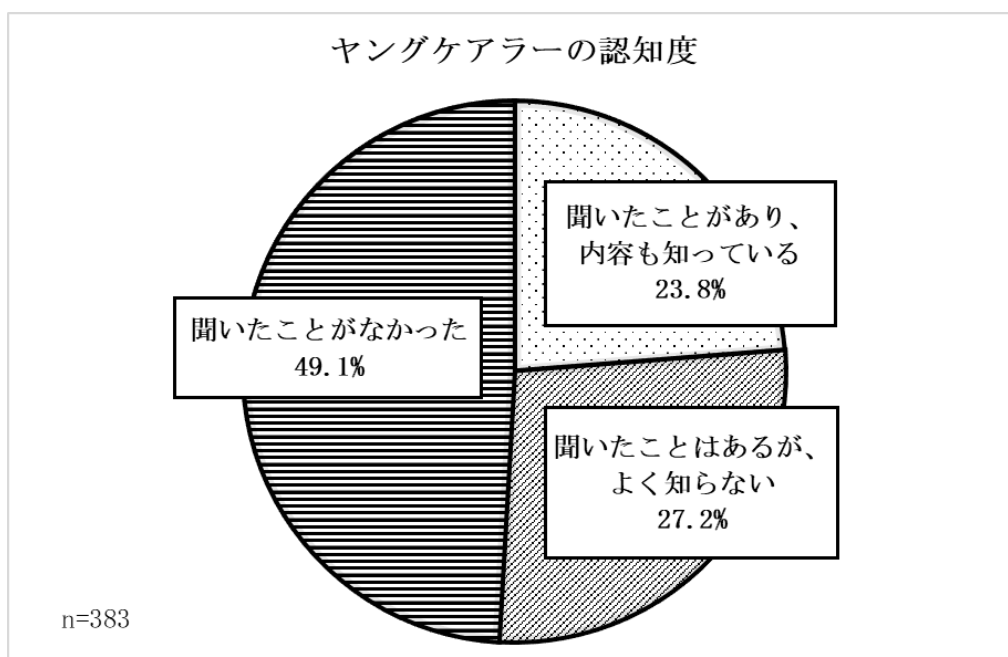
相談方法については、「SNS(LINEなど）」(66.7%)、「直接会って」(33.3%)となっている。ただし、本設問はサンプル数が3であることに注意されたい。



(3) ヤングケアラーについて

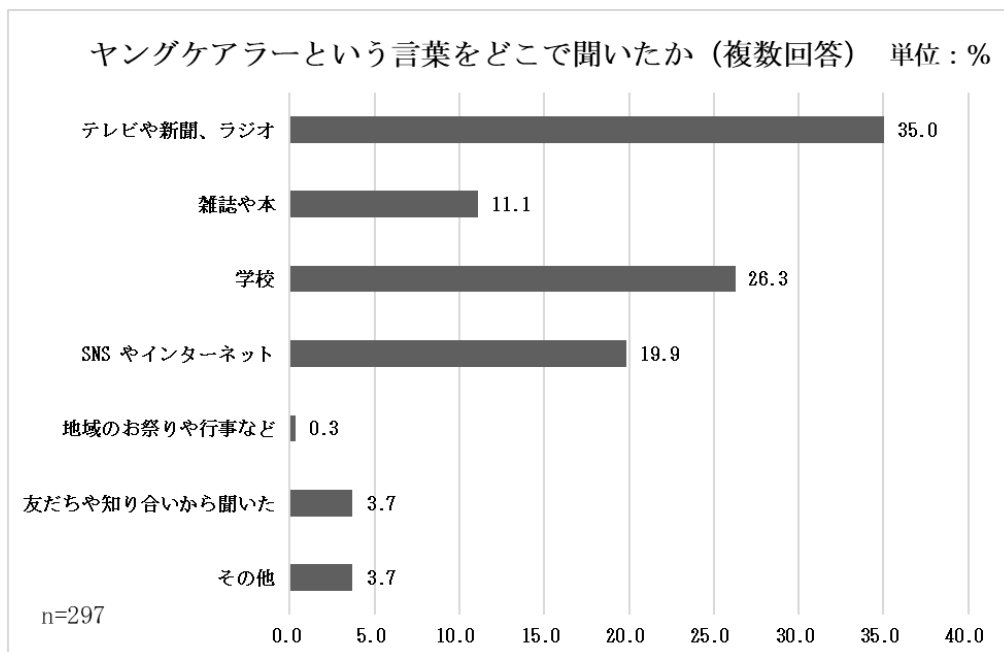
⑳ 今まで、ヤングケアラーという言葉を知ったことがありますか。

ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるかどうかについては、「聞いたことがなかった」(49.1%)が最も高く、次いで「聞いたことがあるが、良く知らない」(27.2%)、「聞いたことがあり、内容も知っている」(23.8%)となっている。

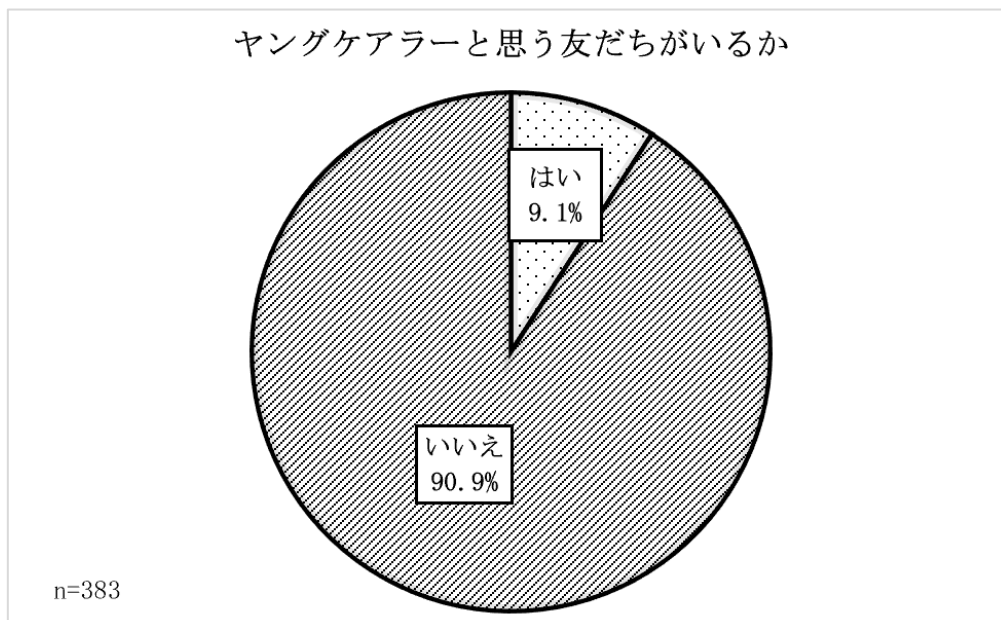


②①ヤングケアラーという言葉はどこで聞きましたか。（複数回答可）

ヤングケアラーという言葉はどこで聞いたかについては、「テレビや新聞、ラジオ」(35.0%)が最も高く、次いで「学校」(26.3%)、「SNSやインターネット」(19.9%)となっている。

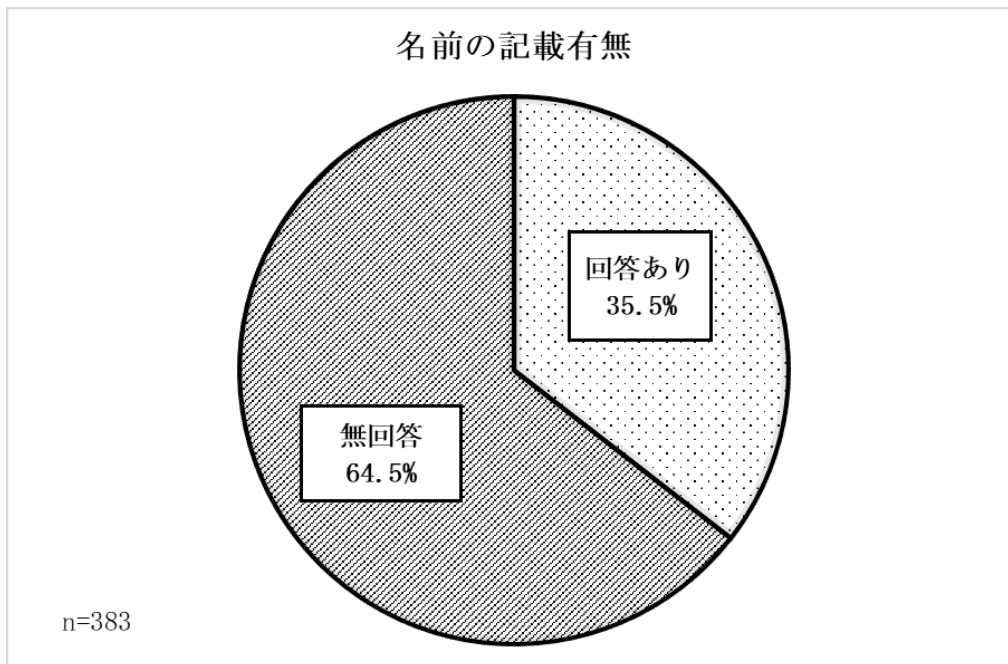


②②あなたのお友達で「もしかしたらヤングケアラーかな？」とおもうお友だちはいますか。ヤングケアラーだと思う友達がいるかどうかについては、「はい」(9.1%)、「いいえ」(90.9%)となっている。



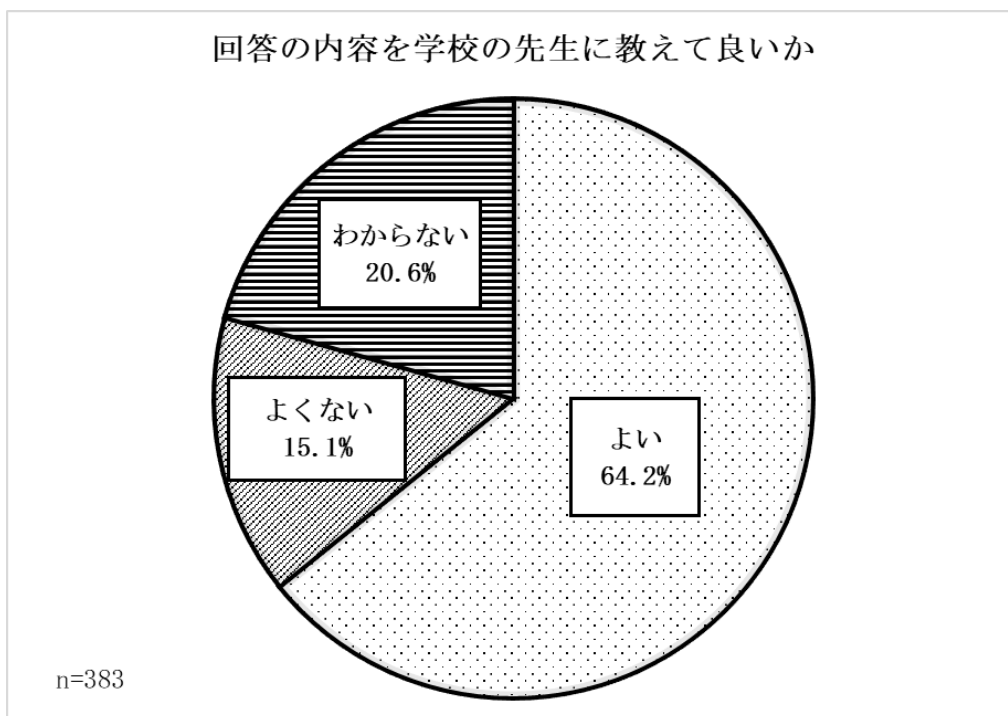
②③あなたのお名前を教えてください。

名前の回答については、「回答あり」(35.5%)、「無回答」(64.5%)となっている。

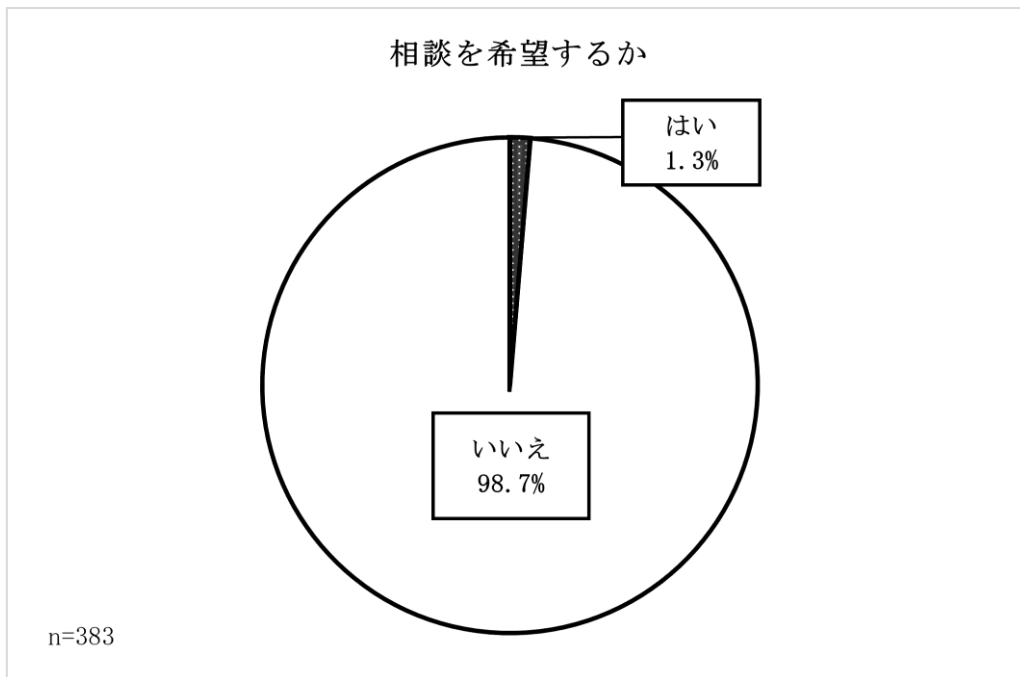


④回答の内容を学校の先生に教えてもよいですか。

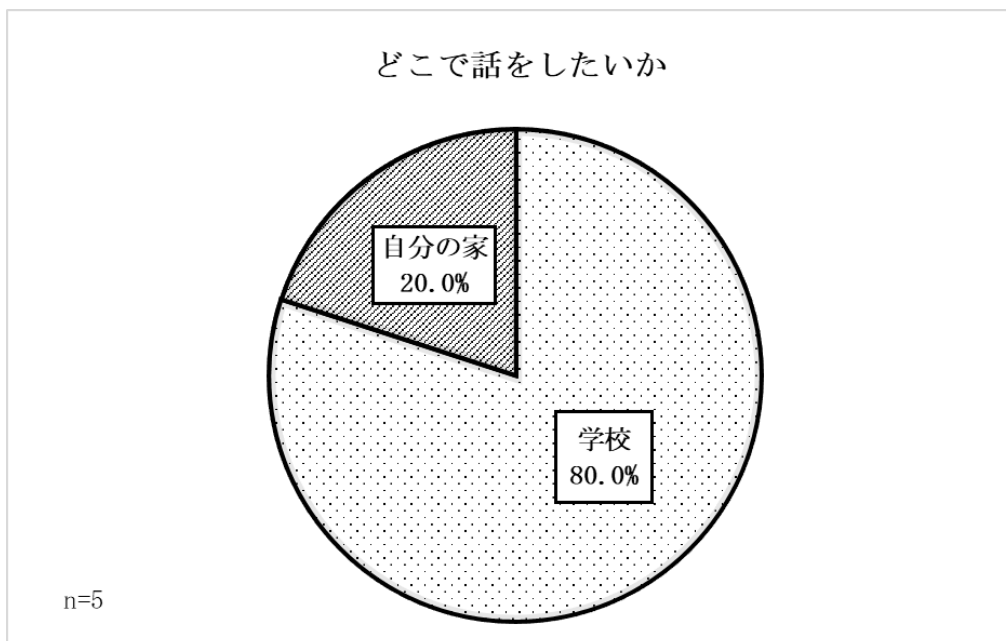
回答の内容を学校の先生に教えても良いかどうかについては、「よい」(64.2%)、「よくない」(15.1%)、「わからない」(20.6%)となっている。



- ②⑤回答の内容について、希望する人は学校の先生や相談員の人に家族のことや自分のことを相談することができます。相談することを希望しますか？
相談を希望するかどうかについては、「はい」(1.3%)、「いいえ」(98.7%)となっている。



- ②⑥「はい」と答えた方にお聞きします。このアンケートの後、学校の先生（または相談員）があなたの回答してくれた内容を確認します。その後、相談の声かけをさせてもらうのでお話をきかせてもらえると嬉しいです。どこでお話をしたいですか？
相談場所については、「学校」(80.0%)、「自分の家」(20.0%)となっている。



2 中学生の生活実態に関するアンケート調査結果（クロス集計）

(1) 被介護者の属性

① 被介護者の続柄×お世話をしている人の状況（複数回答）

お世話をしている人の状況については、被介護者の続柄が「お母さん」「お父さん」の場合、「日本語が苦手」の割合が高くなっている。「おばあちゃん」「おじいちゃん」の場合は「歳をとっている」の割合が最も高い。「きょうだい」の場合は「若い」が最も割合が高いが、「日本語が苦手」が13.3%の割合で存在する。

	歳をとっている※65歳以上	若い	要介護※身体が不自由で他の人に手伝わなければならない状態	身体障がい※視覚、聴覚、言語機能の障害や身体の不自由などの状態	知的障がい※自分の気持ちや物事をうまく伝えることが苦手な状態	こころの病気（こころの病気かもしれない）	日本語が苦手	わからない	その他	回答なし	サンプル数（n）
お母さん	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	7
お父さん	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	6
おばあちゃん	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4
おじいちゃん	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
きょうだい	0.0%	46.7%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	13.3%	20.0%	6.7%	0.0%	15
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	5
回答なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	357

(2) 性別によるケア状況の違い

① 性別×お世話や家事の有無

お世話や家事しているかどうかについては、「女の子」の割合がやや高くなっている。

	している	していない	サンプル数（n）
男の子	5.5%	94.5%	164
女の子	6.4%	93.6%	203
答えたくない	25.0%	75.0%	16

②性別×お世話の頻度

お世話の頻度について、「ほぼ毎日」と回答した割合は「男の子」の方が高くなっている。一方で「週3～5日」と回答した割合は「女の子」の方が高く、週3日以上は「男の子」「女の子」ともに同率（75%）である。

	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に2～3日	サンプル数（n）
男の子	62.5%	12.5%	25.0%	0.0%	8
女の子	25.0%	50.0%	8.3%	16.7%	12
答えたくない	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	4

③性別×お世話に費やす時間

お世話に費やす時間については、「女の子」は「男の子」に比べて「3時間以上～7時間未満」「7時間以上」と回答した割合が高く、男の子は3時間未満しか存在していない。

	1時間未満	1時間以上～3時間未満	3時間以上～7時間未満	7時間以上	サンプル数（n）
男の子	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	9
女の子	53.8%	23.1%	15.4%	7.7%	13
答えたくない	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4

(3) ケアへの影響

①世話に費やす時間×やりたいけどできないこと（複数回答）

お世話のためにやりたいけどできないことについては、世話に費やす時間が「ほぼ毎日」の場合、「家で宿題や勉強をする時間がない」（9.1%）「友だちと遊べない」（9.1%）「寝る時間が足りない」（9.1%）「自由に過ごせる時間がない」（27.3%）といった回答をしている児童・生徒が存在する。一方それ以外の児童・生徒については、「特にない」の割合が高い。

	家で宿題や勉強をする時間がない	友だちと遊べない	寝る時間が足りない	自由に過ごせる時間がない	特にない	その他	サンプル数（n）
ほぼ毎日	9.1%	9.1%	9.1%	27.3%	45.5%	0.0%	11
週に3～5日	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	12
週に1～2日	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	3
1か月に2～3日	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	2
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	1

②世話に費やす時間×心身や学校生活への影響（複数回答）

心身や学校生活への影響については、世話に費やす時間が「ほぼ毎日」の場合、「ストレスを感じている」（11.5%）「体がだるい、つかれている」「勉強する時間がない」など心身の不調や時間の不足を選択する割合が高くなっている。逆に、「家族の役にたててうれしい」「お家の人から褒められてうれしい」というポジティブな選択肢は「ほぼ毎日」の児童・生徒は低めの割合となっており、お世話の頻度が高いほど「うれしい」という選択肢の割合は低くなっている。

	家族の役にたててうれしい	お家の人から褒められてうれしい	お世話をしている人から感謝されてうれしい	イライラしてしまう	ストレスを感じている	睡眠がしっかりとれない	体がだるい、つかれている	勉強する時間がない	自分の自由時間がない	余裕がない	進路など、自分のことについて考える	友達と遊べない	まわりの人と話が合わない	学校を休むことがある	その他	特に影響はない	サンプル数（n）
ほぼ毎日	23.1%	11.5%	7.7%	3.8%	11.5%	3.8%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	26	
週に3～5日	33.3%	9.5%	9.5%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	19.0%	21	
週に1～2日	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6	
1か月に2～3日	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3	
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	2	

(4) ヤングケアラーの認知度

①お世話や家事の有無×ヤングケアラーを聞いたことがあるか

ヤングケアラーを聞いたことがあるかどうかについては、お世話や家事を行っている児童・生徒の方が言葉の認知率は低めであった。

	聞いたことがある、 内容も知っている	聞いたことはあるが、 よく知らない	聞いたことがなかった	サンプル数 (n)
している	19.2%	23.1%	57.7%	26
していない	24.1%	27.5%	48.5%	357

3 自由意見

僕はヤングケアラーじゃないけどもし周りの人にいたら助けてあげたいです。
ヤングケアラーという言葉を知って、他にも自分みたいな人や、自分より酷い状況に身を置いている人がいるんだなとアンケートがあることによって実感できて嬉しいと思った。 兄弟がめんどくさくなって家事をしないことにストレスを感じている。家事をしてとお願いしても難癖つけられて断られる。 逆に将来一人暮らしとかになったとき苦労しないというポジティブな考えもある。
学校からアンケートを行い、ヤングケアラーについてもっといろんな人に知ってもらいたい。ヤングケアラーとはあまり聞かない単語なので、自分がヤングケアラーと意識していない人が多いと思うからまずみんなに知ってもらう機会が必要だと思った。支援の一つとして子どもでもかけることができる、チャイルドなんたらとともに介護などお手伝いをお願いできたりする電話番号のカードなどをぜひ学校に配ってほしい。先生と話す、個人懇談の時の紙にヤングケアラーについての枠を設けてほしい。
ヤングケアラーって何ですか？
ヤングケアラーという言葉は聞いたことがなくて、世の中には同じ中学生でもすごく大変な人もいることがわかった。
その子たちに対してボランティアや募金のお金が配達したりとかできたらいいと思います。
学校の教育相談でこのことについて確認するとういと思う
私の周りにヤングケアラーかな？と思う子がいたら積極的に自分が出来ることで助けていきたいです 弟が手伝ってくれない
ヤングケアラーという言葉を知って、知り考える機会があつてよかったです。
ヤングケアラーはアンケート答えられないと思います
自分ではおきていないけどヤングケアラーという人がいることを知り、もっと詳しく知っていけたらなとおもいます
ヤングケアラーって言葉をテレビとか SNS でしか聞いたことがなくて、あまり親近感がなかったけどアンケートがきて前より少し身近に感じました。同じ中学生でも誰かのために家事とかお世話を自分

からじゃなくてもやってる子はすごいなと思いました。
ヤングケアラーのアンケートをして、世の中には家族の代わりに家事をしたり、お世話や介護をしている子がいることを初めて知りました
このようなヤングケアラーの人は自分の趣味をする時間や学校生活にも影響が出てしまうと思うので、とても大変だと思うので少しでも力になることがあればいいなと思いました
家族などの事情は無理に他人である私達が足を踏み入れてはいけないので難しいなと思いました
ヤングケアラーの病気になっている人は、かわいそうだなあと思いました
みんな自分のやりたいことができるようになってほしい
自分もいざという時にできるかもと思った。
このような家庭の問題を抱えている子の為のアンケートがあつてとても助かると思う
大変なことをして困っている子を助けてあげてほしいと思いました
いつも笑顔で仲良くしている友達に最近笑顔があまり見られません。その子は兄弟が多くいつも面倒を見えています。その子の笑顔を少しでも取り戻すために支援などしてほしいなと思います。

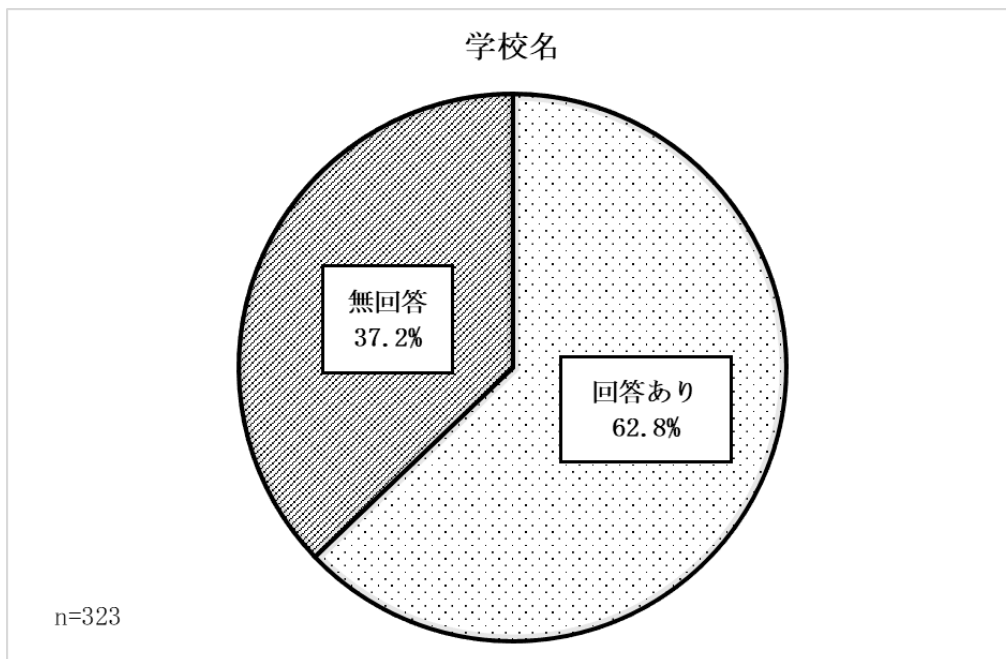
第4章

高校生の生活実態に関するアンケート調査結果

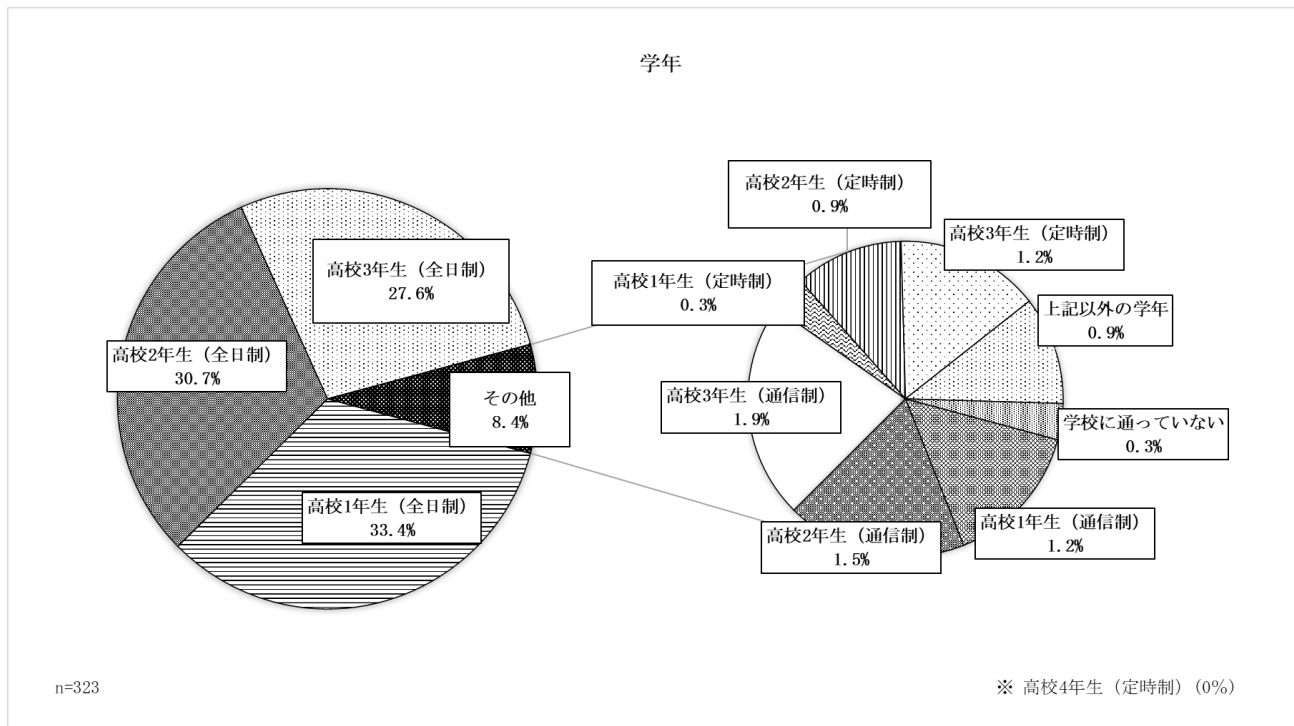
1 高校生の生活実態に関するアンケート調査結果（単純集計）

(1) 対象者の属性

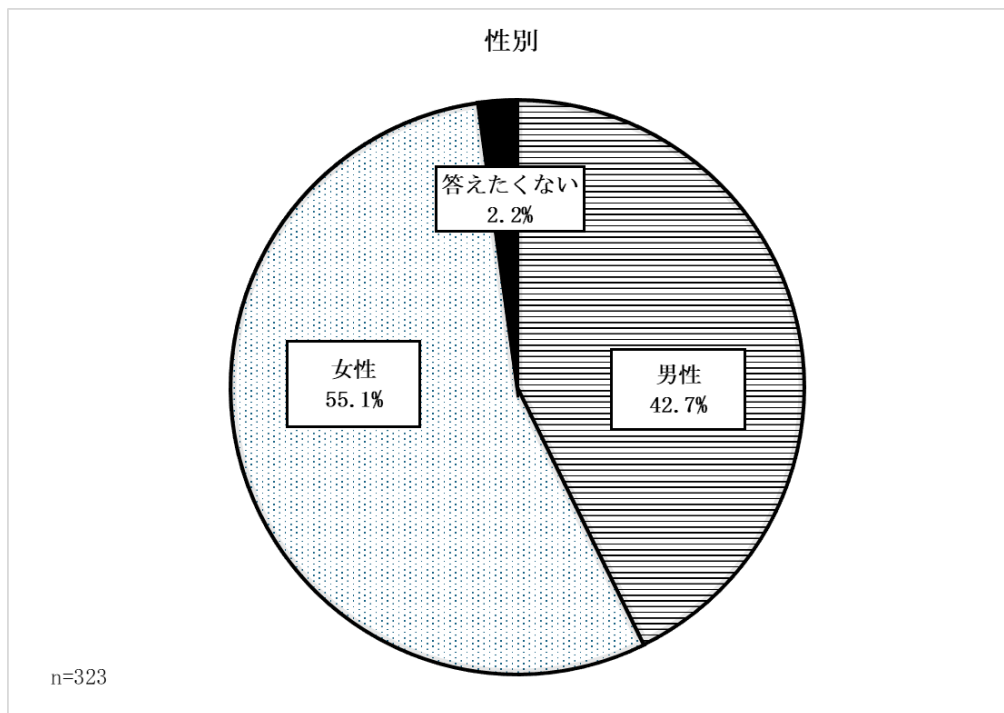
①通っている学校名を教えてください。



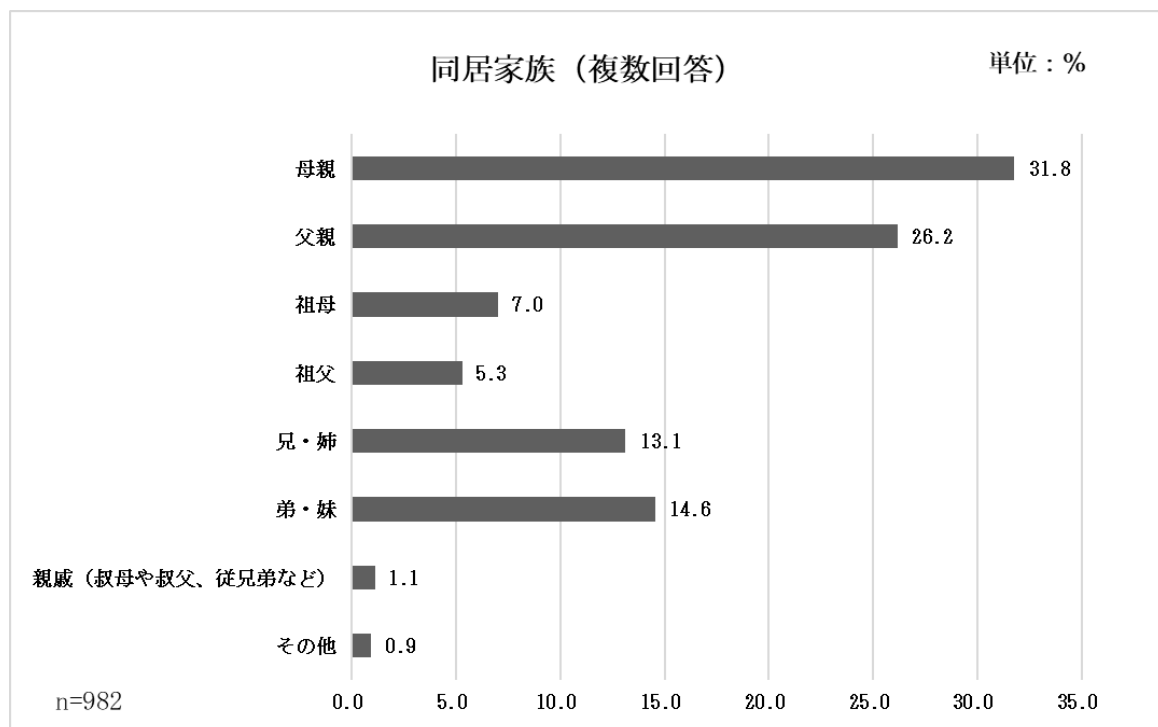
②あなたの学年を教えてください。



③あなたの性別を教えてください。



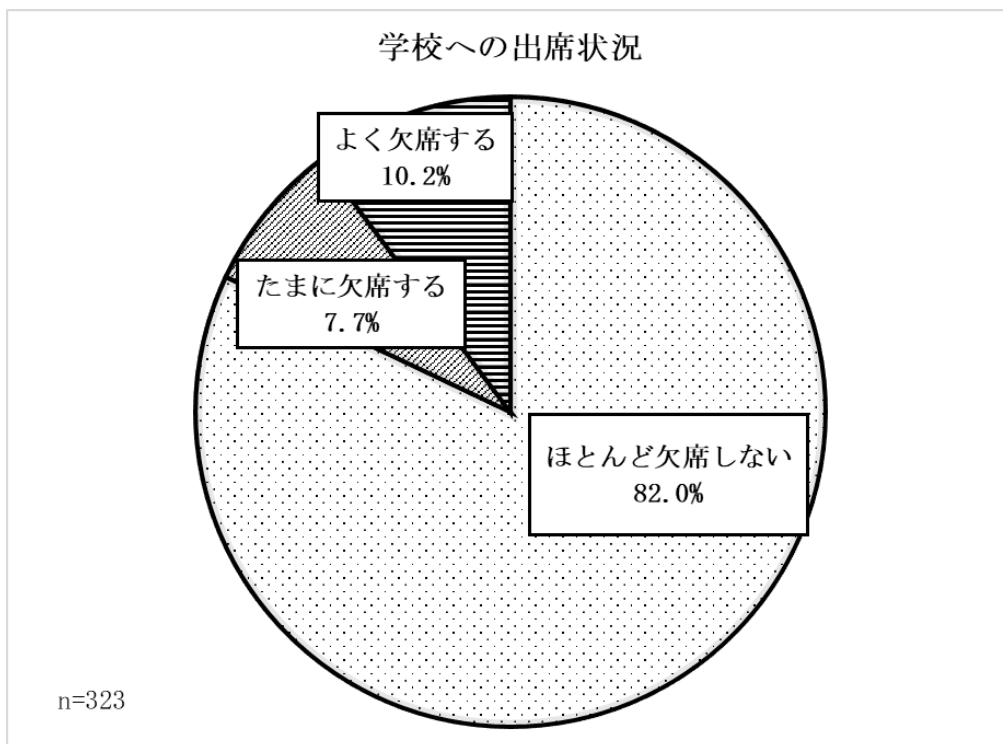
④いま、一緒に住んでいる家族について教えてください。（複数選択可）



(2) 普段の学校生活について

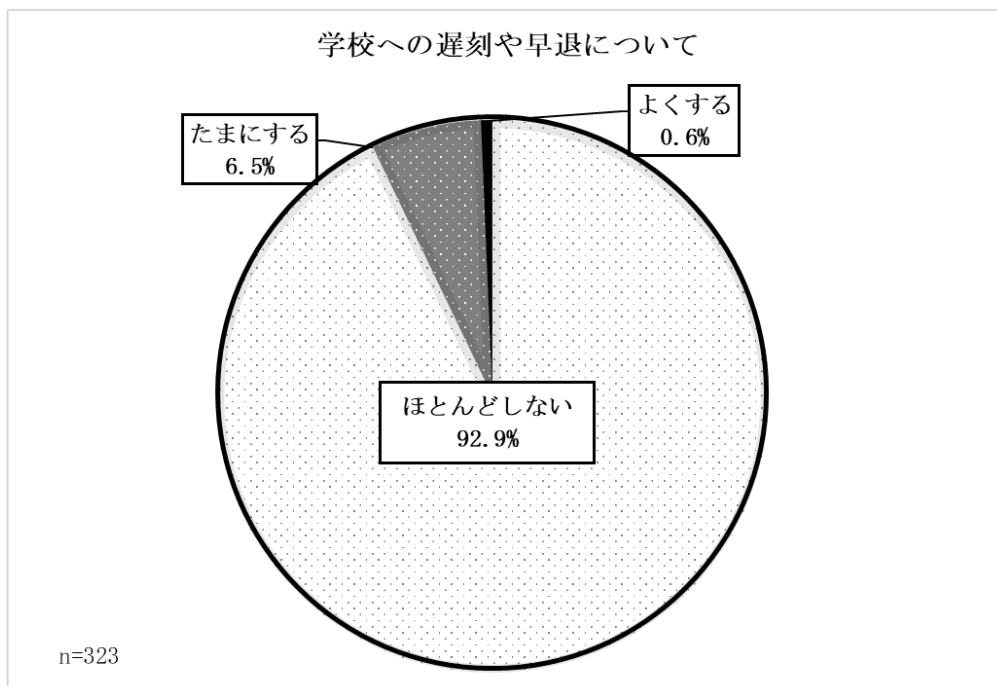
⑤学校への出席状況について教えてください。

学校への出席状況については「ほとんど欠席しない」(82.0%)が最も高くなっている。



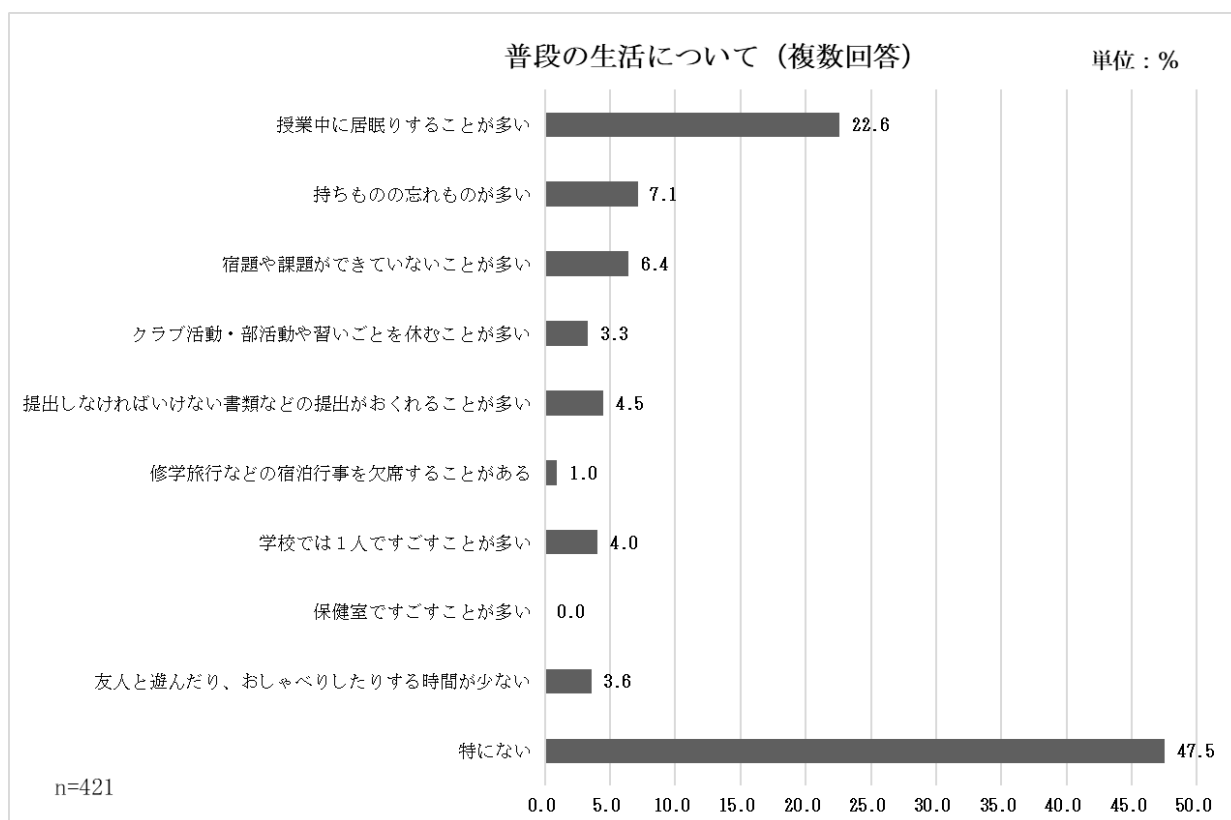
⑥学校への遅刻や早退の状況について教えてください。

遅刻や早退の状況については、「ほとんどしない」(92.9%)が最も高くなっている。



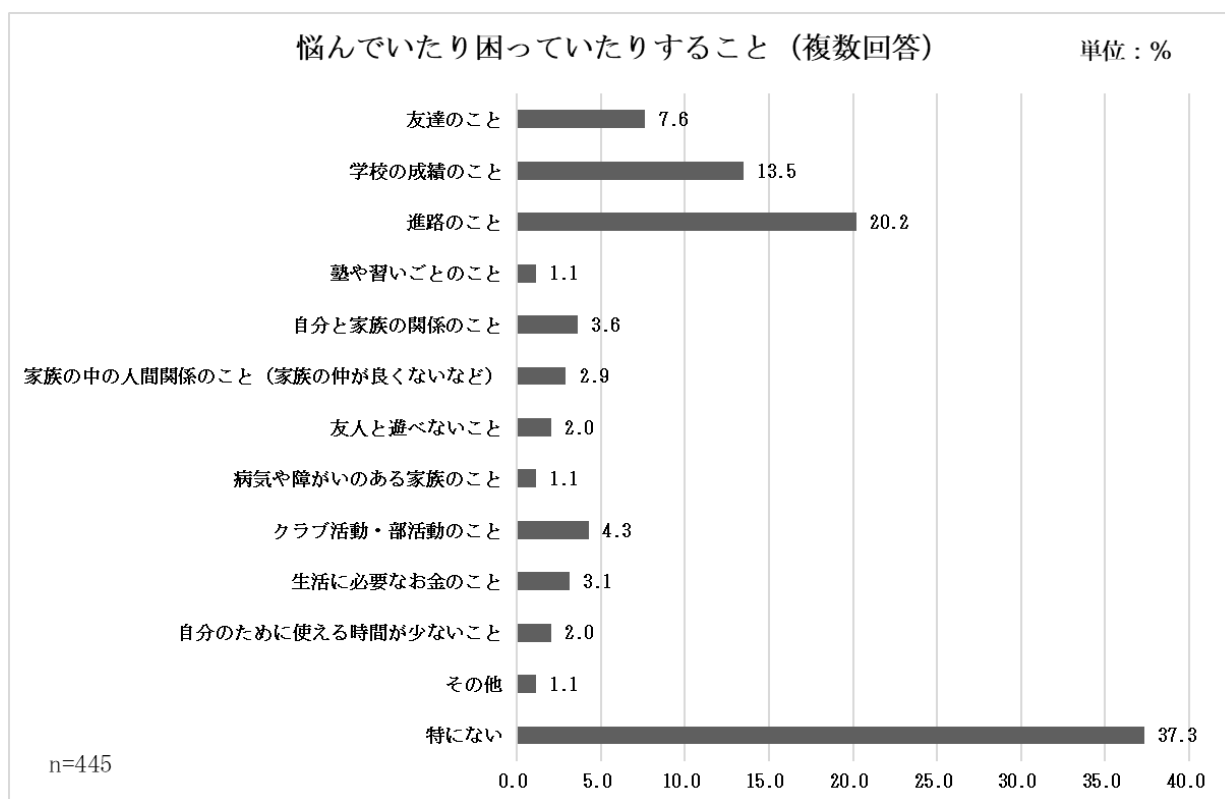
⑦ふだんの学校生活において、あてはまるものはありますか。(複数選択可)

ふだんの生活については、「特にない」(47.5%)が最も高くなっている。次いで「授業中に居眠りすることが多い」(22.6%)となっている。



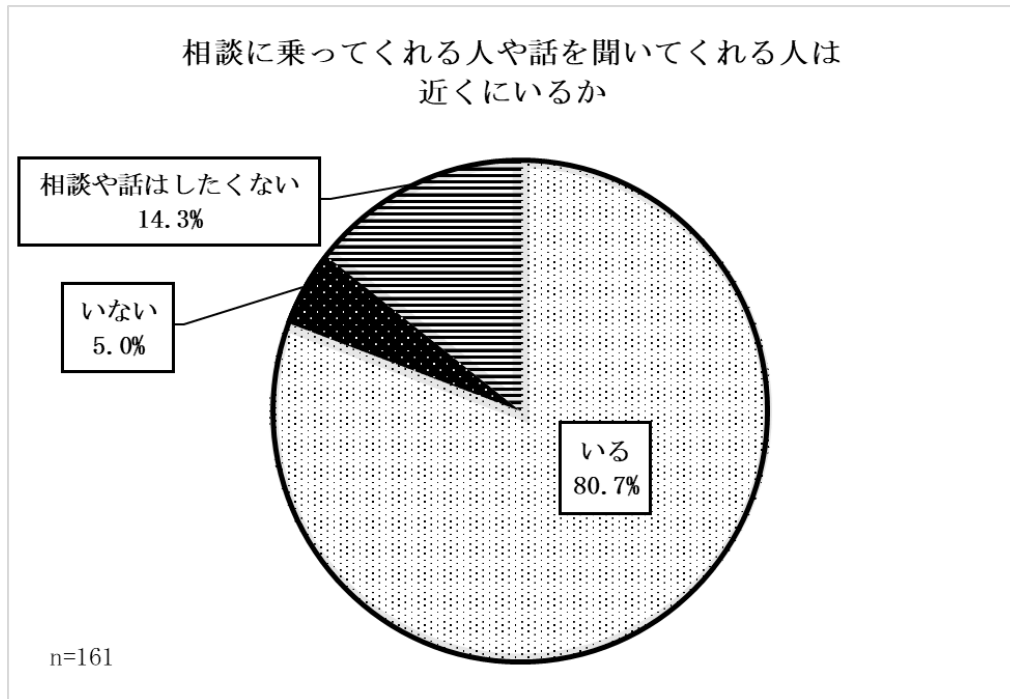
⑧いま、悩んでいたたり、困っていたりすることはありますか。（複数選択可）

今の悩みや困りごとについては、「特にない」(37.3%)が最も高くなっている。次いで「進路のこと」(20.2%)、「学校の成績のこと」(13.5%)となっている。



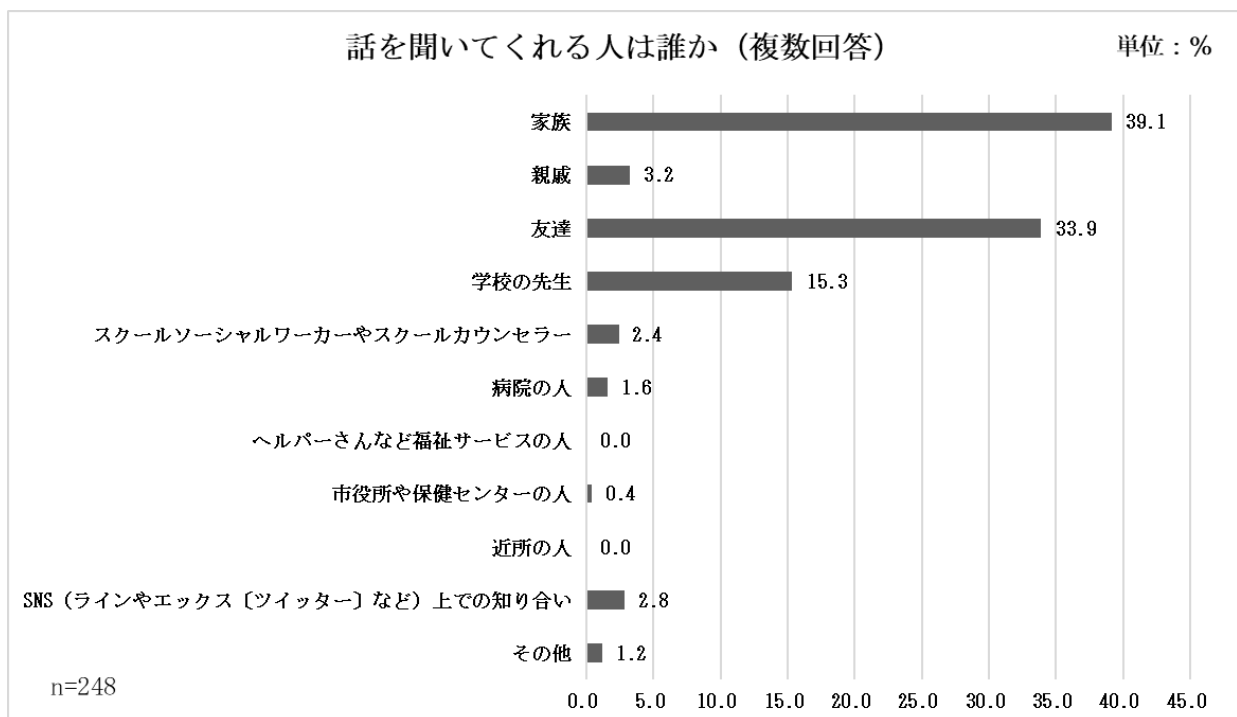
⑨上記で回答した悩みについて、相談にのってくれたり、話を聞いてくれたりする人は近くにいますか。

相談にのってくれる人の有無については「いる」(80.7%)、「いない」(5.0%)、「相談や話しはしたくない」(14.3%)となっている。



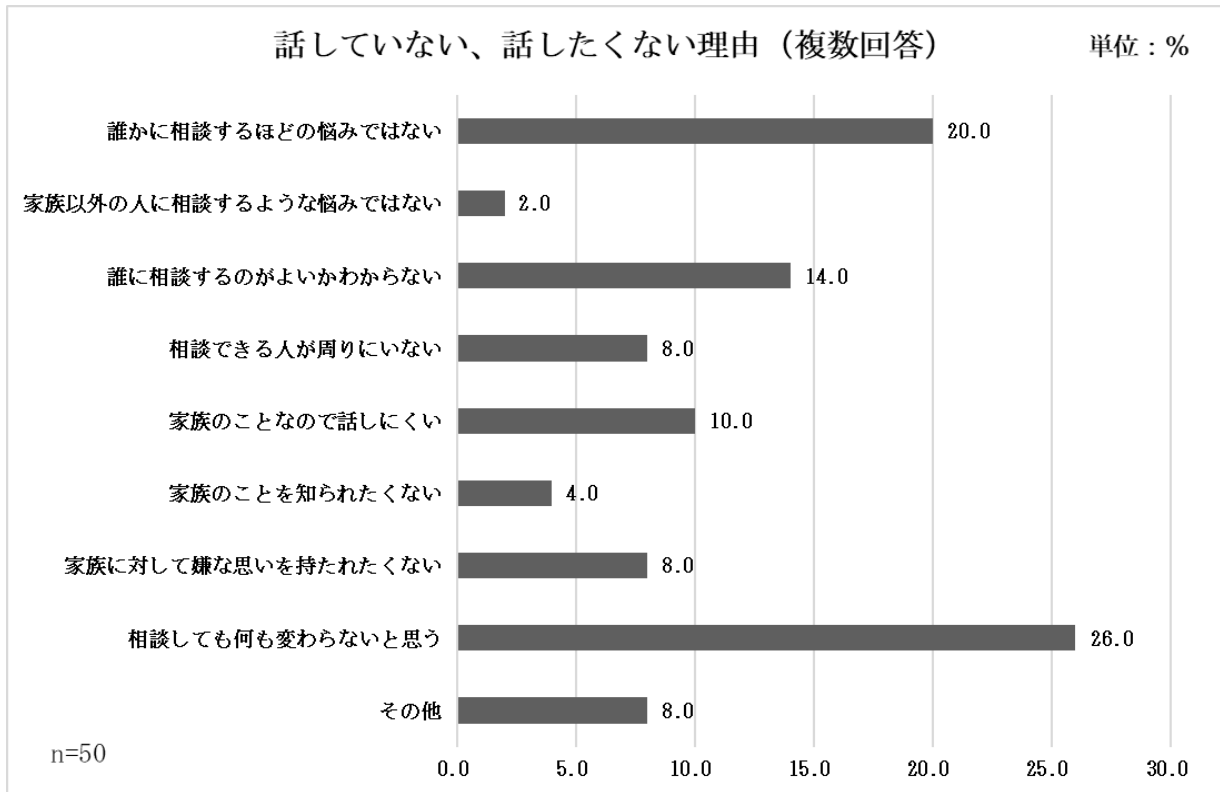
⑩それは誰ですか。(複数選択可)

話を聞いてくれる人については、「家族」(39.1%)が最も多く、次いで「友達」(33.9%)、「学校の先生」(15.3%)となっている。



⑪話していない、話したくない理由は何ですか。（複数選択可）

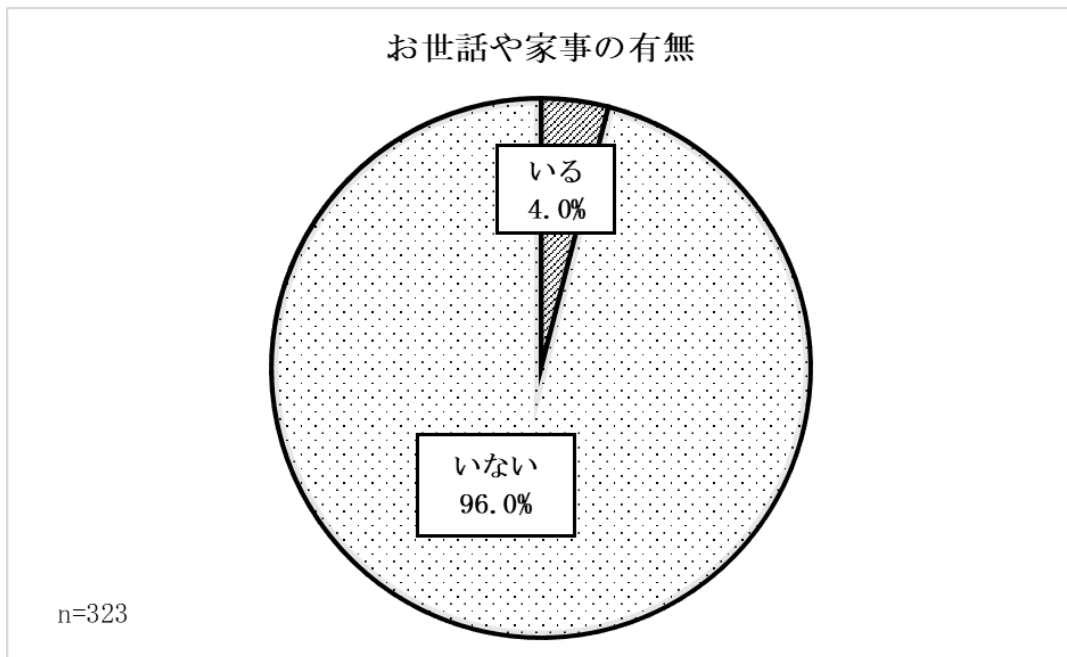
話していない、話したくない理由については、「相談しても何も変わらないと思う」（26.0%）が最も高くなっている。次いで「誰かに相談するほどの悩みではない」（20.0%）、「誰に相談するのがよいかわからない」（14.0%）となっている。



(3) 家族や家庭状況について

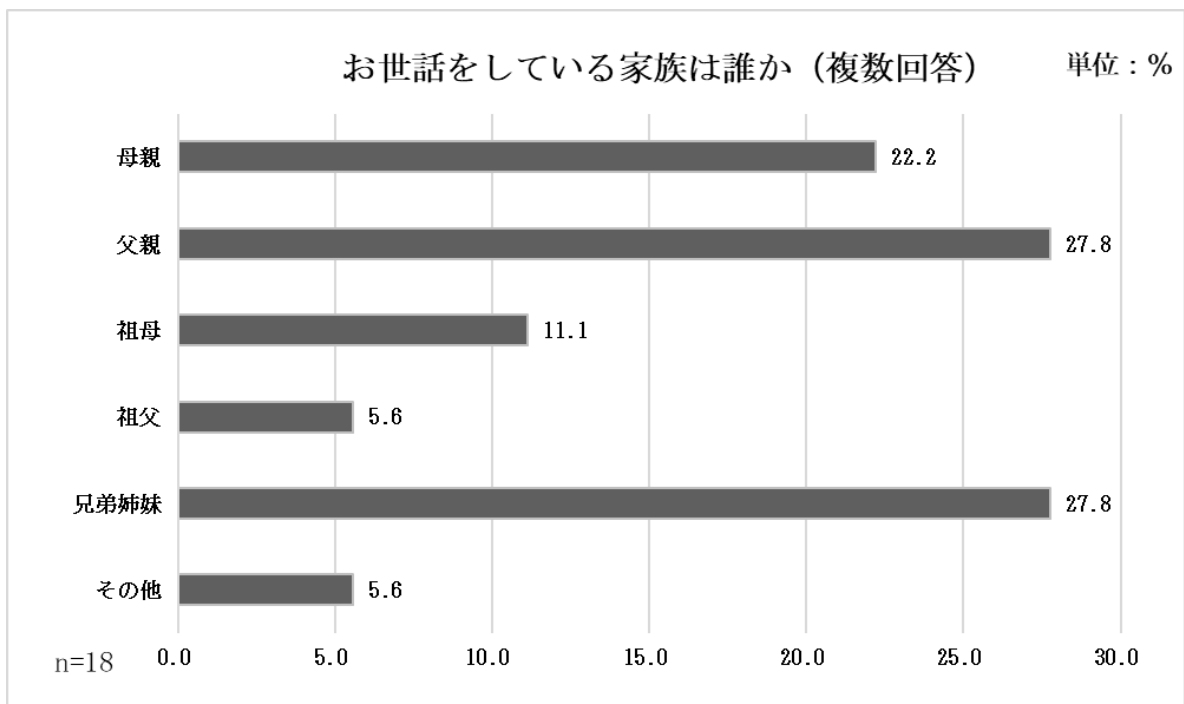
⑫あなたは家で家族の誰かのためにお世話や家事をしていますか。

お世話や家事の有無については、「いる」（4.0%）、「いない」（96.0%）となっている。



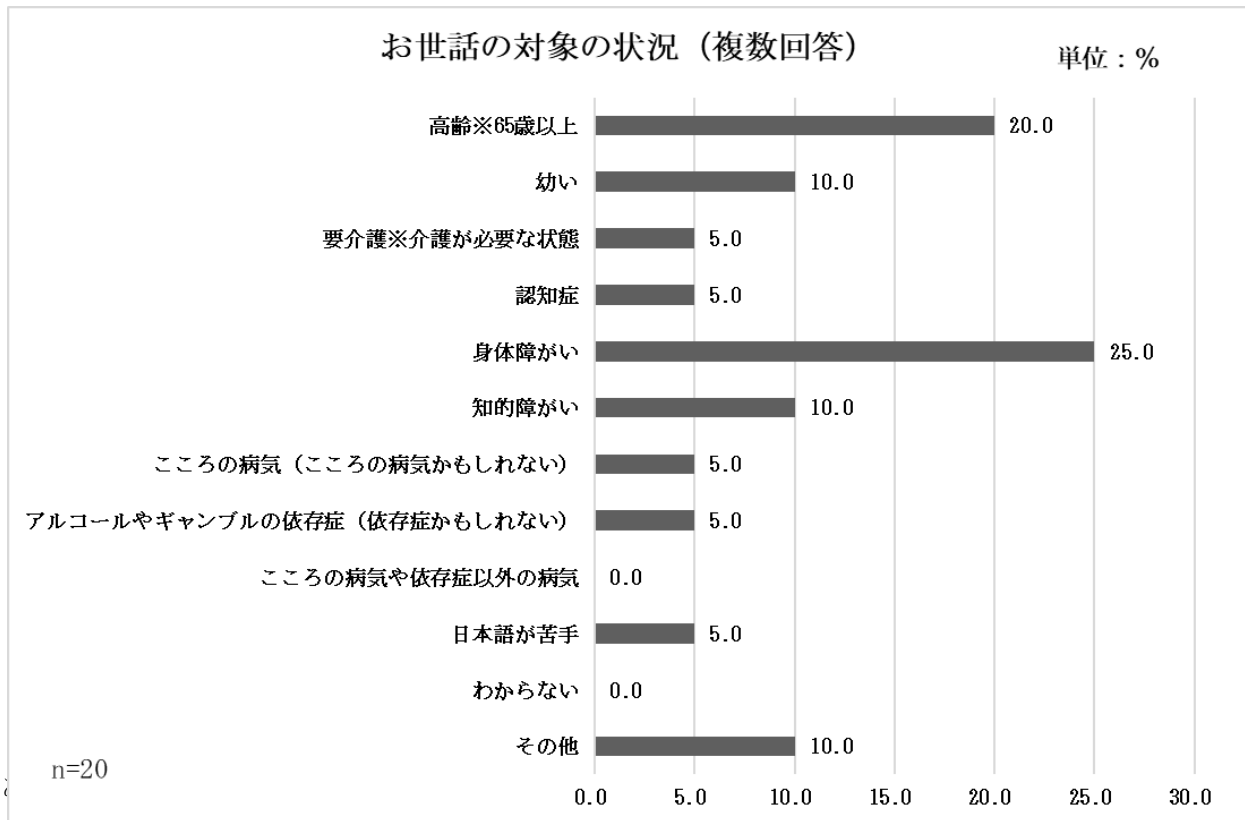
⑬お世話をしている家族は誰ですか。（複数選択可）

お世話をしている家族については、「兄弟姉妹」「父親」が同率(27.8%)で最も高くなっており、次いで「母親」(22.2%)となっている。



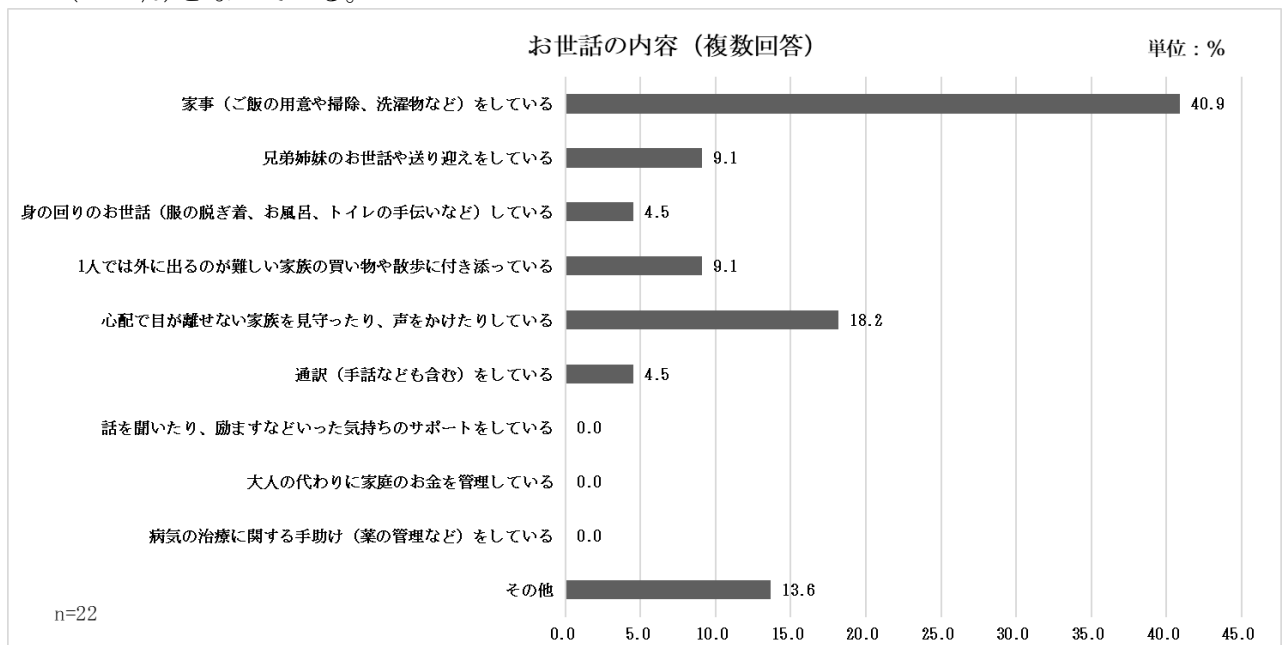
⑭お世話を必要としている人の状況を教えてください。（複数選択可）

お世話の対象の状況については、「身体障がい」(25.0%)が最も高くなっている。次いで「高齢※65歳以上」(20.0%)が高く、「若い」「知的障がい」「その他」が同率(10.0%)となっている。

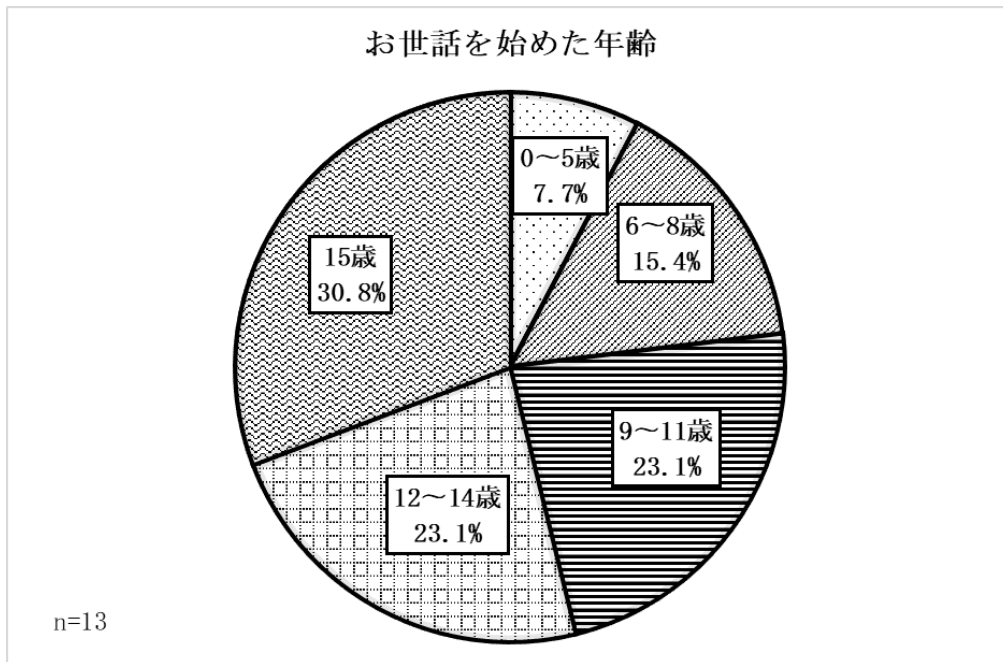


⑮あなたが行っているお世話の内容を教えてください。

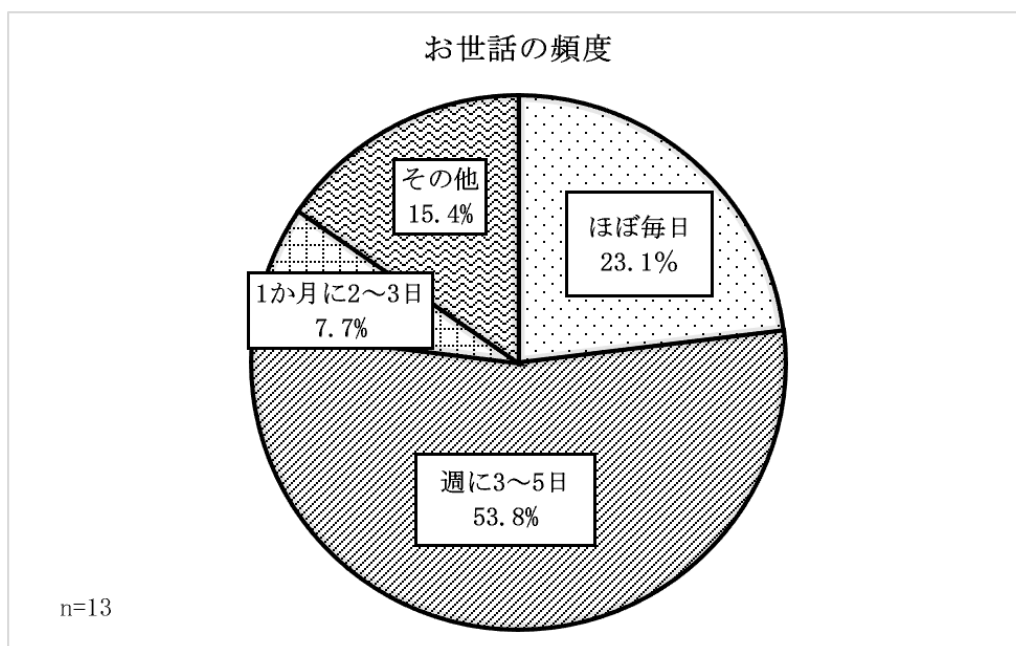
お世話の内容については、「家事（ご飯の用意や掃除、洗濯物など）をしている」(40.9%)が最も高くなっている。次いで「心配で目が離せない家族を見守ったり、声をかけたりしている」(18.2%)となっている。



- ⑩お世話はいつから行っていますか。だいたいどの年齢で構いません
お世話を始めた年齢については、「15歳」（30.8%）が最も多く、次いで「9～11歳」「12～14歳」が同率（23.1%）となっている。

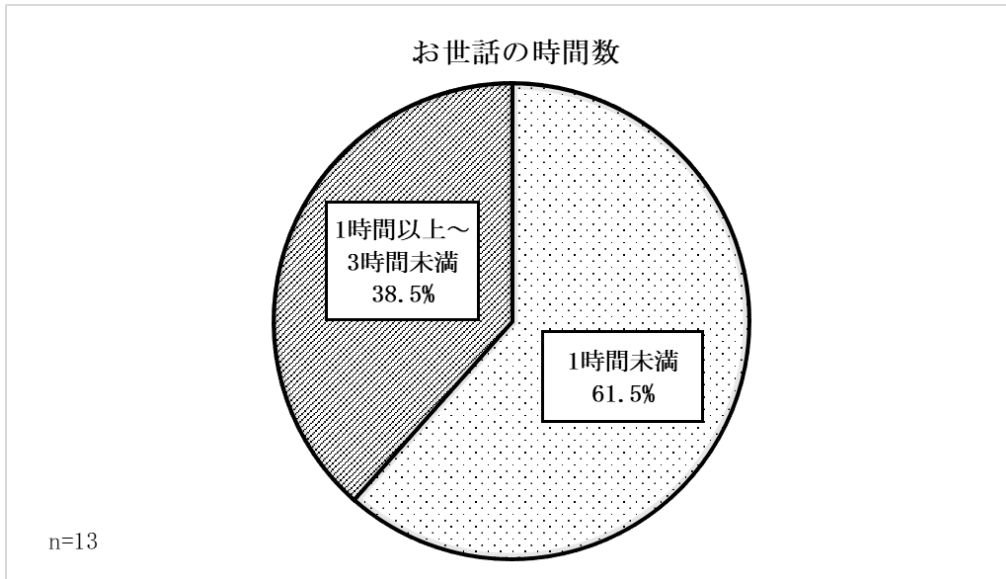


- ⑪お世話をしている頻度を教えてください。
お世話の頻度については、「週に3～5日」（53.8%）が最も多く、次いで「ほぼ毎日」（23.1%）となっている。



⑱お世話はどのくらい行っていますか。時間数を教えてください。

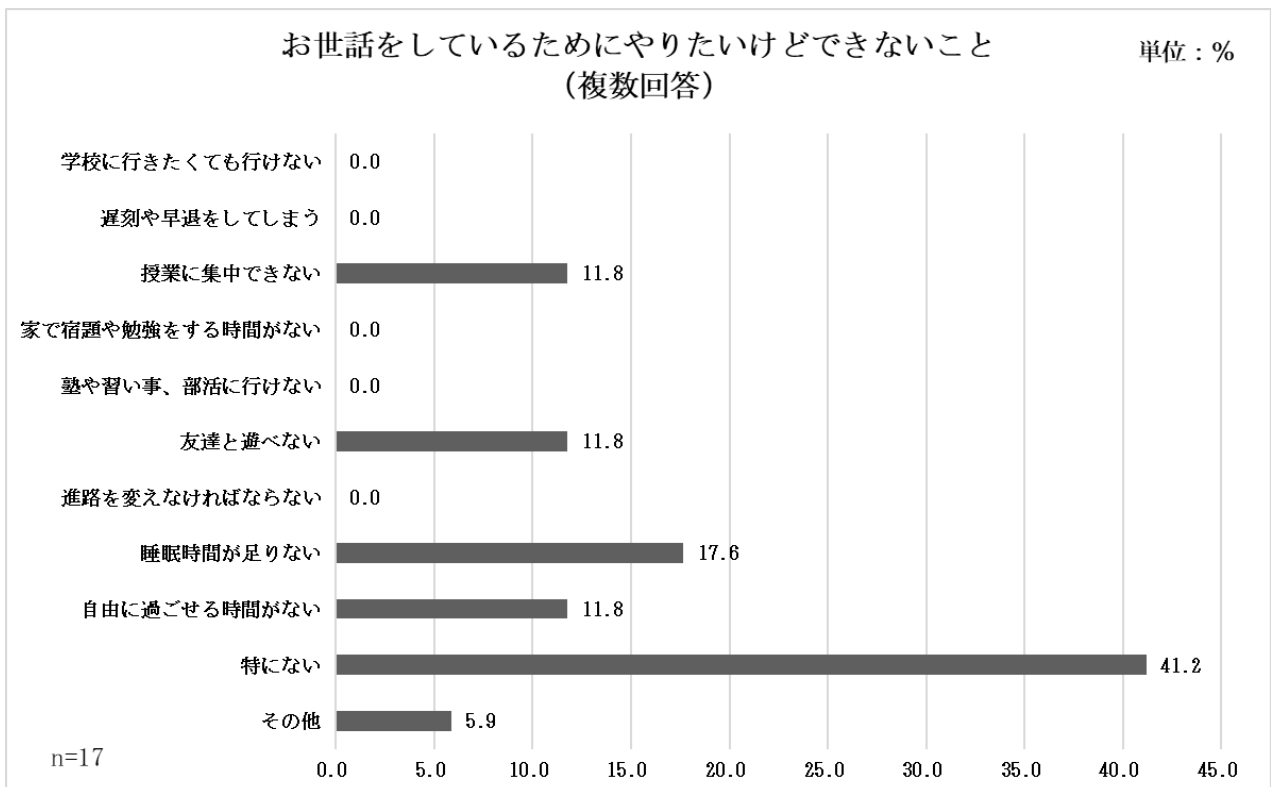
お世話の時間数は、「1時間未満」(61.5%)が最も多く、次いで「1時間以上～3時間未満」(38.5%)となっている。



⑲家族のお世話や家事をすることで、やりたいけどできないことはありますか。

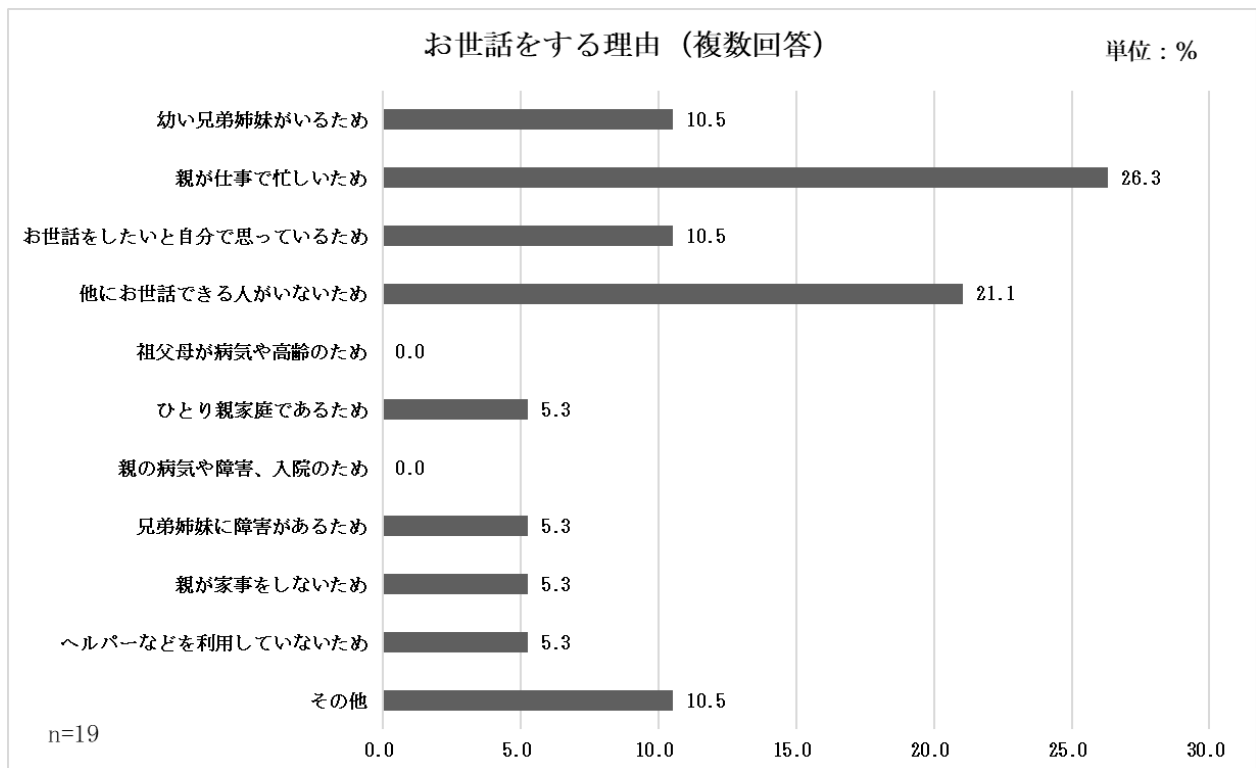
(複数回答可)

お世話をしているためにやりたいけどできないことは、「特にない」(41.2%)が最も多く、次いで「睡眠時間が足りない」(17.6%)となっている。また、「授業に集中できない」「友達と遊べない」「自由に過ごせる時間がない」も同率(11.8%)の割合となっている。



⑳あなたがお世話をする理由はなんですか。（複数回答可）

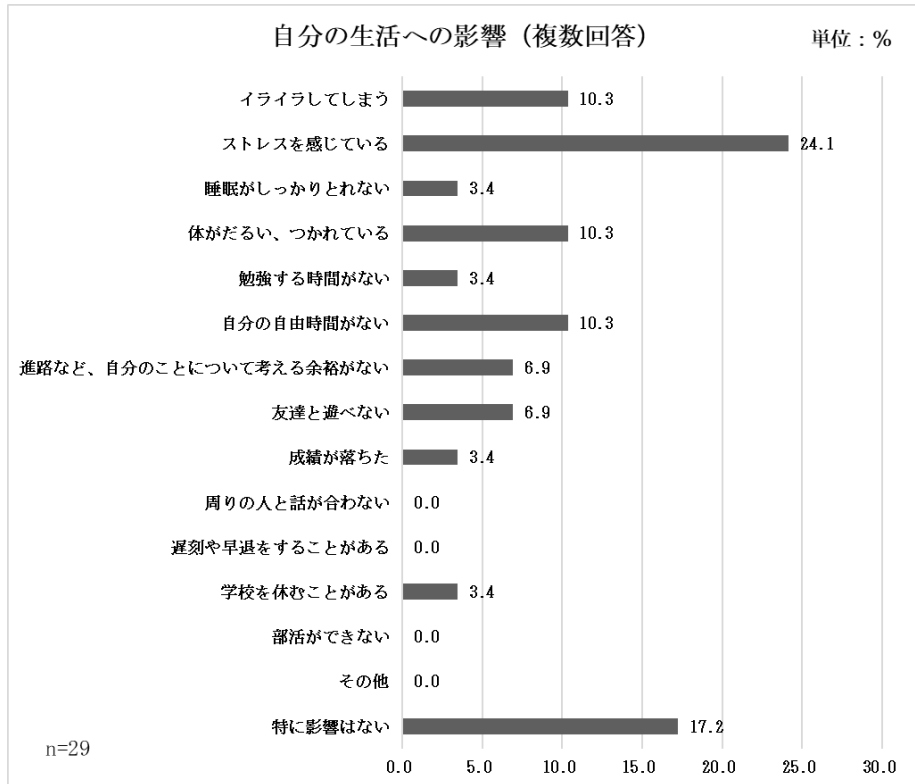
お世話をする理由は、「親が仕事で忙しいため」（26.3%）が最も多く、次いで「他にお世話できる人がいないため」（21.1%）でとなっている。また、「若い兄弟がいるため」「お世話をしたいと自分で思っているため」が同率（10.5%）となっている。



②お世話をしている結果、自分の生活にどんな影響がでているとおもいますか。

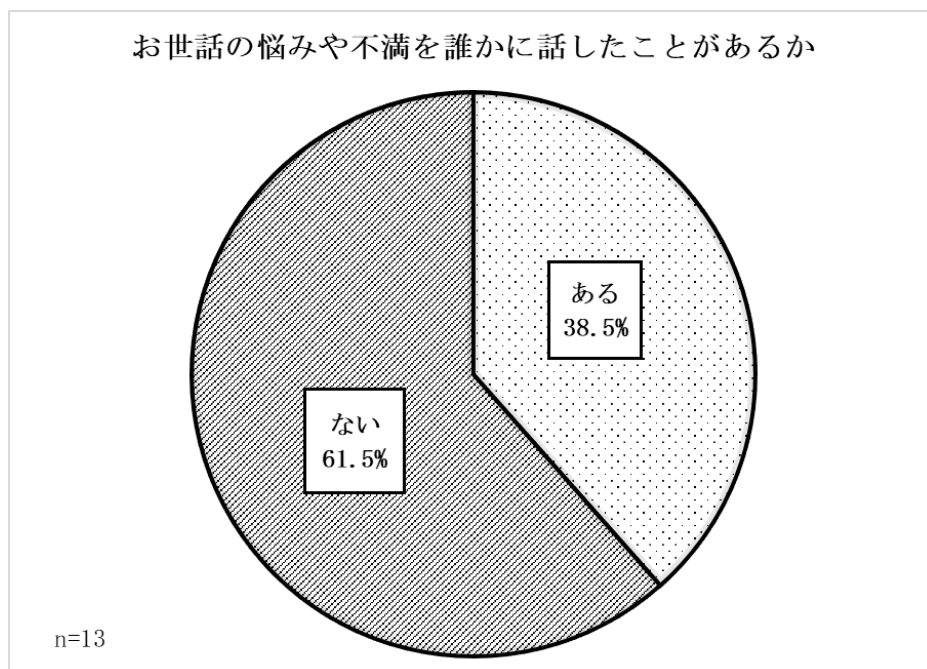
(複数回答可)

自分の生活への影響は、「ストレスを感じている」(24.1%)が最も高く、次いで「特に影響はない」(17.2%)となっている。



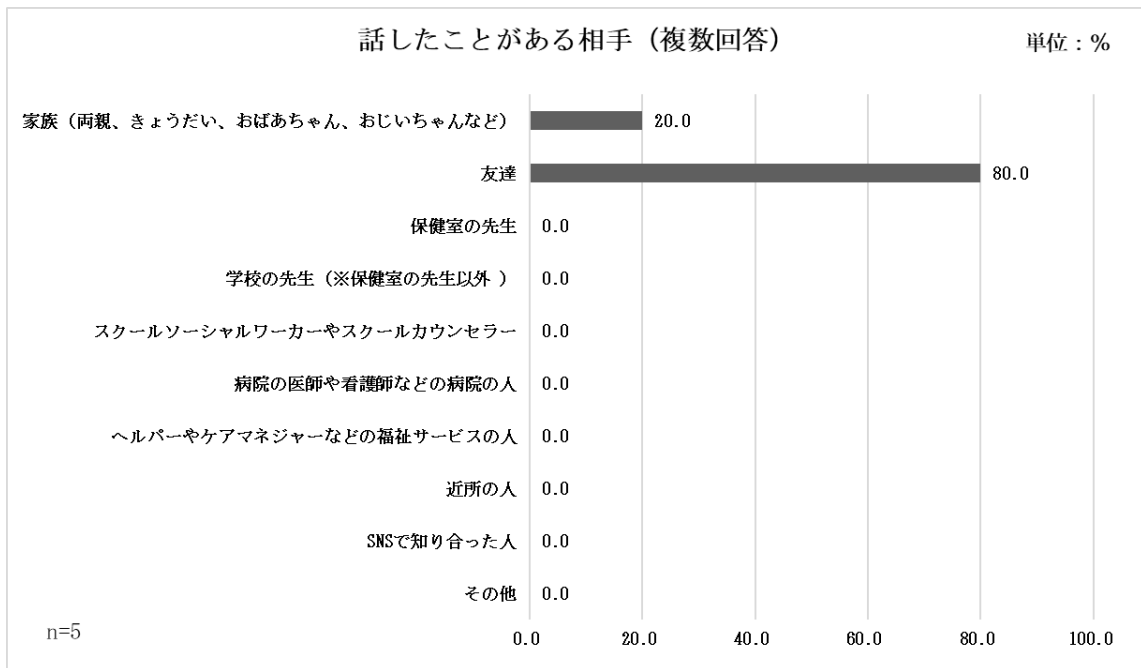
②お世話の悩みや不満を誰かに話したことはありますか。

お世話の悩みや不満を誰かに話したことは、「ある」(38.5%)「ない」(61.5%)となっている。



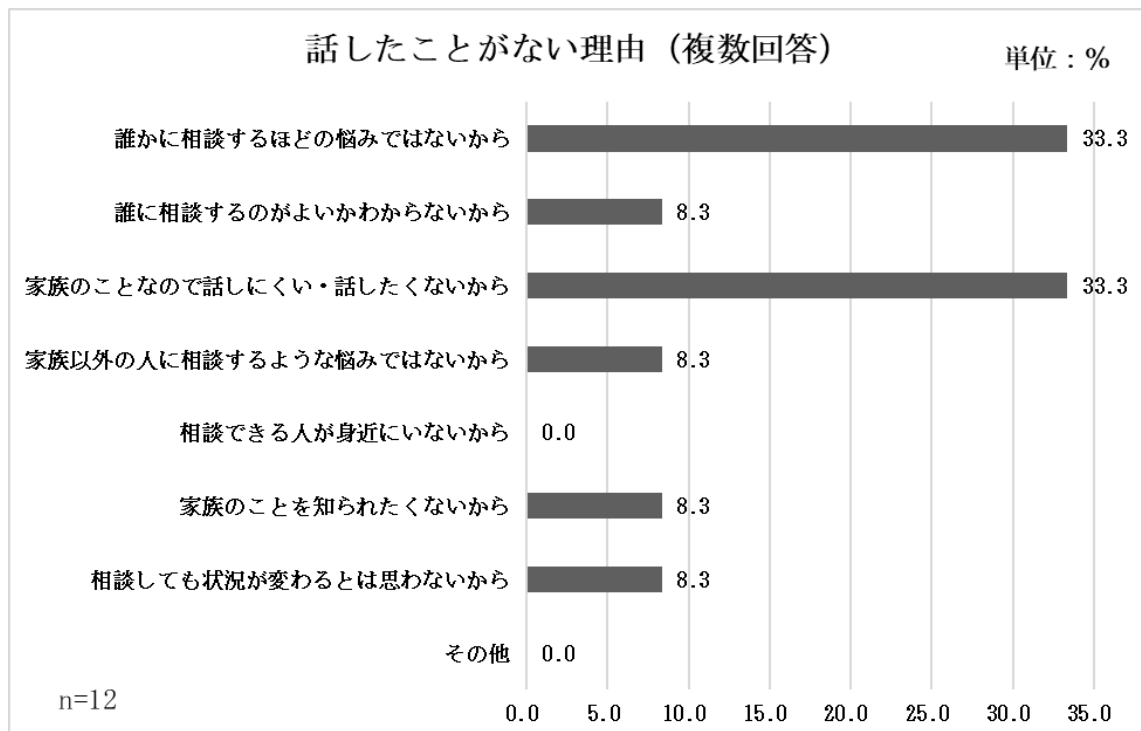
⑳話したことがある人は誰ですか。（複数回答可）。

話したことがある相手は、「友達」（80%）が最も多く、次いで「家族（両親、きょうだい、おばあちゃん、おじいちゃんなど）」（20%）となっている。

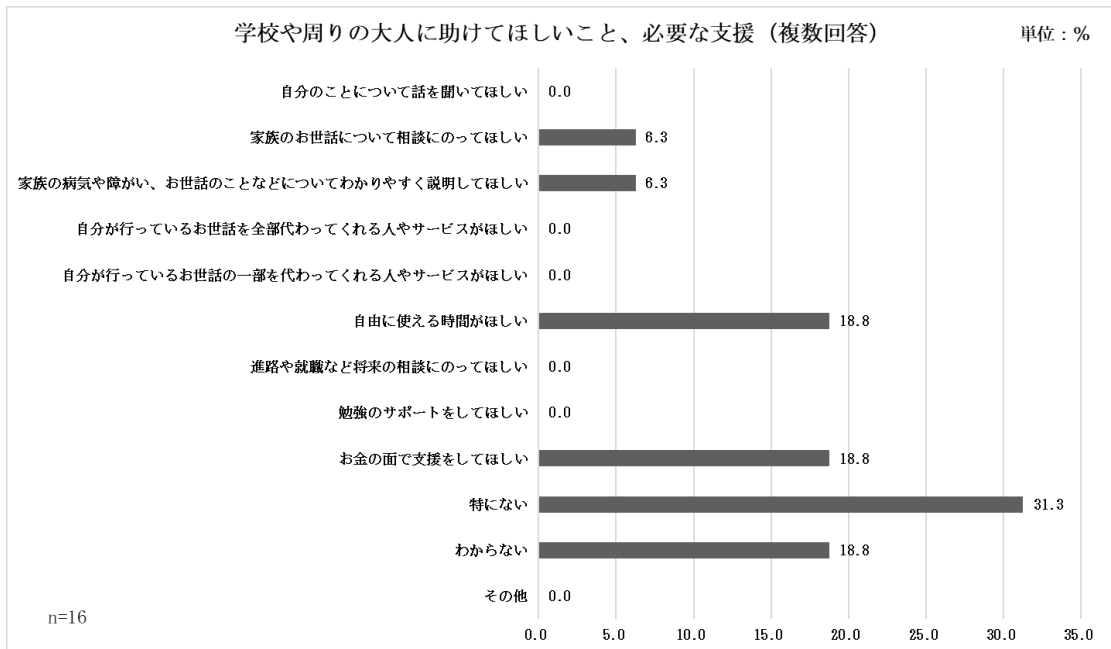


㉑話したことがない理由を教えてください。（複数回答可）

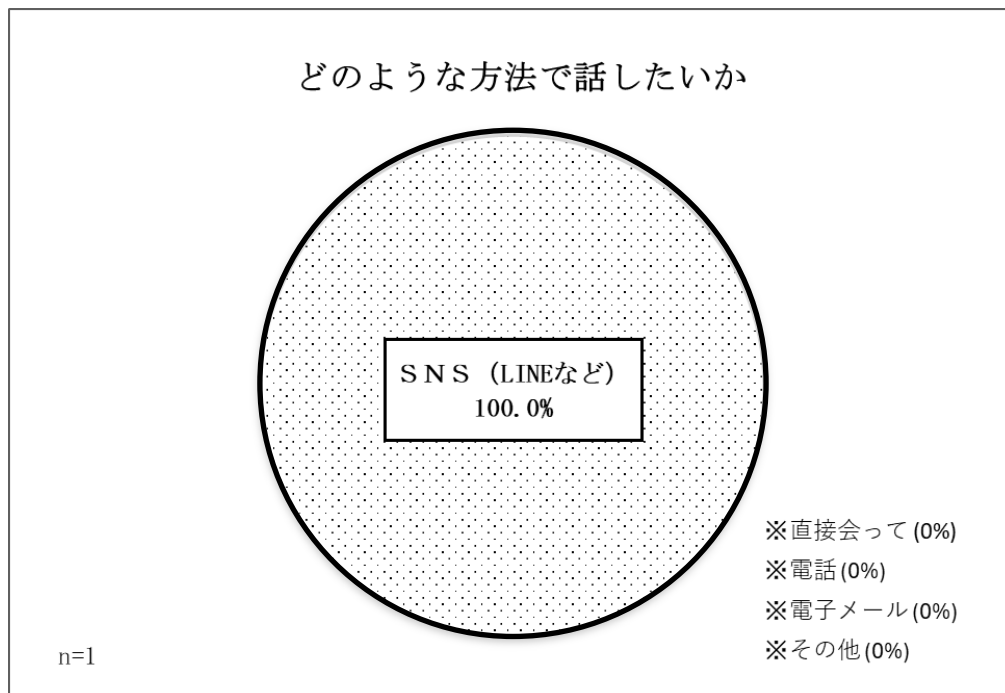
話したことがない理由は、「誰かに相談するほどの悩みではないから」と「家族のことなので話しにくい・話したくないから」が同率（33.3%）で最も多い。



②⑤学校や周りの大人に助けてほしいこと、必要としている支援はありますか。（複数回答可）
 学校や周りの大人に助けてほしいこと、必要な支援は、「特にない」（31.3%）が最も高く、
 次いで「自由に使える時間が欲しい」「お金の面で支援をしてほしい」「わからない」が同率
 （18.8%）となっている。

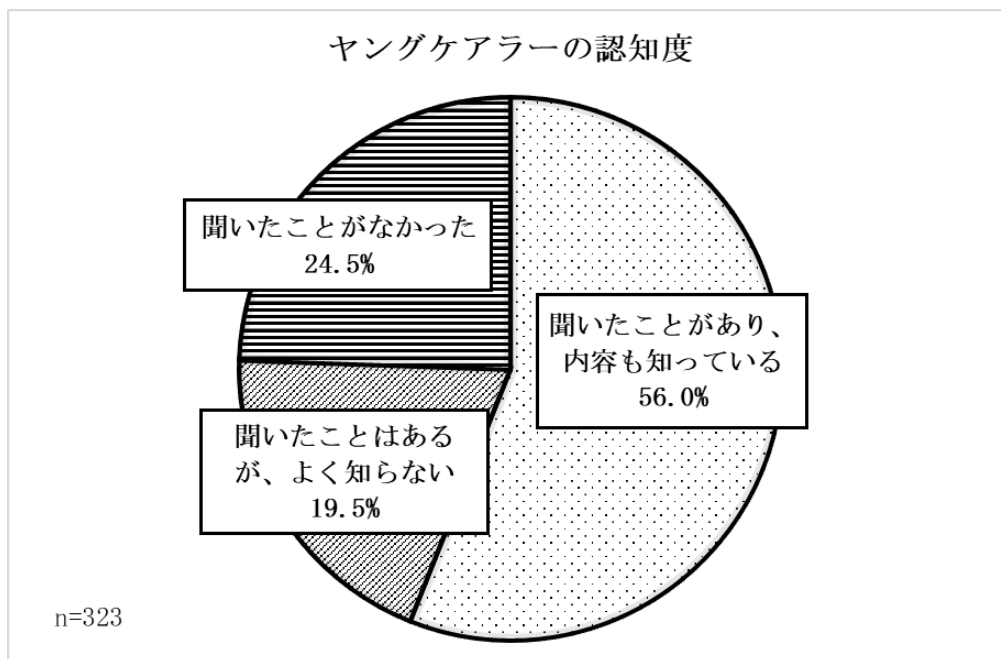


②⑥上記で「自分のことについて話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談のってほしい」と回答した方にお聞きします。どのような方法で話したいですか。（複数回答可）
 どのような方法で話したいかは、「SNS (LINE など）」となっている。ただし、本設問はサンプル
 数が1であることに注意されたい。

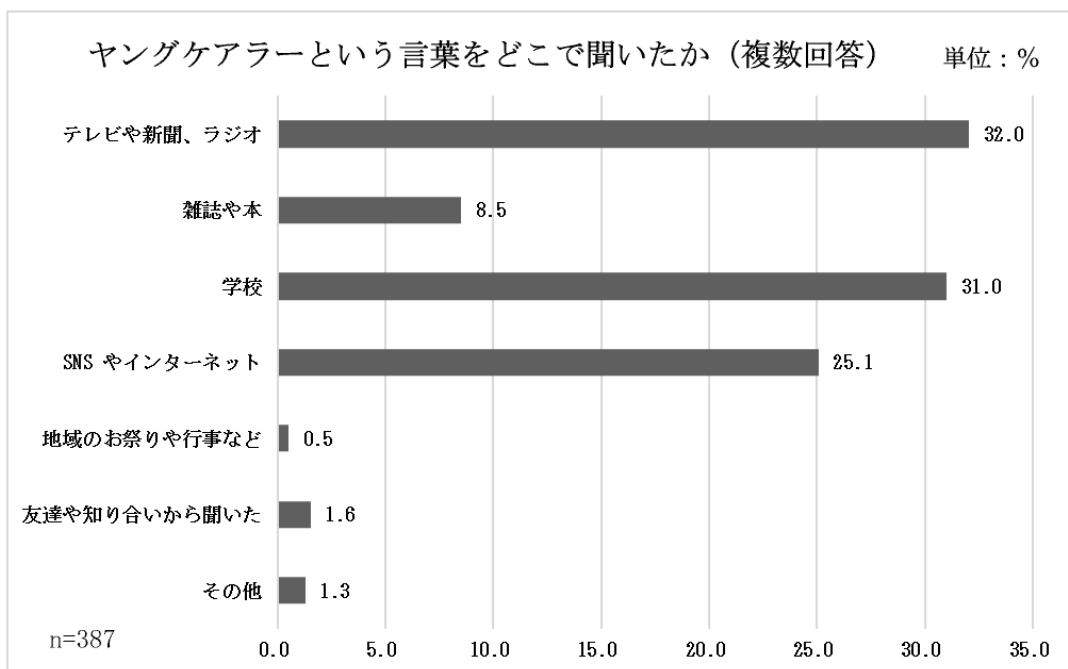


(4) ヤングケアラーについて

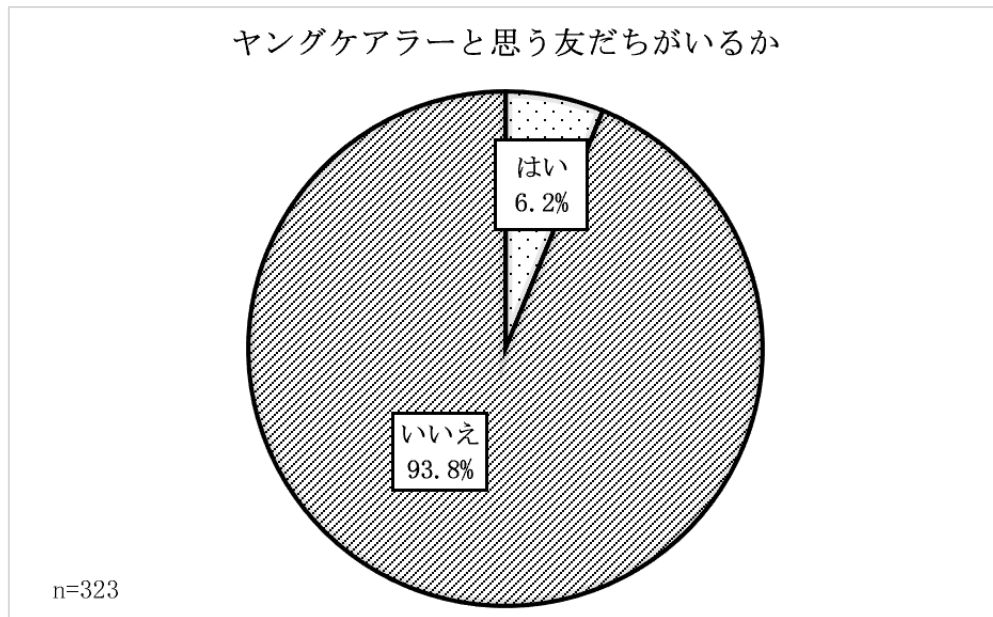
- ⑳ 今まで、ヤングケアラーという言葉を知ったことがありますか。
 ヤングケアラーの認知度は、「聞いたことがあり、内容も知っている」(56.0%)が最も多く、次いで「聞いたことがなかった」(24.5%)となっている。



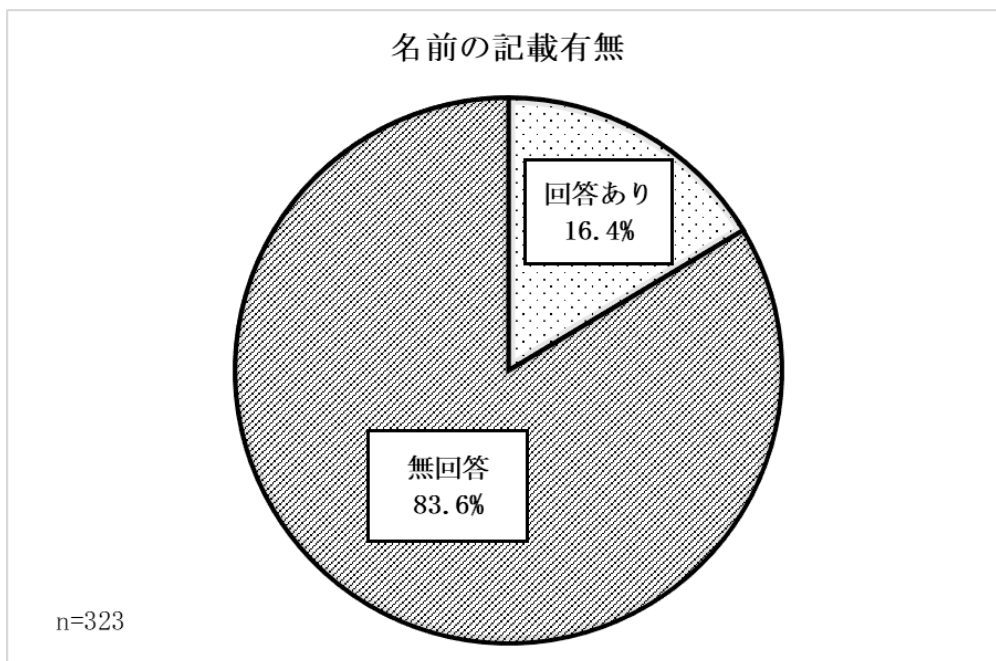
- ㉑ ヤングケアラーという言葉を知った場所はどこですか。(複数回答可)
 ヤングケアラーという言葉を知った場所については、「テレビや新聞、ラジオ」(32.0%)が最も高く、次いで「学校」(31.0%)、「SNS やインターネット」(25.1%)となっている。



- ⑳あなたのお友だちで「もしかしたらヤングケアラーかな？」とおもうお友だちはいますか。
友達にヤングケアラーがいるかは、「はい」(6.2%)、「いいえ」(93.8%)となっている。

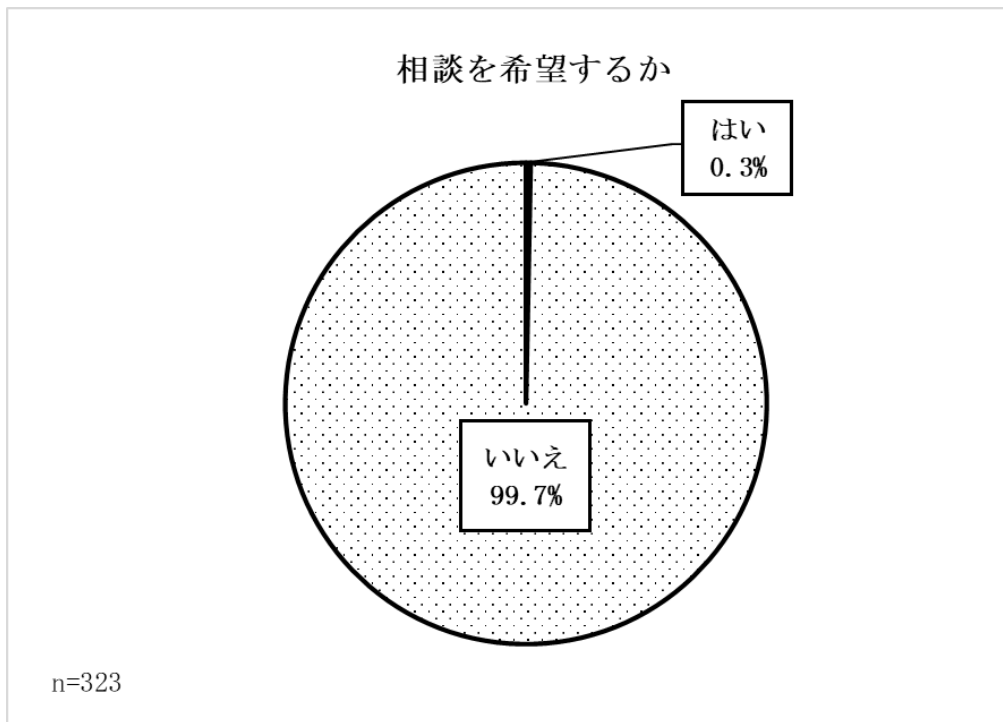


- ㉑あなたのお名前を教えてください
名前の回答については、「回答あり」(16.4%)、「無回答」(83.6%)となっている。



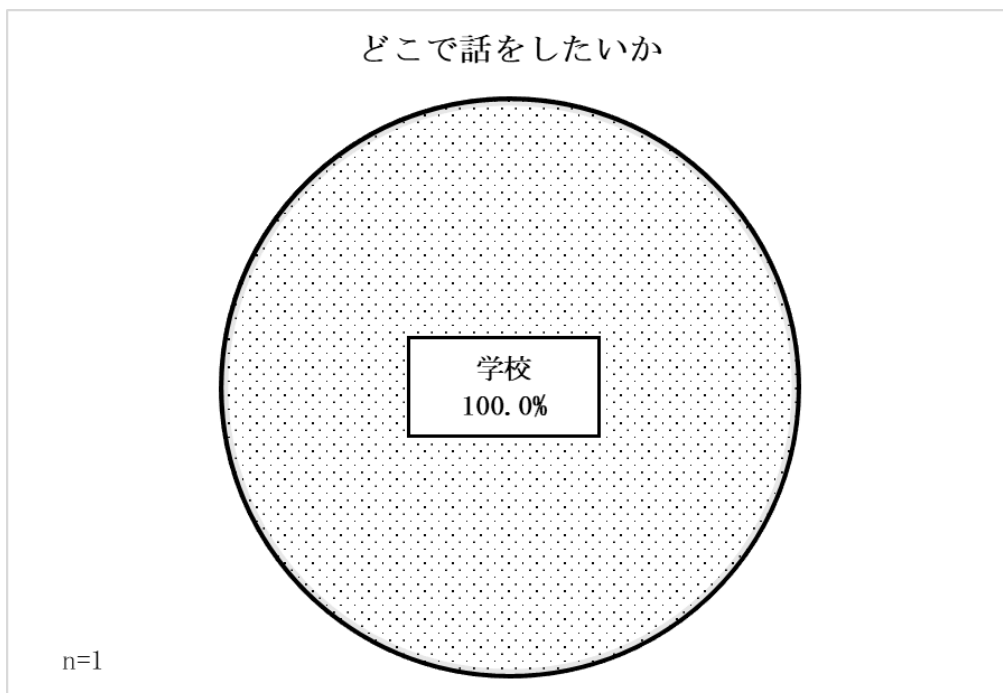
⑪回答の内容について、希望する人は相談員の人に家族のことや自分のことを相談することができます。相談することを希望しますか？

相談を希望するかどうかについては、「はい」(0.3%)、「いいえ」(99.7%)となっている。



⑫”はい”と答えた方にお聞きます。このアンケートの後、相談員があなたが回答してくれた内容を確認します。その後、相談の声かけをさせてもらうのでお話をきかせてもらえると嬉しいです。どこでお話をしたいですか？

どこで話をしたいかは、「学校」(100%)となっている。ただし、本設問はサンプル数が1であることに注意されたい。



2 高校生の生活実態に関するアンケート調査結果（クロス集計）

(1) 被介護者の属性

① 被介護者の続柄×お世話をしている人の状況（複数回答）

お世話をしている人の状況については、被介護者の続柄が「母親」「父親」の場合、「身体障がい」の割合が高くなっており、特に「父親」については「身体障がい」が40%となっている。「祖母」「祖父」の場合は「高齢」の割合が最も高い。「兄弟姉妹」の場合においても、「幼い」だけでなく「身体障がい」「知的障がい」「こころの病気」が一定数存在している。

	高齢※65歳以上	幼い	要介護※介護が必要な状態	認知症	身体障がい	知的障がい	こころの病気 (こころの病気かもしれない)	アルコールやギャンブルの依存症 (依存症かもしれない)	日本語が苦手	その他	サンプル数(n)
母親	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	9
父親	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	40.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10
祖母	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3
祖父	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
兄弟姉妹	20.0%	20.0%	0.0%	10.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	1

(2) 性別によるケア状況の違い

① 性別×世話をしている家族の有無

お世話や家事しているかどうかについては、「女性」の割合がやや高くなっている。

	いる	いない	サンプル数(n)
男性	2.9%	97.1%	138
女性	5.1%	94.9%	178
答えたくない	0.0%	100.0%	7

②性別×お世話の頻度

世話をしている頻度について、「ほぼ毎日」と回答した割合は「女性」のみであり、男性はすべて「週に3～5回」となっている。

	ほぼ毎日	週に3～5日	1か月に2～3日	サンプル数（n）
男性	0.0%	100.0%	0.0%	3
女性	37.5%	50.0%	12.5%	8

③性別×お世話に費やす時間

お世話に費やす時間については、「女性」は「1時間以上～3時間未満」と回答した割合が高く、男性は1時間未満しか存在していない。

	1時間未満	1時間以上～3時間未満	サンプル数（n）
男性	100.0%	0.0%	4
女性	44.4%	55.6%	9

(3) ケアへの影響

①家族の世話の有無×出席状況

出席状況については、家族のお世話をしている場合の方が「たまに欠席する」「よく欠席する」の割合が多い。

	ほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	サンプル数（n）
いる	61.5%	15.4%	23.1%	13
いない	82.9%	7.4%	9.7%	310

②家族の世話の有無×遅刻・早退の状況

遅刻・早退の状況は、家族のお世話をしている場合の方が「たまにする」の割合が多い。

	ほとんどしない	たまにする	よくする	サンプル数（n）
いる	84.6%	15.4%	0.0%	13
いない	93.2%	6.1%	0.6%	310

③家族の世話の有無×学校生活への影響（複数回答）

学校生活への影響については、家族のお世話をしている場合は「持ちものの忘れものが多い」がお世話をしていない場合より2倍以上多い。逆に、「宿題や課題ができていないことが多い」や「クラブ活動・部活動や習いごとを休むことが多い」については、家族のお世話をしていない場合の方が割合は高くなっている。

	授業中に居眠りすることが多い	持ちものの忘れものが多い	宿題や課題ができていないことが多い	クラブ活動・部活動や習いごとを休むことが多い	提出しなくてはならない書類などの提出がおくれていることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席することがある	学校では1人ですごくことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	サンプル数（n）
いる	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	5.6%	5.6%	50.0%	18
いない	22.8%	6.7%	6.7%	3.5%	4.5%	1.0%	4.0%	3.5%	47.4%	403

④家族の世話の有無×現在の悩みや困りごと（複数回答）

現在の悩みや困りごとについては、家族のお世話をしている場合は「自分と家族の関係のこと」「家族の中の人間関係のこと」「病気や障がいのある家族のこと」といった家族に関する悩みに加え、「友達と遊べないこと」「生活に必要なお金のこと」についての悩みがある割合が高くなった。逆に「学校の成績のこと」や「進路のこと」については家族のお世話をしていない場合の方が悩んでいる割合が高い。

	友達の こと	学校の 成績の こと	進路の こと	塾や習 いごと のこと	自分と 家族の 関係の こと	家族の 中の人 間関係 のこと （家族 の仲が 良くない など）	友人と 遊べない こと	病気や 障がい のある 家族の こと	クラブ 活動・ 部活動 のこと	生活に 必要な お金の こと	自分の ために 使える 時間が 少ない こと	特 にない	サ ンプ ル 数 （n）
いる	12.5%	8.3%	16.7%	0.0%	12.5%	12.5%	8.3%	8.3%	0.0%	12.5%	0.0%	8.3%	24
いない	7.5%	13.9%	20.7%	1.2%	3.1%	2.4%	1.7%	0.7%	4.6%	2.6%	2.2%	39.4%	416

⑤家族の世話の有無×相談相手の有無

相談相手の有無については、家族のお世話をしている場合は「相談や話はしたくない」の割合が約3倍高く、相談相手が「いない」についても約4倍高い。

	い る	い ない	相 談 や 話 は し た く な い	サ ンプ ル 数 （n）
いる	45.5%	18.2%	36.4%	11
いない	83.3%	4.0%	12.7%	150

⑥世話に費やす時間×やりたいけどできないこと（複数回答）

やりたいけどできないことについては、「ほぼ毎日」お世話をしている場合は「友達と遊べない」「睡眠時間が足りない」「自由に過ごせる時間がない」といった回答がみられるが、「週に3～5日」になると、「特にない」の回答割合が急激に上がっている。

	授業に集中できない	友達と遊べない	睡眠時間が足りない	自由に過ごせる時間がない	特にない	その他	サンプル数（n）
ほぼ毎日	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	5
週に3～5日	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	14.3%	7
1か月に2～3日	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2

⑦世話に費やす時間×学校生活への影響（複数回答）

学校生活への影響については、「ほぼ毎日」お世話をしている場合は「ストレスを感じている」「睡眠がしっかりとれない」「自分の自由時間がない」「友達と遊べない」「成績が落ちた」「学校を休むことがある」と幅広い回答がみられるのに対し、「週に3～5日」お世話をしている場合は「イライラしてしまう」「ストレスを感じている」「体がだるい、つかれている」に回答が集中する傾向がある。

	イライラしてしまう	ストレスを感じている	睡眠がしっかりとれない	体がだるい、つかれている	勉強する時間がない	自分の自由時間がない	進路など、自分のことについて考える余裕がない	友達と遊べない	成績が落ちた	学校を休むことがある	特に影響はない	サンプル数（n）
ほぼ毎日	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	9
週に3～5日	18.2%	27.3%	0.0%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	11
1か月に2～3日	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5

(4) ヤングケアラーの認知度

① 家族の世話の有無×ヤングケアラーを聞いたことがあるか

ヤングケアラーを聞いたことがあるかどうかについては、お世話や家事の有無によって大きな回答の違いはみられなかった。

	聞いたことがあり、 内容も知っている	聞いたことはあるが、 よく知らない	聞いたことがなかった	サンプル数（n）
いる	53.8%	23.1%	23.1%	13
いない	56.1%	19.4%	24.5%	310

3 自由意見

自分の住んでいる市でこのような取り組みが行われていることを嬉しく思います。この取り組みにより、少しでもヤングケアラーの子が自分の時間を取れるようになったらいいなと思いました。
子供が我慢する世の中がなくなって欲しいです。
家族の介護のせいで学校に影響することがないように行政に頼れるサポートがあるといいなと思います。
実際にヤングケアラーとして思い詰めてしまっている方にとって、すごく大切な機会になると思った。これからも続けてほしい。
ヤングケアラーは周りには理解されないことが多いので辛いです
このアンケートでヤングケアラーを見つけてあげることができたらいいなと思った。
僕のようにまだヤングケアラーのことを知らない人が多くいると思うのでこのような活動を通して認知度を高めていくことが大事だと思いました。
ヤングケアラーへの具体的な対策では何をやっているのかよく知らない。
本当にヤングケアラーの人はこのお便りが本人に届く前に親に無断で捨てられていると思います。
特にありませんあるとしたら自由に使えるお金があまりなくて財布が寒いです
このアンケートを通して、私は家族にも生活にも困っていないけれど、なかにはヤングケアラーのように苦労している人たちもいることを知って、特に若者にはもっとヤングケアラーについて知ってもらう必要があるのかなと思いました。また、具体的な方法は分かりませんが、ヤングケアラーへの支援はもっとしていきべきだと思いました。
ヤングケアラーという言葉はあまり聞いたことがありませんし、自分は当てはまりませんがこのような人もいるというのは彼らにとっての負担を考えると全部が全部喜ばしいことだとは言えないと思いました。
この機会にヤングケアラーについてしれて良かったです。もしヤングケアラーの友達がいたら支えていきたいと思います。
家族が困っていたら助けるのは当然だと思うけど ひとりでは全部できないと思うから、サポートはもちろん必要だと思う。

学校で直接配布もあるとがいい気がする。(自分が覚えてないだけで配られてそう)
家事など全てをやるのではなく家族で分担などすることでストレスなども減少されると思う。
我々と同じ高校生の中にはヤングケアラーとして大変な思いをしている人がいるのだなと思い、もっとこの事を世の中に広めていくべきだとも思いました。
めんどくさかった
ヤングケアラーになってる子達は少なからずいますが、その子達を助けるために学校とかでもそのことについて発信したらいいと思った
一緒に暮らしている祖母のメンタルが不安定で、話を聞いたり気分転換になるようなことをやらせてみたりしても何も改善しない。
If money isn' t a problem I would be in school right now, along with me friends.

第 5 章 考察

本章では、児童・生徒調査（小学生・中学生・高校生）結果を踏まえて、総合的な考察を述べていく。なお、蒲郡市の調査結果の位置づけを把握するため、適宜、令和2年度に三菱UFJリサーチ&コンサルティングが中学生・高校生を対象に実施した「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」（以下「令和2年度全国調査」という。）および令和3年度に株式会社日本総合研究所が小学生・大学生を対象に実施した同調査（以下「令和3年度全国調査」という。）の結果との比較も行いながら、蒲郡市におけるヤングケアラー支援の方向性について検討する。

1 児童・生徒調査のまとめと課題

(1) 小学生調査

本調査では、小学4～6年生を対象に調査を実施し、382件の回答を得た（回収率20.0%）。家族のお世話や家事をしている児童の割合は8.6%であり、令和3年度全国調査における小学6年生の6.5%をやや上回る結果となった。ただし、蒲郡市の調査は4～6年生を対象としており、単純な比較には留意が必要である（令和3年度全国調査は小学6年生のみが対象）。

お世話の対象としては「きょうだい」が46.9%と最も多く、次いで「お母さん」が26.5%となっている。お世話の内容でも「きょうだいのお世話」が42.0%と突出しており、幼いきょうだいの面倒を見るという役割を日常的に担っている児童が一定数存在することが確認された。このことから、蒲郡市のヤングケアラーの中心的な姿として「幼いきょうだいの世話を担う子ども」という実態が裏づけられたといえる。

お世話の頻度については、「ほぼ毎日」が45.5%と最も高く、週3日以上お世話をしている割合は66.7%に達している。小学生段階から日常的にケアを担っている児童が多い実態が明らかになった。さらに、お世話に費やす時間について「1時間くらい」が最多であるものの、「3時間以上」と回答した児童も存在しており、放課後の時間の多くをケアに充てている子どもの存在がうかがえる。

お世話をしている児童の気持ちとしては「お家の人からほめられてうれしい」（22.5%）や「家族のやくにたててうれしい」（21.1%）といった肯定的な感情が上位を占めており、小学生段階では家族への貢献を前向きに捉えている傾向がみられる。しかし、約1割の児童が「自分のやりたいことができないことがある」（11.3%）と回答しており、ケアが子どもの自由な活動を制約している側面も見逃せない。クロス集計では、世話の頻度が週3日以上になると「つらいときもある」「やめたくてもやめられない」の割合が上昇しており、ケアの頻度が高まるほど児童の心理的負担が増大する傾向が確認された。

ヤングケアラーという言葉の認知度については、「聞いたことがなかった」が61.5%と最も高く、小学生段階ではヤングケアラーの概念自体がまだ十分に浸透していないことがわかる。年齢が低いほど自らの置かれた状況を客観的に認識することが難しいため、子ども自身への啓発とあわせて、保護者や周囲の大人が子どもの変化に気づける体制づくりが重要であると考えられる。

(2) 中学生調査

本調査では、市内の全中学生を対象に調査を実施し、383件の回答を得た（回収率19.0%）。家族のお世話や家事をしている生徒の割合は6.8%であり、小学生の8.6%と比べるとやや低下しているが、依然として一定数の生徒がケアを担っている。

お世話の対象は「きょうだい」が36.1%で最も高いが、小学生（46.9%）と比較するとその割合は10ポイント以上低下し、代わりに「お母さん」（19.4%）や「お父さん」（16.7%）への世話が一定割合見られるようになってきている。小学生段階では幼いきょうだいの世話が中心であったものが、中学生になるとケアの対象が保護者にまで広がっていく傾向がみられ、ケアの質的な変化が始まっていることを示している。

蒲郡市の中学生調査に特徴的な結果として、お世話をしている人の状況に「日本語が苦手」

（12.1%）という回答が見られた。令和3年度全国調査（中学2年生）では、世話を必要としている父母の状況として「日本語が苦手」が10.9%、きょうだいの状況では1.6%となっており、対象の区分が異なるため単純な比較はできないものの、蒲郡市では「日本語が苦手」の割合がやや高い傾向がうかが

える。家族の通訳や行政手続きの代行といった言語的なサポートを子どもが担っている実態が示唆され、いわゆる「通訳ケア」の存在が確認された。こうした通訳ケアは一般的なケアの定義に含まれにくい、子どもにとっては大きな責任と負担を伴うものであり、支援の対象として認識していく必要がある。

お世話の頻度については、「週に3~5日」が42.3%、「ほぼ毎日」が31.0%であり、週3日以上お世話をしている割合は73.3%と小学生（66.7%）よりもさらに高い。中学生になると学業や部活動等の負担も増す中で高頻度のケアを行っている状況は、生活全般への影響がより大きくなると考えられる。

実際に、クロス集計ではお世話の頻度が「ほぼ毎日」の場合、「ストレスを感じている」「体がだるい、つかれている」「勉強する時間がない」等の回答が増加し、逆に「家族の役にたててうれしい」等の肯定的回答は低下する傾向が示された。小学生では肯定的な感情が上位であったのに対し、中学生ではケアの負担を自覚する生徒が増えており、ケアの頻度が上がるほど「うれしい」から「つらい」へと意識が変化していく様子が明確に現れている。

お世話の悩みや不満を誰かに話したことがあるかについては、「ない」が69.2%と約7割を占めている。話さない理由として「誰かに相談するほどの悩みではないから」（50.0%）が最も多く、自身の状況を深刻に捉えていないか、あるいは相談するという行動自体に結びつきにくい傾向がみられる。

ヤングケアラーの認知度は、「聞いたことがなかった」が49.1%と小学生（61.5%）に比べて低下し、「聞いたことがあり、内容も知っている」が23.8%と一定の認知が進んでいる。認知経路としては「テレビや新聞、ラジオ」（35.0%）が最も多く、「学校」（26.3%）が続いている。学校での啓発活動が認知向上に一定の効果を上げていることがうかがえるが、依然として半数近くが認知していないことから、さらなる周知が求められる。

(3) 高校生調査

高校生調査では、蒲郡市の住民基本台帳に登録されている高校生世代を対象に調査を実施し、323件の回答を得た（回収率14.9%）。家族のお世話や家事をしている生徒の割合は4.0%であり、小学生（8.6%）、中学生（6.8%）と比較して最も低い。ただし、高校生は回収率も低いことから、実態を十分に反映しきれていない可能性にも留意が必要である。

お世話の対象としては「兄弟姉妹」と「父親」が同率（27.8%）で最も高く、小学生・中学生と比較して父親へのケアの割合が顕著に上昇している点が特徴的である。お世話の対象の状況としても「身体障がい」（25.0%）や「高齢（65歳以上）」（20.0%）が上位に入っており、中学生段階では見られなかったこれらの回答が高校生で増加していることは、成長に伴いケアの対象・内容がより複雑化・重層化していく実態を示している。

お世話の内容については中学生の調査結果と同様に「家事」（40.9%）が最も高く、中学生以上になると家事全般を一手に担う割合が高まる傾向にある。また「心配で目が離せない家族を見守ったり、声をかけたりしている」（18.2%）という回答からは、身体的なケアだけでなく精神面でのサポートを行っている生徒の存在も見てとれる。こうした精神的サポートは外部から見えにくく、本人も「世話」と認識しにくいいため、支援の網から漏れやすい点に留意が必要である。

生活への影響として「ストレスを感じている」が24.1%と最も高く、中学生のクロス集計で示された傾向と同様に、高校生段階でもケアが心身に負荷を与えている実態が確認された。クロス集計では、お世話をしている生徒はしていない生徒に比べて出席状況や遅刻・早退に差が見られたほか、「持ちものの忘れものが多い」がお世話をしていない生徒の2倍以上となっている。また、世話に費やす頻度が「ほぼ毎日」の場合は「ストレスを感じている」「睡眠がしっかりとれない」「自分の自由時間がない」「成績が落ちた」「学校を休むことがある」と影響が幅広く及ぶ傾向が見られた。

お世話の悩みや不満を誰かに話したことがあるかについては、中学生では30.8%、高校生では38.5%にとどまっており、いずれの学校段階でも6割以上が誰にも話していない状況にある。高校生で話したことがある相手としては「友達」が80.0%と突出しており、ケアの悩みを打ち明ける先として友人関係が重要な役割を果たしていることがうかがえる。ただし、学校の相談窓口や教員への相談にはつながりにくい構造に大きな変化はない。一方で、お世話の悩みを話したことがない理由としては、「誰かに相談するほどの悩みではないから」と「家族のことなので話しにくい・話したくないから」が同率（33.3%）で最も多い。中学生では「相談するほどの悩みではない」（50.0%）が突出していたのに対し

し、高校生ではケアの負担を自覚しつつも家庭の事情を外に出しづらいという心理的障壁が相談を妨げている構造へと変化している。相談が具体的な支援につながるという実感を持てる体制づくりが求められる。

3 総合考察

以上の児童・生徒調査の結果から、蒲郡市におけるヤングケアラーの実態と課題について総合的に考察する。

(1) 蒲郡市におけるヤングケアラーの実態

本調査の結果、家族のお世話や家事をしていると回答した児童・生徒の割合は、小学生 8.6%、中学生 6.8%、高校生 4.0%であった。全国調査（令和3年度調査：小学6年生 6.5%、令和2年度調査：中学2年生 5.7%・全日制高校2年生 4.1%）と比較しても概ね同水準かやや高い傾向にあり、蒲郡市においてもヤングケアラーが一定数存在していることが改めて確認された。

校種間の推移に着目すると、小学生から高校生にかけてお世話をしている割合は低下しているが、これは小学生が「お世話」の範囲を正確に把握しきれず、日常的なきょうだいとの関わり等もケアとして回答している可能性があることに留意が必要である。一方で、高校生では精神的な見守りや家事といった目に見えにくいケアの割合が上昇しており、数値だけでは測れない質的な変化が生じている。

ケアの対象は全校種を通じて「きょうだい（兄弟姉妹）」が最も多いが、その割合は小学生 46.9%、中学生 36.1%、高校生 27.8%と学年が上がるにつれて低下し、代わりに父母へのケアや、身体障がい・高齢の家族に対する介護的なケアが増加している。小学生では「きょうだいのお世話」が中心であったものが、中学生で保護者への世話が加わり、高校生では身体障がいのある家族の介護や精神的な見守りにまで広がっていくという段階的な変化が本調査により明確になった。この変化は、成長段階に応じた支援策を講じる必要性を示唆している。

蒲郡市の特徴として、中学生調査において世話の対象の状況に「日本語が苦手」（12.1%）という回答が見られ、蒲郡市は外国人住民の割合が比較的高い地域であり、家族の通訳や各種手続きの代行といった言語的サポートを子どもが担っているケースが存在することが、児童・生徒調査から明らかになった。こうした「通訳ケアラー」とも呼べる子どもたちへの支援は、言語や文化の壁を踏まえたいきめ細かな対応が必要であり、多文化共生の視点を取り入れた支援のあり方を検討していくことが求められる。

(2) ヤングケアラーの理解と気づきの重要性

児童・生徒調査の結果からは、ケアに対する意識が学年によって大きく異なることが明らかになった。小学生では「お家の人からほめられてうれしい」「家族のやくにたててうれしい」という肯定的な感情が上位を占め、お世話を前向きに受け止めている傾向が強い。しかし中学生になると、ケアの頻度が「ほぼ毎日」の場合に「ストレスを感じている」「勉強する時間がない」等の回答が増加し、肯定的な回答の割合は低下している。さらに高校生では「ストレスを感じている」が 24.1%と生活への影響の中で最も高い回答となっており、小学生→中学生→高校生と年齢が上がるにつれて、ケアに対する意識が「うれしい」から「つらい・ストレス」へと変化していく傾向が確認された。

この意識の変化は、低年齢段階の子どもが自らヤングケアラーであるという認識を持ちにくいことを意味している。小学生では自分の状況を問題と捉えていないため、外部に助けを求めることも少ない。小学生のように声を上げにくい段階では、教員や地域の大人が子どもの変化やサインに日常的に注意を払うことが、早期発見の鍵となる。

ヤングケアラーの認知度については、小学生で 38.4%、中学生で 50.9%が「聞いたことがある」と回答しており、学年が上がるにつれて認知度が向上している。しかし、認知していても自分自身がヤングケアラーに該当するかどうかの判断が難しい場合も多く、「知っている」と「自分ごととして捉えられる」の間には大きな隔りがある。認知度の数値を上げるだけでなく、「こんな状況にいる子はヤングケアラーかもしれない」と自分や友人の状況に照らして考えられるような、具体的で身近な啓発が求められる。

(3) 状況に即した生活支援の必要性

本調査では、お世話のためにやりたいけどできないこととして、「自由に過ごせる時間がない」「勉強の時間がない」「睡眠がとれない」等が挙げられており、ケアが日常生活や学校生活に具体的な影響を及ぼしていることが確認された。中学生のクロス集計では、お世話の頻度が「ほぼ毎日」の場合に「友達と遊べない」「睡眠時間が足りない」「自由に過ごせる時間がない」等の回答が多く見られる一方、「週に3～5日」になると「特にない」の割合が急激に上昇しており、ケアの頻度が一定の閾値を超えると影響が顕在化する傾向がうかがえる。

高校生調査においては、「ストレスを感じている」が24.1%と最も高い回答であった。また、家族の世話をしている生徒としていない生徒を比較すると、悩みや困りごとが「特にない」と回答した割合は、していない生徒の39.4%に対して、している生徒では8.3%と大きく下回っている。具体的には、「自分と家族の関係のこと」(12.5% vs 3.1%)、「家族の中の人間関係のこと」(12.5% vs 2.4%)、「生活に必要なお金のこと」(12.5% vs 2.6%)といった家庭環境に関連する悩みを抱える割合が顕著に高く、ケアの負担が学校生活だけでなく生活全般に影響を及ぼしていることが読み取れる。

児童・生徒が必要としている支援としては「特にない」が最も多い回答であったが、これは支援を求めることへの遠慮や、自身の状況を問題と認識していないことの表れである可能性がある。特に小学生では肯定的な感情でケアを捉えている児童が多いことから、支援のニーズが表面化しにくい構造がある。しかし、自由意見欄には「介護などお手伝いをお願いできる電話番号のカードを学校に配ってほしい」「個人懇談の時の紙にヤングケアラーについての枠を設けてほしい」「行政に頼れるサポートがあるといい」といった具体的なニーズも見られており、潜在的な支援ニーズは確実に存在している。

相談行動にも校種間で違いが見られた。中学生では約7割(69.2%)が悩みを誰にも話しておらず、話さない理由は「相談するほどの悩みではない」が50.0%であった。高校生では話したことがある人のうち「友達」が80.0%と最多で、友人が相談相手として重要な役割を担っている。しかし、話していない理由としては「相談しても何も変わらないと思う」(26.0%)が最も高く、中学生の「悩みではない」という認識から、高校生の「変わらない」という諦めへと、相談しない理由が質的に変化している点は見逃せない。子どもの年齢や状況に応じた多様な相談チャネルを整備するとともに、相談した結果として具体的な支援につながるという実感を持てるような仕組みづくりが必要である。

ケアの内容が「きょうだいの世話」「家事」にとどまらず、「通訳」や「精神的なサポート」にまで及んでいることから、支援のあり方もそれぞれの状況に応じた個別的なものであることが求められる。画一的な対応ではなく、子どもと家族それぞれのニーズを把握したうえで、必要なサービスにつなげていくことが重要である。

(4) 支援体制の強化に向けて

また、ヤングケアラーの問題は家庭内のデリケートな事柄に関わるものであり、本人や家族がケアの状況を問題として認識していない場合も多い。児童・生徒調査では中学生の50.0%が「相談するほどの悩みではない」と回答している。「問題と認識されにくい」という状況が確認されたことは、ヤングケアラー支援の根本的な難しさを示している。支援に際しては子どもや家族の意思を尊重しつつ、信頼関係を構築しながら段階的にアプローチしていく姿勢が大切である。

今後ヤングケアラー支援を推進していくにあたっては、本調査の結果を基礎資料として活用し、子ども一人ひとりの状況に寄り添った支援の実現に向けて、関係機関の連携強化と支援体制の充実を図っていくことが求められる。

参考資料 調査票

(1)小学生の生活実態に関するアンケートのおねがい

しょうがくせい せいかつじつたい かん 小学生の生活実態に関するアンケートのおねがい

このアンケートは、「ヤングケアラー」と思われる子どもたちの現状を正確に知るためのものです。みなさんから寄せていただいたお声は、ヤングケアラーである子どもたちを早く見つけて、支援するために役立てます。ぜひ、みなさんの意見をきかせてください。ご協力よろしくおねがいます。

はじめにこちらの動画をご覧ください

▶「ヤングケアラー」って知ってる?～がんばるあなたへ伝えたいこと～(小学生向け)

ヤングケアラーとは



障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼い子どもへの世話をしている。



障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

かいとう ねが 回答にあたってのお願い

かいとう まえ い か よ
回答の前に以下をお読みください。

- これは蒲郡市の子どもたちのふだんの生活や困りごと、特に家族のおせわの状況などをお聞きし、どのような支援があったほうがよいか考えるためのアンケートです。
- みなさんの答えのひとつひとつが大切な意見です。ぜひご協力をおねがいます。
- アンケートにかかる時間は、5分くらいです。
- だれかに相談して答える必要はありません。自分の思う答えを入力してください。
- 答えが思いつかない場合や答えたくない質問は、とばしてつぎの質問に進んでください。
- 途中でやめても、あとからやりなおせます。
- 回答は何回でもできます。最新の回答が保存されます。

アンケートにすすむ

しょうがくせい せいかつじったい かん ちょうさ
小学生の生活実態に関するアンケート調査のおねがい

あなたのことについて教えてください。

あなたが通っている学校名を教えてください。

※答えたくない場合や学校に行っていない場合は空欄で回答してください。

あなたの学年を教えてください。(あてはまるものを1つえらんでください) [必須]

- 小学4年生
- 小学5年生
- 小学6年生

あなたの性別を教えてください。(あてはまるものを1つえらんでください) [必須]

- 男の子
- 女の子
- 答えたくない

いま、一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまるものを全てえらんでください) [必須]

- お母さん
- お父さん
- おばあちゃん
- おじいちゃん
- お兄ちゃん、お姉ちゃん
- 弟・妹
- 親せき (おばさんやおじさん、いとこなど)
- その他 入力する...

かそく かてい おし
家族や家庭のことについて教えてください。

あなたは家いえで家族かそくの誰だれかのためにお世話せわや家事かじをしていますか。(あてはまるものを1つえらんでください) **[必須]**

- はい
 いいえ

「いいえ」を選択した場合：★1までスキップ

お世話せわをしている家族かそくは誰だれですか。(あてはまるものを全すべてえらんでください) **[必須]**

- お母かあさん
 お父とうさん
 おばあちゃん
 おじいちゃん
 きょうだい (お兄にいちゃん・お姉ねえちゃん、弟おとうと・妹いもうと)
 その他 入力する...

お世話せわをしている人の状ひと況じょうきょうをおしえてください。(あてはまるものを全すべてえらんでください) **[必須]**

- しょうがいがある
 病びょうき気
 高こうれい齢とし (歳をとっている)
 弟おとうとや妹いもうと
 日にほんご本語がにがて
 わからない
 その他 入力する...

あなたが行おこなっているお世話せわの内容ないようを教おしえてください。(あてはまるものを全すべてえらんでください) **[必須]**

- ごはんをつくる
 そうじやせんたくをする
 きょうだいのお世話せわ
 ごはんを食たべる手てつだ伝い
 トイレやお風呂ふろの手てつだ伝い
 通つうやく訊しゅわ (手話などもふくむ) をしている
 その他 入力する...

お世話せわはどれくらい行おこなっていますか。(あてはまるものを1つえらんでください) ひっす [必須]

- ほぼ毎日まいにち
- 1週しゅうかん間に3~5日にち
- 1週しゅうかん間に1~2日にち
- 1かげつ月に2~3日にち
- その他 た 入力する...

家族かぞくのお世話せわや家事かじをすることについて、あてはまるものを全すべてえらんでください。 ひっす [必須]

- 家族かぞくのやくにたててうれしい
- お家うちの人ひとからほめられてうれしい
- やることがあ当たり前まえだと思おもっている
- つらいときもある
- しょうがないとおもっている
- やめたくてもやめられない
- 自分じぶんのやりたいことができないことがある
- その他 た 入力する...

ヤングケアラーについて

ヤングケアラーという言葉ことばをきいたことがありましたか。(あてはまるものを1つえらんでください) ひっす [必須]

- 聞いたことがあり、内容ないようも知しっている
- 聞いたことはあるが、よく知しらない
- 聞いたことがなかった

★1

あなたのお友ともだちで「もしかしたらヤングケアラーかな?」とおもうお友ともだちはいますか。 ひっす [必須]

- はい
- いいえ
- わからない

あなたのお名前^{なまえ}を教^{おし}えてください。

※答^{こた}えたくないときは書^かかなくてもいいです。

これでアンケートは終^{しゅうりょう}了^{かいとう}です。ご回答^{かいとう}ありがとうございました。

回答^{かいとう}
する

(2) 中学生の生活実態に関するアンケートのおねがい

ちゅうがくせい せいかつ じつたい かん ちゅうさ ねが
中学生の生活実態に関するアンケート調査のお願い

このアンケートは、「ヤングケアラー」と思われる子どもたちの現状を正確に知るためのものです。皆さんから寄せていただいたお声は、今後、ヤングケアラーの早期発見や支援の仕組みづくりに役立てていきます。ぜひ、皆さんの率直なお意見をお聞かせください。ご協力よろしくお願いたします。

はじめにこちらの動画をご覧ください

▶「ヤングケアラー」って知ってる？～がんばるあなたへ伝えたいこと～(中学・高校生向け)

ヤングケアラーとは



障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

かいどう ねが
回答にあたってのお願い

かいどう まえ い か よ
 回答の前に以下をお読みください。

- これは蒲郡市の子どもたちのふだんの生活や困りごと、特に家族のおせわの状況などをお聞きし、どのような支援があったほうがよいか考えるためのアンケートです。
- みなさんの答えのひとつひとつが大切な意見です。ぜひご協力をねがいます。
- アンケートにかかる時間は、5分くらいです。
- だれかに相談して答える必要はありません。自分の思う答えを入力してください。
- 答えが思いつかない場合や答えたくない質問は、とばしてつぎの質問に進んでください。
- 途中でやめても、あとからやりなおせます。
- 回答は何回でもできます。最新の回答が保存されます。

アンケートにすすむ

ちゅうがくせい せいかつじったい かん ちようさ ねが
中学生の生活実態に関するアンケート調査のお願い

あなたのことについて教えてください。

あなたが通っている学校名を教えてください。

※答えたくない場合や学校に行っていない場合は空欄で回答してください。

あなたの学年を教えてください。(あてはまるものを1つえらんでください) **[必須]**

- 中学1年生
- 中学2年生
- 中学3年生

あなたの性別を教えてください。(あてはまるものを1つえらんでください) **[必須]**

- 男の子
- 女の子
- 答えたくない

いま、一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまるものを全てえらんでください) **[必須]**

- お母さん
- お父さん
- おばあちゃん
- おじいちゃん
- 兄・姉
- 弟・妹
- 親せき (おばさんやおじさん、いとこなど)
- その他 入力する...

かそく かてい おし
家族や家庭のことについて教えてください。

あなたは^{いえ かそく だれ}家で^{せわ かじ}家族の誰かのために^{ひつす}お世話や家事をしていますか。(あてはまるものを1つえらんでください) **[必須]**

- している
 していない

「していない」を選択した場合：★2までスキップ

お^{せわ}世話をしている^{かそく だれ}家族は誰ですか。(あてはまるものを^{すべて}全てえらんでください) **[必須]**

- ^{かあ}お母さん
 ^{とう}お父さん
 おばあちゃん
 おじいちゃん
 きょうだい
 その他 ^た入力する...

お^{せわ}世話をしている^{ひと じょうきょう}人の^{すべ}状況をおしえてください。(あてはまるものを^{すべて}全てえらんでください) **[必須]**

- ^{とし}歳をとっている ※^{さいいじょう}65歳以上
 ^{おさな}若い
 ^{ようかいご しんたい ふじゆう ほか ひと てつだ ひつよう じょうたい}要介護※^{ひつす}身体が不自由で他の人に手伝ってもらう必要がある状態
 ^{にんちしょう のう しんたい びょうき きおく はんだんりよく のうりよく ていか しょう}認知症※^{ひつす}脳や身体の病気のため、記憶や判断力などの能力が低下していく障がい
 ^{しんたいしょう しかく ちょうかく げんごきのう しょうがい しんたい ふじゆう じょうたい}身体障がい※^{ひつす}視覚、聴覚、言語機能の障害や身体の不自由などの状態
 ^{ちてきしょう じぶん きもち ものごと つた ながて じょうたい}知的障がい※^{ひつす}自分の気持ちや物事をうまく伝えることが苦手な状態
 ^{びょうき びょうき}こころの病気 (こころの病気かもしれない)
 ^{いそんしょう いそんしょう}アルコールやギャンブルの依存症 (依存症かもしれない)
 ^{びょうき いそんしょうがい びょうき}こころの病気や依存症以外の病気
 ^{にほんご ながて}日本語が苦手
 わからない
 その他 ^た入力する...

あなたが^{おこな}行っている^{せわ}お世話の^{ないよう}内容を^{おし}教えてください。(あてはまるものを^{すべて}全てえらんでください)
[必須]

- ^{かじ}家事 (^{はん}ご飯の ^{ようい}用意や ^{そうじ}そうじ、 ^{せんたく}せんたく物など) をしている
- きょうだいの ^{せわ}お世話や ^{おくむか}送り迎え をしている
- 身の ^{まわ}回りのお世話 (^{せわ}服の ^{ぬぎ}ぬぎ着、 ^{おふろ}お風呂、 ^{トイレ}トイレの ^{てつだ}手伝いなど) をしている
- 一人では ^{そと}外に ^ででるのが ^{むずかしい}むずかしい ^{かぞく}家族の ^か買い物や ^{さんぽ}散歩につきそっている
- ^{しんぱい}心配で ^め目が ^{はな}離せない ^{かぞく}家族を見守ったり、 ^{こえ}声を ^かかけたりしている
- ^{つうやく}通訳 (^{しゅわ}手話なども ^{ふくむ}ふくむ) をしている
- ^{はなし}話を ^き聞いたり、 ^{はげ}励ますなど ^{きもち}いった気持ちの ^{さぽ}サポート をしている
- ^{おとな}大人の ^か代わりに ^{かてい}家庭の ^{かね}お金を ^{かんり}管理している
- ^{びょうき}病気の ^{ちりょう}治療に関する ^{てだす}手助け (^{くすり}薬の ^{かんり}管理など) をしている
- その他 ^た入力する...

^{せわ}お世話はいつから ^{おこな}行っていますか。 ^{ねんれい}だいたい年齢で ^{ひつす}かまいません。 [必須]

^{とし}歳から

^{せわ}お世話をして ^{ひんど}いる ^{おし}頻度を ^{ひつす}教えてください。(あてはまるものを ^{ひとつ}一つえらんでください) [必須]

- ^{まいにち}ほぼ毎日
- ^{しゅう}週に ^{にち}3～5日
- ^{しゅう}週に ^{にち}1～2日
- ^{げつ}1か月に ^{にち}2～3日
- その他 ^た入力する...

^{せわ}お世話はどのくらい ^{おこな}行っていますか。 ^{じかんすう}時間数を ^{おし}教えてください。(あてはまるものを ^{ひとつ}一つえらんでください) [必須]

- ^{じかんみまん}1時間未満
- ^{じかんいじょう}1時間以上～ ^{じかんみまん}3時間未満
- ^{じかんいじょう}3時間以上～ ^{じかんみまん}7時間未満
- ^{じかんいじょう}7時間以上

かそく せわ かじ
家族のお世話や家事をすることで、やりたいけどできないことはありますか。(あてはまるものを全
てえらんでください) [必須]

- がっこう い い
学校に行きたくても行けない
- ちこく そうたい
遅刻や早退をしてしまう
- じゆぎょう しゅうちゅう
授業に集中できない
- いえ しゅくだい べんきょう じかん
家で宿題や勉強をする時間がない
- なら こと い
習い事に行けない
- とも あそ
友だちと遊べない
- ね じかん た
寝る時間が足りない
- じゆう す じかん
自由に過ごせる時間がない
- とく
特にない
- その他 入力する...

あなたが お世話をする理由は何ですか。(あてはまるものを全てえらんでください) [必須]

- おさな
幼いきょうだいがいるため
- おや しごと いそが
親が仕事で忙しいため
- お世話 したいと 自分 おも
お世話をしたいと自分で思っているため
- ほか お世話 できる ひと
他にお世話できる人がいないため
- そふ ぼ びょうき こうれい
祖父母が病気や高齢のため
- ひとり おやかてい ぼしかてい ふしかてい
ひとり親家庭(母子家庭、父子家庭)であるため
- おや びょうき しょうがい にゅういん
親の病気や障害、入院のため
- きょうだい しょうがい
きょうだいに障害があるため
- おや かじ
親が家事をしないため
- ヘルパーなどを 利用 していないため
- その他 入力する...

世話せわをしている結果けっか、自分の思いじぶん おもや生活せいかつにあてはまるものはありますか。(あてはまるものを全てすべて選んでください。)必ず [必須]

- 家族かぞく やくの役にたててうれしい
- お家うちの人から褒められてうれしい
- お世話せわをしている人ひとから感謝かんしゃされてうれしい
- イライラしてしまう
- ストレスかんを感じている
- 睡眠すいみんがしっかりとれない
- 体からだがだるい、つかれている
- 勉強べんきょうする時間じかんがない
- 自分の自由時間じぶん じゆうじかんがない
- 進路しんろなど、自分のことじぶんについて考える余裕かんが よゆうがない
- 友達ともだちと遊ばない
- 成績せいせきがおちた
- まわりの人ひとと話はなしが合わない
- 遅刻ちこくや早退そうたいをすることがある
- 学校がっこうを休むやすことがある
- その他た 入力する...
- 特に影響とく えいきょうはない

世話せわの悩みなやや不満ふまんを誰かだれに話はなしたことはありますか。(あてはまるものを1つえらんでください)必ず [必須]

- ある
- ない

「ある」を選択した場合：★3が表示
「ない」以外を選択した場合：★4が表示

はな 話したことがある人は誰ですか。(あてはまるものを全てえらんでください) ひっす [必須]

- かぞく りょうしん 家族 (両親、きょうだい、おばあちゃん、おじいちゃんなど)
- とも 友だち
- ほけんしつ せんせい 保健室の先生
- がっこう せんせい ほけんしつ せんせいがい 学校の先生 (※保健室の先生以外)
- スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
- びょういん いし かんごし びょういん ひと 病院の医師や看護師などの病院の人
- ヘルパーやケアマネジャーなどの福祉サービスの人
- きんじよ ひと 近所の人
- SNSで知り合った人
- その他 た 入力する...

★3

はな 話したことがない理由を教えてください。(あてはまるものを全てえらんでください) ひっす [必須]

- だれ そうだん 誰かに相談するほどの悩みではないから
- だれ そうだん 誰に相談するのがよいかわからないから
- かぞく はな はな 家族のことなので話しにくい・話したくないから
- かぞく がい ひと そうだん なや 家族以外の人に相談するような悩みではないから
- そうだん ひと みぢか 相談できる人ひとが身近にいないから
- かぞく し 家族のことを知られたくないから
- そうだん じょうきよう か おも 相談しても状況が変わるとは思わないから
- その他 た 入力する...

★4

がっこう まわ おとな たす ひつよう しえん すべ
学校や周りの大人に助けてほしいこと、必要としている支援はありますか。(あてはまるものを全て
えらんでください) [必須]

- 自分^{じぶん}のことについて話し^{はな}を聞いてほしい
- 家族^{かぞく}のお世話^{せわ}について相談^{そうだん}にのってほしい
- 家族^{かぞく}の病気^{びょうき}や障がい^{しょうがい}、お世話^{せわ}のことなどについてわかりやすく説明^{せつめい}してほしい
- 自分^{じぶん}が行^{おこな}っているお世話^{せわ}を全部^{ぜんぶ}代わ^{ひと}ってくれる人やサービス^{サービス}がほしい
- 自分^{じぶん}が行^{おこな}っているお世話^{せわ}の一部^{いちぶ}を代わ^{ひと}ってくれる人やサービス^{サービス}がほしい
- 自由^{じゆう}に使える時間^{じかん}がほしい
- 進路^{しんろ}や就職^{しゅうしょく}など将来^{しょうらい}の相談^{そうだん}にのってほしい
- 勉強^{べんきょう}のサポート^{サポート}をしてほしい
- お金^{かね}の面で支援^{しえん}をしてほしい
- 特^{とく}にない
- わからない
- その他^た 入力^{ひつす}する...

「自分のことについて話しを聞いてほしい」
「家族のお世話について相談にのってほしい」
を選択肢^{せんたくし}に含めた場合^{ばいばい}：★5 が表示

「自分^{じぶん}のことについて話し^{はなし}を聞いてほしい」「家族^{かぞく}のお世話^{せわ}について相談^{そうだん}にのってほしい」と回答^{かいどう}した
方^{かた}にお聞き^きします。どのような方法^{ほうほう}で話し^{はなし}たいですか。(あてはまるものを全てえらんでください)
[必須]

- 直接^{ちよくせつ}会^あって
- 電話^{でんわ}
- SNS (LINEなど)
- 電子^{でんし}メール
- その他^た 入力^{ひつす}する...

★5

ヤングケアラーについてお聞きします。

いままで、ヤングケアラーという言葉^{ことば}をきいたことがありましたか。(あてはまるものを1つえらんでく
ださい) [必須]

- 聞いた^きことがあり、内容^{ないよう}も知^しっている
- 聞いた^きことはあるが、よく知^しらない
- 聞いた^きことがなかった

★2

「聞いたことがなかった」を選択^{せんたく}した場合^{ばいばい}：
★6 までスキップ

ヤングケアラーという言葉^{ことば}をどこで聞きましたか。(あてはまるものを全てえらんでください) ^{ひつす} [必須]

- テレビや新聞^{しんぶん}、ラジオ
- 雑誌^{ざっし}や本^{ほん}
- 学校^{がっこう}
- SNS やインターネット
- 地域^{ちいき}のお祭り^{まつ}や行事^{ぎょうじ}など
- 友だち^{とも}や知り合い^{しあひ}から聞いた
- その他 ^た 入力する...

あなたのお友だち^{とも}で「もしかしたらヤングケアラーかな？」とおもうお友だち^{とも}はいますか。 ^{ひつす} [必須]

- はい
- いいえ

★6

このアンケートに関する感想^{かん}やヤングケアラーへの支援^{かんそう}、悩み^{しえん}、お願^{なや}いなど、何でも記入^{ねが}してください。 ^{なん} ^{きにゆう}

[自由記述^{じゆうきじゆつ}]

あなたのお名前^{なまえ}を教^{おし}えてください。

※答^{こた}えたくないときは書^かかなくてもだいじょうぶです。

回答^{かいとう}の内容^{ないよう}を学校^{がっこう}の先生^{せんせい}に教^{おし}えてもよいですか。 ^{ひつす} [必須]

- よい
- よくない
- わからない

回答^{かいとう}の内容^{ないよう}について、希望^{きぼう}する人は学校^{がっこう}の先生^{せんせい}や相談員^{そうだんいん}の人に家族^{ひと}のこ^{かそく}や自分^{じぶん}のこ^{そうだん}を相談^{そうだん}することができます。相談^{そうだん}することを希望^{きぼう}しますか？ ^{ひつす} [必須]

- はい
- いいえ

「いいえ」を選択^{せんたく}した場合^{ばい}：回答^{かいとう}終了

「はい」と答えた方にお聞きします。このアンケートの後、学校の先生（または相談員）があなたが回答してくれた内容を確認します。その後、相談の声かけをさせていただきますのでお話をきかせてもらえると嬉しいです。どこでお話をしたいですか？**[必須]**

学校

自分の家

その他（電話であれば電話番号、メールであればメールアドレスを書いてください）
入力する...

回答する

(3) 高校生の生活実態に関するアンケートのおねがい

高校生の生活実態に関するアンケート調査のお願い

このアンケートは、「ヤングケアラー」と思われる子どもたちの現状を正確に知るためのものです。皆さんから寄せていただいたお声は、今後、ヤングケアラーの早期発見や支援のしくみづくりに役立てていきます。ぜひ、皆さんの率直なご意見をお聞かせください。ご協力よろしく願いいたします。

はじめにこちらの動画をご覧ください

▶ 「ヤングケアラー」って知ってる?～がんばるあなたへ伝えたいこと～ (中学・高校生向け)

ヤングケアラーとは



障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

回答にあたってのお願い

回答の前に以下をお読みください。

- これは蒲郡市の子どもたちのふだんの生活や困りごと、特に家族のお世話の状況などをお聞きし、どのような支援があった方がよいか考えるためのアンケートです。
- みなさんの答えの一つひとつが大切な意見です。ぜひご協力をおねがいします。
- アンケートにかかる時間は、5分くらいです。
- だれかに相談して答える必要はありません。自分の思う答えを入力してください。
- 答えが思いつかない場合や答えたくない質問は、とばして次の質問に進んでください。
- 途中でやめても、あとからやり直せます。
- 回答は何回でもできます。最新の回答が保存されます。

アンケートにすすむ

高校生の生活実態に関するアンケート調査のお願い

あなたのことについて教えてください。

通っている学校名を教えてください。

※答えたくない場合や学校に通っていない場合は空欄で回答してください。

あなたの学年を教えてください。(あてはまるものを1つ選んでください) [必須]

- 高校1年生 (全日制)
- 高校2年生 (全日制)
- 高校3年生 (全日制)
- 高校1年生 (通信制)
- 高校2年生 (通信制)
- 高校3年生 (通信制)
- 高校1年生 (定時制)
- 高校2年生 (定時制)
- 高校3年生 (定時制)
- 高校4年生 (定時制)
- 上記以外の学年
- 学校に通っていない

あなたの性別を教えてください。(あてはまるものを1つ選んでください) [必須]

- 男性
- 女性
- 答えたくない

いま、一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまるものを全て選んでください) [必須]

- 母親
- 父親
- 祖母
- 祖父
- 兄・姉
- 弟・妹
- 親戚 (叔母や叔父、従兄弟など)
- その他

ふだんの生活について教えてください。

学校への出席状況について教えてください。(あてはまるものを1つ選んでください) [必須]

- ほとんど欠席しない

いま、悩んでいた、困っていたりすることはありますか。(あてはまるものを全て選んでください) [必須]

- 友達のこと
- 学校の成績のこと
- 進路のこと
- 塾や習いごとのこと
- 自分と家族の関係のこと
- 家族の中の人間関係のこと (家族の仲が良くないなど)
- 友人と遊べないこと
- 病気や障がいのある家族のこと
- クラブ活動・部活動のこと
- 生活に必要なお金のこと
- 自分のために使える時間が少ないこと
- その他 入力する... _____
- 特にない

「特にない」のみ選択した場合
: ★8 までスキップ

上記で回答した悩みについて、相談にのってくれたり、話を聞いてくれたりする人は近くにいますか。(あてはまるものを1つ選んでください) [必須]

- いる
- いない
- 相談や話はしたくない

「いる」を選択した場合 : ★9 が表示
「いる」以外を選択した場合 : ★10 が表示

それは誰ですか。(あてはまるものを全て選んでください) [必須]

- 家族
- 親戚
- 友達
- 学校の先生
- スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
- 病院の人
- ヘルパーさんなど福祉サービスの人
- 市役所や保健センターの人
- 近所の人
- SNS (ラインやエックス [ツイッター] など) 上での知り合い
- その他 入力する... _____

★9

話していない、話したくない理由は何ですか。(あてはまるものを全て選んでください) [必須]

- 誰かに相談するほどの悩みではない
- 家族以外の人に相談するような悩みではない
- 誰に相談するのがよいかわからない
- 相談できる人が周りにいない
- 家族のことなので話しにくい
- 家族のことを知られたくない
- 家族に対して嫌な思いを持たれたくない
- 相談しても何も変わらないと思う
- その他 入力する...

★10

家族や家庭のことについて教えてください。

あなたは家で家族の誰かのためにお世話や家事をしていますか。(あてはまるものを1つ選んでください) [必須]

- いる
- いない

★8

「いない」を選択した場合：★11までスキップ

お世話をしている家族は誰ですか。(あてはまるものを全て選んでください) [必須]

- 母親
- 父親
- 祖母
- 祖父
- 兄弟姉妹
- その他 入力する...

お世話を必要としている人の状況を教えてください。(あてはまるものを全て選んでください) [必須]

- 高齢※65歳以上
- 若い
- 要介護※介護が必要な状態
- 認知症
- 身体障がい
- 知的障がい
- こころの病気(こころの病気かもしれない)
- アルコールやギャンブルの依存症(依存症かもしれない)
- こころの病気や依存症以外の病気
- 日本語が苦手
- わからない
- その他 入力する...

あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまるものを全て選んでください) [必須]

- 家事(ご飯の用意や掃除、洗濯物など)をしている
- 兄弟姉妹のお世話や送り迎えをしている
- 身の回りのお世話(服の脱ぎ着、お風呂、トイレの手伝いなど)している
- 1人では外に出るのが難しい家族の買い物や散歩に付き添っている
- 心配で目が離せない家族を見守ったり、声をかけたりしている
- 通訳(手話なども含む)をしている
- 話を聞いたり、励ますなどいった気持ちのサポートをしている
- 大人の代わりに家庭のお金を管理している
- 病気の治療に関する手助け(薬の管理など)をしている
- その他 入力する...

お世話はいつから行っていますか。だいたいの年齢でかまいません。[必須]

歳から

お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまるものを1つ選んでください) [必須]

- ほぼ毎日
- 週に3~5日
- 週に1~2日
- 1か月に2~3日
- その他 入力する...

お世話はどのくらい行っていますか。時間数を教えてください。(あてはまるものを1つ選んでください) [必須]

- 1時間未満
- 1時間以上~3時間未満
- 3時間以上~7時間未満
- 7時間以上

家族のお世話や家事をすることで、やりたいけどできないことはありますか。(あてはまるものを全て選んでください) [必須]

- 学校に行きたくても行けない
- 遅刻や早退をしてしまう
- 授業に集中できない
- 家で宿題や勉強をする時間がない
- 塾や習い事、部活に行けない
- 友達と遊べない
- 進路を変えなければならない
- 睡眠時間が足りない
- 自由に過ごせる時間がない
- 特にない
- その他 入力する...

あなたがお世話をする理由はなんですか。(あてはまるものを全て選んでください) [必須]

- 若い兄弟姉妹がいるため
- 親が仕事で忙しいため
- お世話をしたいと自分で思っているため
- 他にお世話できる人がいないため
- 祖父母が病気や高齢のため
- ひとり親家庭であるため
- 親の病気や障害、入院のため
- 兄弟姉妹に障害があるため
- 親が家事をしないため
- ヘルパーなどを利用していないため
- その他 入力する...

お世話をしている結果、自分の生活にどんな影響がでているとおもいますか。(あてはまるものを全て選んでください) [必須]

- イライラしてしまう
- ストレスを感じている
- 睡眠がしっかりとれない
- 体がだるい、つかれている
- 勉強する時間がない
- 自分の自由時間がない
- 進路など、自分のことについて考える余裕がない
- 友達と遊べない
- 成績が落ちた
- 周りの人と話が合わない
- 遅刻や早退をすることがある
- 学校を休むことがある
- 部活ができない
- その他 入力する...
- 特に影響はない

お世話の悩みや不満を誰かに話したことはありますか。(あてはまるものを1つ選んでください) [必須]

- ある
- ない

「ある」を選択した場合：★12 が表示
「ない」以外を選択した場合：★13 が表示

話したことがある人は誰ですか。(あてはまるものを全て選んでください) [必須]

- 家族 (両親、きょうだい、おばあちゃん、おじいちゃんなど)
- 友達
- 保健室の先生
- 学校の先生 (※保健室の先生以外)
- スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
- 病院の医師や看護師などの病院の人
- ヘルパーやケアマネジャーなどの福祉サービスの人
- 近所の人
- SNSで知り合った人
- その他 入力する...

★12

話したことがない理由を教えてください。(あてはまるものを全て選んでください) [必須]

- 誰かに相談するほどの悩みではないから
- 誰に相談するのがよいかわからないから
- 家族のことなので話しにくい・話したくないから
- 家族以外の人に相談するような悩みではないから
- 相談できる人が身近にいないから
- 家族のことを知られたくないから
- 相談しても状況が変わるとは思わないから
- その他 入力する...

★13

学校や周りの大人に助けてほしいこと、必要としている支援はありますか。(あてはまるものを全て選んでください) [必須]

- 自分のことについて話を聞いてほしい
- 家族のお世話について相談にのってほしい
- 家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
- 自分が行っているお世話を全部代わってくれる人やサービスがほしい
- 自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい
- 自由に使える時間がほしい
- 進路や就職など将来の相談にのってほしい
- 勉強のサポートをしてほしい
- お金の面で支援をしてほしい
- 特にない
- わからない
- その他 入力する...

「自分のことについて話しを聞いてほしい」
「家族のお世話について相談にのってほしい」
を選択肢に含めた場合：★14が表示

上記で「自分のことについて話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した方にお聞きます。どのような方法で話したいですか。(あてはまるものを全て選んでください) [必須]

- 直接会って
- 電話
- SNS (LINEなど)
- 電子メール
- その他 入力する...

★14

ヤングケアラーについてお聞きします。

今まで、ヤングケアラーという言葉を知ったことがありますか？（あてはまるものを1つ選んでください） [必須]

★11

- 聞いたことがあります、内容も知っている
- 聞いたことはあるが、よく知らない
- 聞いたことがなかった

「聞いたことがなかった」を選択した場合：★15までスキップ

ヤングケアラーという言葉を知った場所はどこでしたか。（あてはまるものを全て選んでください） [必須]

- テレビや新聞、ラジオ
- 雑誌や本
- 学校
- SNS やインターネット
- 地域のお祭りや行事など
- 友達や知り合いから聞いた
- その他 入力する...

このアンケートに関する感想やヤングケアラーへの支援、悩み、お願いなど、何でも記入してください。

[自由記述]

★15

あなたのお友だちで「もしかしたらヤングケアラーかな？」とおもうお友だちはいますか。 [必須]

- はい
- いいえ

あなたのお名前を教えてください。

[自由記述] ※答えたくないときは書かなくても大丈夫です。

回答の内容について、希望する人は相談員の人に家族のことや自分のことを相談することができます。相談することを希望しますか？ [必須]

- はい
 いいえ

「いいえ」を選択した場合：回答終了

“はい”と答えた方にお聞きます。このアンケートの後、相談員があなたが回答してくれた内容を確認します。その後、相談の声かけをさせてもらうのでお話をきかせてもらえると嬉しいです。どこでお話をしたいですか？ [必須]

- 学校
 自分の家
 蒲郡市保健医療センター
 その他（電話であれば電話番号、メールであればメールアドレスを書いてください）
入力する...

回答する